

2018年度

---

授業時間割表  
講義案内

桜美林大学大学院  
J. F. Oberlin University  
Graduate Division

# 2018年度 大学院学事暦

オリエンテーション期間	3月29日(木)～4月11日(水)
新生オリエンテーション	3月31日(土)
履修登録期間(e-Campus)	4月1日(日)9:00～4月6日(金)21:00
健康診断	4月2日(月)～4月6日(金)
入学式	4月3日(火)
授業開始	4月12日(木)
Drop&Add期間(履修登録変更期間)(e-Campus)	4月12日(木)9:00～4月19日(木)21:00
履修登録修正期間(大学院事務室・四谷キャンパス事務室窓口)	4月20日(金)～4月27日(金)
履修放棄受付期間※(大学院事務室・四谷キャンパス事務室窓口)	4月28日(土)～5月18日(金)
※履修放棄はGPA制度適用院生(2016年度以降の入学者)が対象	
創立記念日	5月29日(火) (授業実施)
授業終了	7月27日(金)
定期試験期間	7月30日(月)～8月3日(金)
修了決定者発表	9月1日(土)
学位授与式	9月3日(月)
【秋学期】	
オリエンテーション期間	9月5日(水)～9月16日(日)
履修登録期間(e-Campus)	9月5日(水)9:00～9月11日(火)21:00
新生オリエンテーション	9月8日(土)
入学式	9月16日(日)
授業開始	9月17日(月)
Drop&Add期間(履修登録変更期間)(e-Campus)	9月17日(月)9:00～9月24日(月)21:00
履修登録修正期間(大学院事務室・四谷キャンパス事務室窓口)	9月25日(火)～10月2日(火)
履修放棄受付期間※(大学院事務室・四谷キャンパス事務室窓口)	10月3日(水)～10月19日(金)
※履修放棄はGPA制度適用院生(2016年度以降の入学者)が対象	
大学祭	10月26日(金)～10月29日(月)
年内授業最終日	12月24日(月)
授業再開	1月11日(金)
大学入試センター試験準備日	1月18日(金)
授業終了	1月21日(月)
定期試験期間	1月22日(火)～1月29日(火)
金曜日分の最終授業は1月25日(金)に実施し、定期試験は1月29日(火)に実施します	
修了決定者発表	3月5日(火)
学位授与式	3月18日(月)

**以下の祝日は授業を実施します**

【春学期】 4月30日(月) <昭和の日振替休日>	5月29日(火) <創立記念日>
7月16日(月) <海の日>	
【秋学期】 9月17日(月) <敬老の日>	9月24日(月) <秋分の日振替休日>
10月8日(月) <体育の日>	11月23日(金) <勤労感謝の日>
12月24日(月) <天皇誕生日振替休日>	

**以下の日程は授業を実施しません**

【秋学期】 10月26日(金)～10月29日(月) <大学祭期間中のため>	
1月18日(金)	<大学入試センター試験の事前準備のため>

## 2018年度 桜美林大学 キリスト教関係 行事暦

【2018年】	
創立記念週間	5月28日(月)～5月31日(木)
創立記念礼拝	5月29日(火) 16:20～17:00 荊冠堂
キリスト教強調週間	10月15日(月)～10月25日(木)
クリスマス・イルミネーション点灯礼拝	11月27日(火) 16:20 荊冠堂&チャペル前広場
待降節(アドヴェント)	12月2日(日)～12月24日(月)
大学クリスマス音楽礼拝	12月6日(木) 16:20 荊冠堂
オビリン・クリスマス	12月15日(土) 16:00 荊冠堂
降誕日(クリスマス)	12月25日(火) 【イエス・キリストの誕生】
【2019年】	
公現日(クリスマス・イルミネーション消灯)	1月6日(日) 【三人の博士、キリストに面会】
創立者【清水安三】召天記念礼拝	1月17日(木) 16:20 荊冠堂

# 2018年度 桜美林大学 学事暦カレンダー

4月	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
履修登録開始	8	9	10	11	12	13	14
			春学期入学式			履修登録締切	
15	16	17	18	19	20	21	22
	1回目	1回目	1回目	2回目	2回目		
22	23	24	25	26	27	28	29
	2回目	2回目	2回目	3回目	3回目		
29	30						
昭和の日	3回目 振替休日						

10月	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
		3回目	3回目	3回目	3回目	3回目	
7	8	9	10	11	12	13	14
	4回目	4回目	4回目	4回目	4回目		
	体育の日						
14	15	16	17	18	19	20	21
	5回目	5回目	5回目	5回目	5回目		
21	22	23	24	25	26	27	28
	6回目	6回目	6回目	6回目	6回目		
28	29	30	31				
大学祭	大学祭片付け	7回目	7回目			大学祭準備	大学祭

※10月8日(月)<体育の日>授業あり。 ※10月26日(金)~10月28日(月)は大学祭期間中のため授業は実施しません

5月	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
			3回目	3回目			
6	7	8	9	10	11	12	13
	4回目	4回目	4回目	4回目	4回目		
				憲法記念日	みどりの日	こどもの日	
13	14	15	16	17	18	19	20
	5回目	5回目	5回目	5回目	5回目		
20	21	22	23	24	25	26	27
	6回目	6回目	6回目	6回目	6回目		
27	28	29	30	31			
	7回目	7回目	7回目	7回目			
		創立記念日					

※5月29日(火)<創立記念日>授業あり

11月	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3
					7回目	6回目	
							文化の日
4	5	6	7	8	9	10	11
	7回目	8回目	8回目	8回目	7回目		
11	12	13	14	15	16	17	18
	8回目	9回目	9回目	9回目	8回目		
18	19	20	21	22	23	24	25
	9回目	10回目	10回目	10回目	9回目		
					勤労感謝の日		
25	26	27	28	29	30		
	10回目	11回目	11回目	11回目	10回目		

※11月23日(金)<勤労感謝の日>授業あり

6月	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
						7回目	
3	4	5	6	7	8	9	10
	8回目	8回目	8回目	8回目	8回目		
10	11	12	13	14	15	16	17
	9回目	9回目	9回目	9回目	9回目		
17	18	19	20	21	22	23	24
	10回目	10回目	10回目	10回目	10回目		
24	25	26	27	28	29	30	
	11回目	11回目	11回目	11回目	11回目		

12月	日	月	火	水	木	金	土
							1
2	3	4	5	6	7	8	9
	11回目	12回目	12回目	12回目	11回目		
9	10	11	12	13	14	15	16
	12回目	13回目	13回目	13回目	12回目		
16	17	18	19	20	21	22	23
	13回目	14回目	14回目	14回目	13回目		
23	24	25	26	27	28	29	30
天皇誕生日	14回目 振替休日						
30	31						

※12月24日(月)<天皇誕生日振替休日>授業あり

7月	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
		12回目	12回目	12回目	12回目	12回目	
8	9	10	11	12	13	14	15
	13回目	13回目	13回目	13回目	13回目		
15	16	17	18	19	20	21	22
	14回目	14回目	14回目	14回目	14回目		
	海の日						
22	23	24	25	26	27	28	29
	15回目	15回目	15回目	15回目	15回目		
29	30	31					
	定期試験	定期試験					

※7月16日(月)<海の日>授業あり

1月	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
			元日				
6	7	8	9	10	11	12	13
					14回目		
13	14	15	16	17	18	19	20
		15回目	15回目	15回目			
	成人の日						
20	21	22	23	24	25	26	27
	15回目	定期試験	定期試験	定期試験	15回目		
27	28	29	30	31			
	定期試験	定期試験					
		※金曜日分					

2月	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
3	4	5	6	7	8	9	10
10	11	12	13	14	15	16	17
	建国記念の日						
17	18	19	20	21	22	23	24
24	25	26	27	28			

9月	日	月	火	水	木	金	土
							1
							春学期卒業発表
2	3	4	5	6	7	8	9
		春学期学位授与式	履修登録開始				
9	10	11	12	13	14	15	16
			履修登録締切				
16	17	18	19	20	21	22	23
	1回目	1回目	1回目	1回目	1回目		
	秋学期入学式	敬老の日					
23	24	25	26	27	28	29	30
	2回目	2回目	2回目	2回目	2回目		
	秋分の日	振替休日					
30							

※9月17日(月)<敬老の日>授業あり

3月	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
3	4	5	6	7	8	9	10
10	11	12	13	14	15	16	17
		秋学期卒業発表					
17	18	19	20	21	22	23	24
	秋学期学位授与式						
24	25	26	27	28	29	30	31
				春分の日			

＜ 注 意 事 項 ＞

1. 「授業時間割表」の内容は変更する場合がありますので、大学院掲示板やe-Campus 掲示板に注意すること。
2. 履修登録を行う前に必ず研究指導担当教員の履修指導を受けること。
3. 履修登録されていない科目は授業に出席しても成績がつきません。登録後、確認画面で必ず確認してください。
4. e-Campus で履修登録を行う時には、[授業コード]を入力すること。  
 ※週2回以上授業がある科目については、週の最初の授業に授業コードが表示してあります。
5. e-Campus 履修登録時には、履修条件等を十分確認し、5ページからの「OBIRIN e-Campus 履修登録操作ガイド」にしたがって慎重に登録作業を行うこと。
6. 履修条件の詳細については、自分の入学した年度の『履修ガイド』、掲示等を必ず確認すること。
7. 科目により授業を開講するキャンパスが異なるので注意すること。
8. 科目名の見方…専攻によって科目名の欄に○○○／△△△と並列記入されているものは入学年度によって対象授業の科目名が異なることを示す。詳細は各年度の履修ガイドを参照すること。
9. 担当者欄がスタッフと記載されている科目は、本冊子作成時点で担当教員が未定です。詳細は掲示でお知らせします。

10. 教室番号の見方

- [A○○○] …太平館、明々館      [B○○○] …崇貞館      [C○○○] …碩学会館  
 [G○○○] …学而館      [P○○○] …PFC(プラネット淵野辺キャンパス)  
 [R○○○] …老実館      [T○○○] …忠生教室棟      [U○○○] …又賜体育館  
 [1○○○] …サレンバーガー館(旧LL館)  
 [3○○○] …徳望館      [9○○] ……以徳館、待望館  
 [S○○○] …理化学館  
 [SY○○○] ～ [SY○○○] …四谷キャンパス(千駄ヶ谷)  
 [-] …教員オフィス

11. 1日の授業時間帯(時限)

キャンパス	第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限	第6時限	第7時限
町田	9:00 ～10:30	10:40 ～12:10	12:50 ～14:20	14:30 ～16:00	16:10 ～17:40	17:50 ～19:20	19:30 ～21:00
PFC	8:30 ～10:00	10:10 ～11:40	13:10 ～14:40	14:50 ～16:20	16:30 ～18:00	18:10 ～19:40	19:50 ～21:20
四谷(千駄ヶ谷)	9:00 ～10:30	10:40 ～12:10	12:50 ～14:20	14:30 ～16:00	16:10 ～17:40	18:20 ～19:50※	20:00 ～21:30※

※四谷キャンパス(千駄ヶ谷)の土曜、日曜の授業時間帯は町田キャンパスと同じ

12. チャペルアワーの時間帯について

春学期・秋学期 / 月曜日 9:40～10:20 火・水・木曜日 16:20～17:00 荊冠堂チャペル

13. 配当年次1は1年生から履修可能です。配当年次2は2年生から履修可能です。
14. その他の注意事項は、各章ごとの指示を読むこと。

# 目 次

## 《時間割》

OBIRIN e-Campus 履修登録操作ガイド.....	5
博士前期課程／修士課程	
1. 国際学専攻の講義科目、研究指導.....	11
2. 国際協力専攻の講義科目、研究指導.....	17
3. 経営学専攻の講義科目、研究指導.....	23
4. 日本語教育専攻の講義科目、研究指導.....	29
5. 英語教育専攻の講義科目、研究指導.....	35
6. 臨床心理学専攻の講義科目、研究指導.....	41
7. 健康心理学専攻の講義科目、研究指導.....	47
8. 大学アドミニストレーション専攻（通学課程）の講義科目、研究指導.....	53
9. 老年学専攻の講義科目、研究指導.....	59
博士後期課程	
10. 国際人文社会科学専攻.....	65
11. 老年学専攻.....	73
通信教育課程	
大学アドミニストレーション専攻（通信教育課程）の講義科目、研究指導.....	77

## 《講義案内》

1. 国際学専攻の講義案内.....	83
2. 国際協力専攻の講義案内.....	91
3. 経営学専攻の講義案内.....	99
4. 日本語教育専攻の講義案内.....	109
5. 英語教育専攻の講義案内.....	114
6. 臨床心理学専攻の講義案内.....	117
7. 健康心理学専攻の講義案内.....	123
8. 大学アドミニストレーション専攻（通学課程）の講義案内.....	129
9. 老年学専攻の講義案内.....	135
10. 特殊講義の講義案内.....	141



# OBIRIN e-Campus 履修登録操作ガイド

## ① パスワードについて

1. パスワードは自宅の鍵と同様に大変大切なものです。従って、絶対に他人（親しい人でも）には教えてはいけません。
2. 初期パスワードを初回ログイン時に変更してください。手順については、「②パスワードの変更手順」に従ってください。
3. なお、パスワードを変更すると、「OBIRIN e-Campus」、「OBIRIN Gmail」、「図書館マイライブラリ」、「キャンパス内 PC へのログイン」に関するパスワードが一斉に変更されます。

## ② パスワードの変更



- 1 桜美林大学ホームページにアクセスしてください。  
(<https://www.obirin.ac.jp/>)



- 2 ホームページの「メニュー」→「クイックリンク」より『e-Campus』を選択してください。



- 3 この画面では OBIRIN e-Campus に関わる情報が掲載されています。先に進むには[アクセスする端末](#)を選択してください。

### 🔍 ポップアップブロックの解除方法

『e-Campus』では、「ポップアップブロック」という、新たなウィンドウでWebページを開く設定が必要となります。  
ログイン画面に遷移する前のこのリンクより各端末に合わせた設定を確認してください。



(パソコン用画面)



(スマートフォン・タブレット用画面)

- 4 OBIRIN e-Campus 「ログイン画面」が開きます。『パスワード変更は<<こちら>>』をクリックすると桜美林ネットワークシステムのパスワード変更画面が開きます。

パスワード変更画面 1



■ユーザ ID	学籍番号 ※アルファベットがある場合は、小文字で入力。
■現在のパスワード	現在のパスワード ※新入生の初期パスワードは、別紙「ユーザ ID とパスワードについて」を参照してください。

5 ユーザ ID と現在のパスワードを入力して、『Login』をクリックします。

パスワード変更画面 2



■新しいパスワード	半角英数 5 文字以上 8 文字以内 ※英文字と数字を含めること。 ※パスワードルールに従って各自決めて下さい。
■新しいパスワード [確認]	確認のため新パスワード欄に入力したパスワードをもう一度入力。

パスワードの詳細なルールを見るにはここをクリックしてください。

6 新しいパスワードを 2 回入力し、『Change Password』をクリックします。



パスワード変更成功したときのメッセージ

新しいパスワードの入力が正しいと、確認メッセージ(EX-074 実行しますか?)が表示されますので、「OK」をクリックします。パスワード変更画面中央に “更新が完了しました。” と表示されたら、パスワード変更作業は完了です。

『OK』をクリックしてパスワード変更画面を閉じます。

パスワードは、定期的に変更してください。  
新しいパスワードの反映に最大7分かかります。

### ③ e-Campus のログイン

e-Campus ログイン画面 (パソコン用画面)



ホーム画面 (パソコン版画面)



1 e-Campus ログイン画面に戻り、ユーザ ID と新しいパスワードをユーザ ID 欄とパスワード欄に正確に入力します。この時、必ず半角英数で入力してください。また、大文字・小文字の区別も忘れずにしてください。入力したら『ログイン』ボタンをクリックします。

2 ログインが成功すると、OBIRIN e-Campus のホーム画面が表示されます。

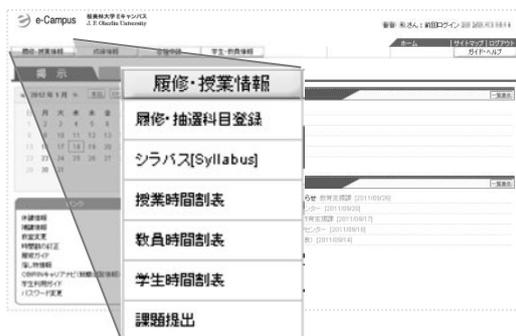
スマートフォン・タブレット用画面における「簡単ログイン」は、一度ユーザ ID、パスワードを入力して 3 日以内に再ログインをする場合、ユーザ ID とパスワードの入力を省略することができます。



(スマートフォン・タブレット用画面)

## ④ 履修登録の手順

履修登録は、ホーム画面の上部にあるメニューの『履修・授業情報』→『履修・抽選科目登録』をクリックし、登録画面へ進んでください。



(パソコン用画面)



(スマートフォン・タブレット用画面)

※授業の内容を確認するには、『シラバス[syllabus]』をクリックし、検索画面に進んでください。



1 新規に登録するときも、まずは『登録変更』をクリックしてください。

💡 履修登録後にもう一度ログインすると、登録済みの履修データが表示されます。変更を行う場合も『登録変更』をクリックしてください。



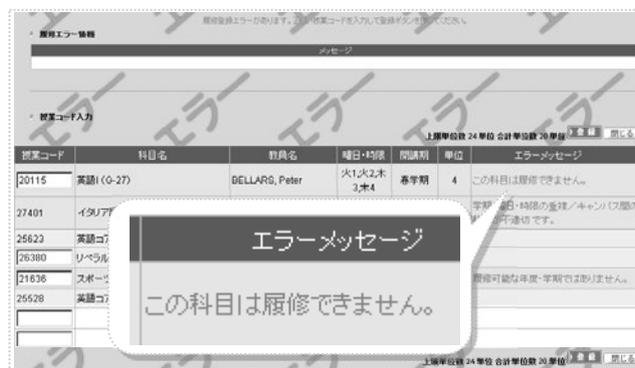
2 “授業コード入力欄”が表示されます。

1. 授業コードを半角で正しく入力してください。
2. 授業科目に関する最新情報を確認するには画面右上の『時間割等の訂正情報』をクリックしてください。
3. 授業コードの入力が完了したら『登録』をクリックしてください。

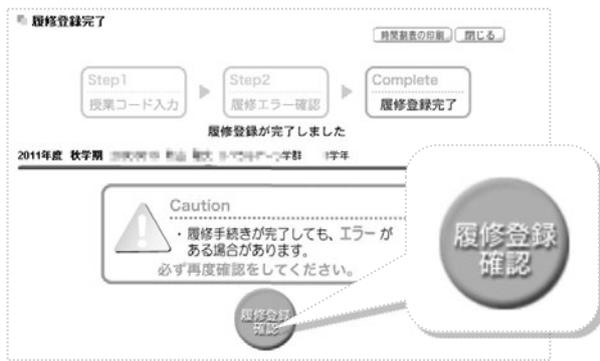


3 『登録』をクリックすると確認ダイアログが出ますので、『OK』を選びます。

4 エラーがある場合、表右の“エラーメッセージ欄”にエラー内容が表示されます。内容を確認し、授業コードの修正を行い、『登録』をクリックします。なお、エラーは必ず修正してください。修正しないと登録されません。



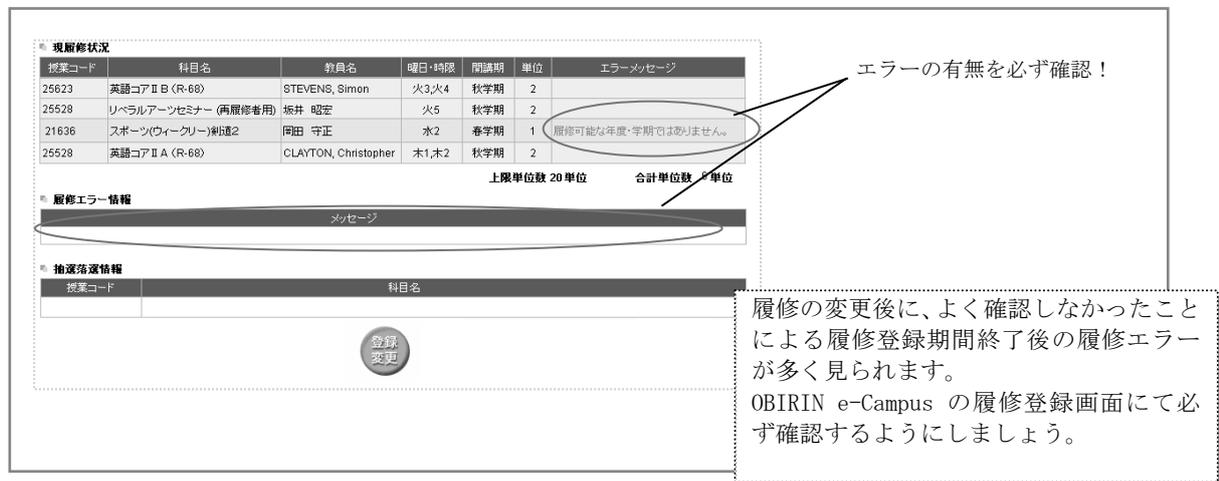
5 登録内容の削除は、入力されている授業コードを消去して『登録』をクリックしてください。



6 “履修登録完了”画面が表示されたら履修手続きは完了です。『履修登録確認』をクリックして、登録内容を確認します。

7 登録内容に間違いが無いかわず確認してください。**【注意】**

履修条件でエラーメッセージがなくても、誤って登録している場合があります。この画面で最終確認をしてください。



8 「履修エラー確認日」にエラーの有無を必ず確認してください。

<履修登録操作での注意点>

1. 週2コマ以上ある授業でも、1回のコード入力で問題ありません。
2. コード入力は必ずしも上からつめて行う必要はありません。
3. 授業コード欄の途中に空欄の行があっても問題ありません。
4. 授業名称、教員名等は授業コードを入力したこの時点ではまだ表示されません。
5. スマートフォンやタブレット端末での履修登録は、以下の事例が報告されています。履修登録できた場合でも、必ず履修登録期間内に、PCで登録結果を再確認してください。
  - ・狭い画面で操作したため、履修エラーに気づかず未登録のままだった。
  - ・機器ごとの詳細設定（主にポップアップブロック）が分からず、履修画面が開けなかった。

Webでの履修登録はスマートフォンや自宅のインターネットに接続されたPCやタブレット端末のほか、以下の学内環境から登録できます。

- ① 太平館6Fセルフアクセスセンター (SAC)、明々館6F PC教室 (第2 SAC) ※開放時のみ。
- ② PFC1FエントランスPC、PFC3FPC教室※開放時のみ。 学而館1FエントランスPC。
- ③ 碩学会館4F大学院マスター共同研究室・院生PCルーム (大学院生)。
- ④ 碩学会館5F大学院ドクター共同研究室 (大学院生)。

# 時間割



# <博士前期課程>

## 1.国際学専攻

### < 注 意 事 項 >

1. 履修登録時には、[授業コード]を入力すること。
2. 履修登録時には、履修条件等を十分確認し、所定のマニュアルにしたがって慎重に登録作業を行うこと。
3. 履修条件の詳細については、「履修ガイド」や「シラバス」、掲示物等も必ず確認すること。
4. 入学年次によって履修できる科目と履修できない科目があるので履修ガイドをよく見ること。
5. 「年次, クラスの指定等」の欄に記載されている「1」は1年次および2年次、「2」は2年次での履修を表しているので、履修登録の際には注意すること。
6. 「研究指導」「専攻演習」は、特に指示のない限り、教員オフィスで行われるので 注意すること。
7. 不規則な日程で行われる授業もあるので、「特別時間帯」科目欄で確認すること。  
詳細日程は決定次第、大学院掲示板およびe-Campus掲示板に掲載されます。

### Memo

時限	^7先	学期	授業コード	科目名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No.
月							
月2	--	☆	31021	アジア比較経済論	1	劉 敬文	C402
月3	--	☆	31019	現代中国経済論	1	小松 出	オフィス (B419)
月3	--	☆	31554	環境評価手法	1	片谷 教孝	C401
月4	--	☆	31022	中国文化研究 (a) (~2016年度生履修可)	2	藤澤 太郎	A902
月4	--	☆	31013	中国文化研究 I (2017年度生より履修可)	1	藤澤 太郎	A902
月4	--	☆	31084	情報環境論	1	末代 誠仁	A711
月5	--	☆	31030	日本文化論	1	倉澤 幸久	A904
月6	--	☆	31010	中国政治史	1	町田 隆吉	A902
月7	--	☆	361121	専攻演習 I A	1	末代 誠仁	--
月7	--	☆	361141	専攻演習 I A (小松 出)	1	小松 出	--
月7	--	☆	361241	専攻演習 I A (町田 隆吉)	1	町田 隆吉	--
月7	--	☆	361303	専攻演習 II A (鷹木 恵子)	2	鷹木 恵子	--
火							
火2	--	☆	31032	日本現代思想	1	太田 哲男	A902
火2	--	☆	31062	国際比較経済発展論	1	松尾 昌宏	オフィス (B328)
火3	--	☆	31550	地球環境論	1	坪田 幸政	S401
火4	--	☆	31017	アジア文化論	1	中生 勝美	オフィス (B422)
火7	--	☆	361111	専攻演習 I A (太田 哲男)	1	太田 哲男	--
火7	--	☆	361151	専攻演習 I A (勝呂 奏)	1	勝呂 奏	--
火7	--	☆	361251	専攻演習 I A (松尾 昌宏)	1	松尾 昌宏	--
水							
水2	--	☆	※	Academic Japanese A-41, A-42	1	福島 智子	A812
水2	--	☆	※	Academic Japanese B-41, B-42	1	槌田 和美	A813
水2	--	☆	※	Academic Japanese C-41, C-42, C-43	1	藤田 裕子	A814
※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							
水3	--	☆	31092	国際学特論 (a) (~2016年度生履修可)	2	張 平	C401
水3	--	☆	31087	国際学特論A (2017年度生より履修可)	1	張 平	C401
水3	--	☆	31024	現代中国論 (a) (~2016年度生履修可)	2	李 恩民	オフィス (B337)
水3	--	☆	31015	現代中国論 I (2017年度生より履修可)	1	李 恩民	オフィス (B337)
水4	--	☆	31080	国際政治論	1	加藤 朗	A906
水5	--	☆	38091	キャリアデザイン特講A	1	キャリア開発センタースタッフ	A406
水5	--	☆	38092	キャリアデザイン特講A (外国籍クラス)	1	キャリア開発センタースタッフ	A401
水7	--	☆	361181	専攻演習 I A (坪田 幸政)	1	坪田 幸政	--
水7	--	☆	361191	専攻演習 I A (中生 勝美)	1	中生 勝美	--
水7	--	☆	361221	専攻演習 I A (西岡 達裕)	1	西岡 達裕	--
水7	--	☆	361261	専攻演習 I A (李 恩民)	1	李 恩民	--
水7	--	☆	361133	専攻演習 II A (倉澤 幸久)	2	倉澤 幸久	--

時限	^7先	学期	授業コード	科 目 名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No
木							
木2	--	☆	31086	福祉思想	1	福田 潤	A906
木3	--	☆	31002	文化人類学Ⅱ	1	鷹木 恵子	C402
木5	--	☆	31068	社会政策史	1	兼田 麗子	C401
木7	--	☆	361131	専攻演習ⅠA(倉澤 幸久)	1	倉澤 幸久	—
木7	--	☆	361271	専攻演習ⅠA(劉 敬文)	1	劉 敬文	—
木7	--	☆	361291	専攻演習ⅠA(藤澤 太郎)	1	藤澤 太郎	—
金							
金2	--	☆	31557	環境政策論	1	藤倉 まなみ	C402
金2	--	☆	31035	日本前近代史	1	BATTEN, Bruce	
金3	--	☆	31003	文化交流論Ⅰ	1	張 利利	A902
金4	--	☆	31005	日韓文化交流論	1	鄭 百秀	C402
金7	--	☆	361161	専攻演習ⅠA(中條 献)	1	中條 献	—
金7	--	☆	361171	専攻演習ⅠA(鄭 百秀)	1	鄭 百秀	—
金7	--	☆	361281	専攻演習ⅠA(石田 高生)	1	石田 高生	—
土							
特別時間帯							
時間外	--	☆	361411	修士論文(町田 隆吉)【~2015年度生履修可】	2	町田 隆吉	—
時間外	--	☆	※	Academic English A-41, A-42	1	WILBY, Christine	B335
時間外	--	☆	※	Academic English B-41, B-42, B-43	1	WILBY, Christine	B335
時間外	--	☆	※	Academic English C-41	1	WILBY, Christine	B335
※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							

時限	^7先	学期	授業コード	科目名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No.
月							
月3	--	★	31020	中国経済体制論	1	劉 敬文	C402
月4	--	★	31054	アメリカ政治外交史 I	1	西岡 達裕	C402
月5	--	★	31014	中国文化研究 II	1	藤澤 太郎	A902
月6	--	★	31012	中国文化史	1	町田 隆吉	A902
月7	--	★	361126	専攻演習 I A (末代 誠仁)	1	末代 誠仁	--
月7	--	★	361127	専攻演習 I B (末代 誠仁)	1	末代 誠仁	--
月7	--	★	361146	専攻演習 I A (小松 出)	1	小松 出	--
月7	--	★	361147	専攻演習 I B (小松 出)	1	小松 出	--
月7	--	★	361166	専攻演習 I A (中條 献)	1	中條 献	--
月7	--	★	361167	専攻演習 I B (中條 献)	1	中條 献	--
月7	--	★	361246	専攻演習 I A (町田 隆吉)	1	町田 隆吉	--
月7	--	★	361247	専攻演習 I B (町田 隆吉)	1	町田 隆吉	--
月7	--	★	361256	専攻演習 I A (松尾 昌宏)	1	松尾 昌宏	--
月7	--	★	361257	専攻演習 I B (松尾 昌宏)	1	松尾 昌宏	--
月7	--	★	361309	専攻演習 II B (鷹木 恵子)	2	鷹木 恵子	--
火							
火2	--	★	31034	日本近代思想史	1	太田 哲男	C402
火3	--	★	31004	文化交流論 II	1	張 利利	C402
火4	--	★	31031	日本宗教思想	1	倉澤 幸久	C402
火7	--	★	361116	専攻演習 I A (太田 哲男)	1	太田 哲男	--
火7	--	★	361117	専攻演習 I B (太田 哲男)	1	太田 哲男	--
火7	--	★	361136	専攻演習 I A (倉澤 幸久)	1	倉澤 幸久	--
火7	--	★	361137	専攻演習 I B (倉澤 幸久)	1	倉澤 幸久	--
火7	--	★	361196	専攻演習 I A (中生 勝美)	1	中生 勝美	--
火7	--	★	361197	専攻演習 I B (中生 勝美)	1	中生 勝美	--
火7	--	★	361196	専攻演習 I A (中生 勝美)	1	中生 勝美	--
火7	--	★	361197	専攻演習 I B (中生 勝美)	1	中生 勝美	--
水							
水2	--	★	※	Academic Japanese A-41, A-42, A-43	1	梅岡 巳香	A712
水2	--	★	※	Academic Japanese B-41, B-42, B-43	1	槌田 和美	A713
水2	--	★	※	Academic Japanese C-41, C-42, C-43, C-44	1	藤田 裕子	A714
※履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							
水2	--	★	31555	環境モデリング	1	坪田 幸政	S401
水3	--	★	31016	現代中国論 II	1	李 恩民	C402
水4	--	★	31081	国際関係論	1	加藤 朗	A901
水5	--	★	38991	キャリアデザイン特講B	1	キャリア開発センタースタッフ	A406
水5	--	★	38992	キャリアデザイン特講B (外国籍クラス)	1	キャリア開発センタースタッフ	A401
水6	--	★	31001	文化人類学 I	1	中生 勝美	オフィス (B422)
水7	--	★	361186	専攻演習 I A (坪田 幸政)	1	坪田 幸政	--
水7	--	★	361187	専攻演習 I B (坪田 幸政)	1	坪田 幸政	--
水7	--	★	361226	専攻演習 I A (西岡 達裕)	1	西岡 達裕	--
水7	--	★	361227	専攻演習 I B (西岡 達裕)	1	西岡 達裕	--
水7	--	★	361266	専攻演習 I A (李 恩民)	1	李 恩民	--
水7	--	★	361267	専攻演習 I B (李 恩民)	1	李 恩民	--
水7	--	★	361276	専攻演習 I A (劉 敬文)	1	劉 敬文	--
水7	--	★	361277	専攻演習 I B (劉 敬文)	1	劉 敬文	--
水7	--	★	361139	専攻演習 II B (倉澤 幸久)	2	倉澤 幸久	--

時限	^7先	学期	授業コード	科目名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No.
<b>木</b>							
木2	--	★	31063	国際金融論	1	石田 高生	C401
木3	--	★	31534	人間と人生福祉論	1	福田 潤	C401
木5	--	★	31083	情報社会論	1	未代 誠仁	A709
木7	--	★	361296	専攻演習 I A (藤澤 太郎)	1	藤澤 太郎	--
木7	--	★	361297	専攻演習 I B (藤澤 太郎)	1	藤澤 太郎	--
木7	--	★	361217	専攻演習 I B (成沢 広行)	1	成沢 広行	--
木7	--	★	361296	専攻演習 I A (藤澤 太郎)	1	藤澤 太郎	--
木7	--	★	36129	専攻演習 I B (藤澤 太郎)	1	藤澤 太郎	--
<b>金</b>							
金2	--	★	31552	廃棄物環境論	1	藤倉 まなみ	C402
金2	--	★	31091	環境史	1	BATTEN, Bruce	C401
金3	--	★	31036	日本文学研究	1	勝呂 奏	C401
金4	--	★	31053	アメリカ思想 II	1	中條 献	A902
金5	--	★	31018	韓国文化論	1	鄭 百秀	C401
金7	--	★	361156	専攻演習 I A (勝呂 奏)	1	勝呂 奏	--
金7	--	★	361157	専攻演習 I B (勝呂 奏)	1	勝呂 奏	--
金7	--	★	361176	専攻演習 I A (鄭 百秀)	1	鄭 百秀	--
金7	--	★	361177	専攻演習 I B (鄭 百秀)	1	鄭 百秀	--
金7	--	★	361286	専攻演習 I A (石田 高生)	1	石田 高生	--
金7	--	★	361287	専攻演習 I A (石田 高生)	1	石田 高生	--
<b>土</b>							
<b>特別時間帯</b>							
時間外	--	★	※	Academic English A-41, A-42, A-43	1	WILBY, Christine	B335
時間外	--	★	※	Academic English B-41, B-42, B-43, B-44	1	WILBY, Christine	B335
時間外	--	★	※	Academic English C-41, C-42	1	WILBY, Christine	B335
				※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること			



# <修士課程>

## 2.国際協力専攻

### < 注 意 事 項 >

1. 履修登録時には、[授業コード]を入力すること。
2. 履修登録時には、履修条件等を十分確認し、所定のマニュアルにしたがって慎重に登録作業を行うこと。
3. 履修条件の詳細については、「履修ガイド」や「シラバス」、掲示物等も必ず確認すること。
4. 入学年次によって履修できる科目と履修できない科目があるので履修ガイドをよく見ること。
5. 「年次, クラスの指定等」の欄に記載されている「1」は1年次および2年次、「2」は2年次での履修を表しているので、履修登録の際には注意すること。
6. 学期の欄に☆★と記載されている科目は、春秋を継続して行う科目である。  
履修登録は春学期に行うので、秋学期の履修登録時には、他の科目との重複に注意すること。
7. 「専攻演習」は、特に指示のない限り、教員オフィスで行われるので 注意すること。
8. 不規則な日程で行われる授業もあるので、「特別時間帯」科目欄で確認すること。  
詳細日程は決定次第、大学院掲示板およびe-Campus掲示板に掲載されます。

### Memo

時限	^7先	学期	授業コード	科目名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No.
月							
月2	--	☆	31513	国際法 I	1	滝澤 美佐子	C401
月3	--	☆	31554	環境評価手法	1	片谷 教孝	C401
月4	--	☆	31538	国際難民法	1	佐藤 以久子	A904
月5	--	☆	31518	紛争研究	1	加藤 朗	A906
月7	--	☆	361651	専攻演習 I A (佐藤 以久子)	1	佐藤 以久子	—
月7	--	☆	361671	専攻演習 I A (滝澤 美佐子)	1	滝澤 美佐子	—
火							
火3	--	☆	31550	地球環境論	1	坪田 幸政	S401
火4	--	☆	31530	人間開発論	1	牧田 東一	—
火5	--	☆	31535	国際ケアサービス論	1	福田 潤	C401
火7	--	☆	361691	専攻演習 I A (藤倉 まなみ)	1	藤倉 まなみ	—
火7	--	☆	361701	専攻演習 I A (牧田 東一)	1	牧田 東一	—
水							
水2	--	☆	※	Academic Japanese A-41, A-42	1	福島 智子	A812
水2	--	☆	※	Academic Japanese B-41, B-42	1	槌田 和美	A813
水2	--	☆	※	Academic Japanese C-41, C-42, C-43	1	藤田 裕子	A814
※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							
水4	--	☆	31541	多文化社会論	1	宣 元錫	C401
水5	--	☆	38091	キャリアデザイン特講A	1	キャリア開発センタースタッフ	A406
水5	--	☆	38092	キャリアデザイン特講A (外国籍クラス)	1	キャリア開発センタースタッフ	A401
水7	--	☆	361621	専攻演習 I A (片谷 教孝)	1	片谷 教孝	—
水7	--	☆	361622	専攻演習 I B (片谷 教孝)	1	片谷 教孝	—
水7	--	☆	361631	専攻演習 I A (片山 博文)	1	片山 博文	—
水7	--	☆	361643	専攻演習 II A (加藤 朗)	2	加藤 朗	—
水7	--	☆	361693	専攻演習 II A (藤倉 まなみ)	2	藤倉 まなみ	—
水7	--	☆	361703	専攻演習 II A (牧田 東一)	2	牧田 東一	—
水7	--	☆	361704	専攻演習 II B (牧田 東一)	2	牧田 東一	—

時限	^7先	学期	授業コード	科 目 名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No.
木							
木3	--	☆	31556	環境経済学	1	片山 博文	C401
木4	--	☆	31510	グローバルガバナンス論	1	加藤 朗	C402
木7	--	☆	361641	専攻演習 I A (加藤 朗)	1	加藤 朗	—
木7	--	☆	361661	専攻演習 I A (鷹木 恵子)	1	鷹木 恵子	—
木7	--	☆	361681	専攻演習 I A (福田 潤)	1	福田 潤	—
金							
金2	--	☆	31557	環境政策論	1	藤倉 まなみ	C402
金3	--	☆	31533	児童と開発	1	齋藤 百合子	C402
金4	--	☆	31537	教育政策論	1	山岸 直司	C401
金7	--	☆	361601	専攻演習 I A (阿部 温子)	1	阿部 温子	—
金7	--	☆	361611	専攻演習 I A (小澤 一彦)	1	小澤 一彦	—
土							
特別時間帯							
時間外	--	☆	31520	平和構築論	1	橋本 敬市	未定
時間外	--	☆☆	31572	国際協力実習Ⅱ	1	井上 真	未定
時間外	--	☆	361911	修士論文(牧田 東一)【~2015年度生履修可】	2	牧田 東一	—
時間外	--	☆	※	国際協カインターンシップⅠ	1	スタッフ	—
時間外	--	☆	※	国際協カインターンシップⅡ	1	スタッフ	—
時間外	--	☆	※	国際協カインターンシップⅢ	1	スタッフ	—
				※履修を希望する学生は、定められた履修登録期間中に、専用の履修登録用紙を大学院事務室に提出すること			
時間外	--	☆	※	Academic English A-41, A-42	1	WILBY, Christine	B335
時間外	--	☆	※	Academic English B-41, B-42, B-43	1	WILBY, Christine	B335
時間外	--	☆	※	Academic English C-41	1	WILBY, Christine	B335
				※履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること			

時限	^7先	学期	授業コード	科目名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No.
月							
月2	--	★	31512	国際機構論	1	滝澤 美佐子	A907
月3	--	★	31536	国際福祉と開発	1	福田 潤	A905
月4	--	★	31539	国際人権法	1	佐藤 以久子	A907
月5	--	★	31517	平和研究	1	加藤 朗	A908
月7	--	★	361656	専攻演習 I A (佐藤 以久子)	1	佐藤 以久子	—
月7	--	★	361657	専攻演習 I B (佐藤 以久子)	1	佐藤 以久子	—
火							
火3	--	★	31532	アジア開発政策	1	窪田 新一	C402
火4	--	★	31519	地球市民社会論	1	牧田 東一	—
火7	--	★	361606	専攻演習 I A (阿部 温子)	1	阿部 温子	—
火7	--	★	361607	専攻演習 I B (阿部 温子)	1	阿部 温子	—
火7	--	★	361696	専攻演習 I A (藤倉 まなみ)	1	藤倉 まなみ	—
火7	--	★	361697	専攻演習 I B (藤倉 まなみ)	1	藤倉 まなみ	—
火7	--	★	361706	専攻演習 I A (牧田 東一)	1	牧田 東一	—
火7	--	★	361707	専攻演習 I B (牧田 東一)	1	牧田 東一	—
火7	--	★	361628	専攻演習 II A (片谷 教孝)	2	片谷 教孝	—
水							
水2	--	★	※	Academic Japanese A-41, A-42, A-43	1	梅岡 巳香	A712
水2	--	★	※	Academic Japanese B-41, B-42, B-43	1	樋田 和美	A713
水2	--	★	※	Academic Japanese C-41, C-42, C-43, C-44	1	藤田 裕子	A714
※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							
水2	--	★	31555	環境モデリング	1	坪田 幸政	S401
水5	--	★	38991	キャリアデザイン特講B	1	キャリア開発センタースタッフ	A406
水5	--	★	38992	キャリアデザイン特講B (外国籍クラス)	1	キャリア開発センタースタッフ	A401
水7	--	★	361649	専攻演習 II B (加藤 朗)	2	加藤 朗	—
水7	--	★	361699	専攻演習 II B (藤倉 まなみ)	2	藤倉 まなみ	—

時限	^7先	学期	授業コード	科 目 名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No
木							
木3	--	★	31534	人間と人生福祉論	1	福田 潤	C401
木2	--	★	31531	社会開発とジェンダー	1	鷹木 恵子	C402
木7	--	★	361636	専攻演習 I A (片山 博文)	1	片山 博文	-
木7	--	★	361637	専攻演習 I B (片山 博文)	1	片山 博文	-
木7	--	★	361646	専攻演習 I A (加藤 朗)	1	加藤 朗	-
木7	--	★	361647	専攻演習 I B (加藤 朗)	1	加藤 朗	-
木7	--	★	361666	専攻演習 I A (鷹木 恵子)	1	鷹木 恵子	-
木7	--	★	361667	専攻演習 I B (鷹木 恵子)	1	鷹木 恵子	-
木7	--	★	361676	専攻演習 I A (滝澤 美佐子)	1	滝澤 美佐子	-
木7	--	★	361677	専攻演習 I B (滝澤 美佐子)	1	滝澤 美佐子	-
木7	--	★	361686	専攻演習 I A (福田 潤)	1	福田 潤	-
木7	--	★	361687	専攻演習 I B (福田 潤)	1	福田 潤	-
金							
金2	--	★	31552	廃棄物環境論	1	藤倉 まなみ	C402
金3	--	★	31540	人の移動と政治	1	阿部 温子	A902
金4	--	★	31516	日本政治と国際協力	1	小澤 一彦	C401
金7	--	★	361616	専攻演習 I A (小澤 一彦)	1	小澤 一彦	-
金7	--	★	361617	専攻演習 I B (小澤 一彦)	1	小澤 一彦	-
金7	--	★	361626	専攻演習 I A (片谷 教孝)	1	片谷 教孝	-
金7	--	★	361627	専攻演習 I B (片谷 教孝)	1	片谷 教孝	-
金7	--	★	361709	専攻演習 II B (牧田 東一)	2	牧田 東一	-
土							
特別時間帯							
時間外	--	☆☆	31572	国際協力実習 II	1	井上 真	-
時間外	--	★	※	国際協力インターンシップ I	1	スタッフ	-
時間外	--	★	※	国際協力インターンシップ II	1	スタッフ	-
時間外	--	★	※	国際協力インターンシップ III	1	スタッフ	-
※履修を希望する学生は、定められた履修登録期間中に、専用の履修登録用紙を大学院事務室に提出すること							
時間外	--	★	※	Academic English A-41, A-42, A-43	1	WILBY, Christine	B335
時間外	--	★	※	Academic English B-41, B-42, B-43, B-44	1	WILBY, Christine	B335
時間外	--	★	※	Academic English C-41, C-42	1	WILBY, Christine	B335
※履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							



# 〈修士課程〉

## 3. 経営学専攻

### 〈 注 意 事 項 〉

1. 履修登録時には、[授業コード]を入力すること。
2. 履修登録時には、履修条件等を十分確認し、所定のマニュアルにしたがって慎重に登録作業を行うこと。
3. 履修条件の詳細については、「履修ガイド」や「シラバス」、掲示物等も必ず確認すること。
4. 「研究指導」「専攻演習」は、特に指示のない限り、教員オフィスで行われるので 注意すること。
5. 入学年次によって履修できる科目と履修できない科目があるので履修ガイドをよく見ること。
6. 「年次,クラスの指定等」の欄に記載されている「1」は1年次および2年次、「2」は2年次での履修を表しているので、履修登録の際には注意すること。
7. 不規則な日程で行われる授業もあるので、「特別時間帯」科目欄で確認すること。  
詳細日程は決定次第、大学院掲示板およびe-Campus掲示板上に掲載されます。

### Memo

時限	^7先	学期	授業コード	科目名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No.
月							
月2	--	☆	32209	異文化経営研究	1	馬越 恵美子	A907
月2	--	☆	32201	経営史研究	1	林 拓也	A906
月2	--	☆	362005	専攻演習 I A (金山 権)	1	金山 権	A905
月3	--	☆	32304	経営システム研究	1	杉山 大輔	A908
月3	--	☆	32101	経営管理研究	1	坂本 恒夫	C402
月3	--	☆	362105	専攻演習 II A (金山 権)	2	金山 権	A905
月3	--	☆	362106	専攻演習 II B (金山 権)	2	金山 権	A905
月4	--	☆	32005	学術論文の書き方	1	野田 秀三 他	C307
月5	--	☆	32307	CSR経営研究	1	生田 孝史	C307
月5	--	☆	32109	財務管理研究	1	坂本 恒夫	C401
月6	--	☆	32212	国際証券研究	1	平田 潤	C307
月7	--	☆	362065	専攻演習 I A (齋藤 隆夫)	1	齋藤 隆夫	-
月7	--	☆	362067	専攻演習 I A (鈴木 勝博)	1	鈴木 勝博	-
月7	--	☆	362021	専攻演習 I A (平田 潤)	1	平田 潤	-
火							
火2	--	☆	32107	人的資源管理研究	1	董 光哲	C307
火3	--	☆	362029	専攻演習 I A (山口 有次)	1	山口 有次	-
火4	--	☆	32216	集客ビジネス研究【2017年度生より履修可】	1	山口 有次	A906
火5	--	☆	32214	中国経営行動研究	1	金山 権	A907
火6	--	☆	32009	特殊講義Ⅲ (環境不動産とESG投資研究)	1	堀江 隆一	C307
火6	--	☆	362001	専攻演習 I A (井上 隆一郎)	1	井上 隆一郎	-
火6	--	☆	362113	専攻演習 II A (坂田 淳一)	2	坂田 淳一	-
火6	--	☆	2116	専攻演習 II B (坂田 淳一)	2	坂田 淳一	-
火7	--	☆	362013	専攻演習 I A (坂田 淳一)	1	坂田 淳一	-
火7	--	☆	362101	専攻演習 II A (井上 隆一郎)	2	井上 隆一郎	-
水							
水2	--	☆	※	Academic Japanese A-41, A-42	1	福島 智子	A812
水2	--	☆	※	Academic Japanese B-41, B-42	1	槌田 和美	A813
水2	--	☆	※	Academic Japanese C-41, C-42, C-43	1	藤田 裕子	A814
※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							
水3	--	☆	32103	経営戦略研究	1	土屋 勉男	A902
水4	--	☆	362117	専攻演習 II A (土屋 勉男)	2	土屋 勉男	C402
水4	--	☆	362118	専攻演習 II B (土屋 勉男)	2	土屋 勉男	C402
水5	--	☆	38091	キャリアデザイン特講A	1	キャリア開発センタースタッフ	A406
水5	--	☆	38092	キャリアデザイン特講A (外国籍クラス)	1	キャリア開発センタースタッフ	A401
水6	--	☆	32001	経営学説特論	1	境 睦他	C307
水7	--	☆	362007	専攻演習 I A (杉山 大輔)	1	杉山 大輔	A902
水7	--	☆	362027	専攻演習 I A (渡邊 康洋)	1	渡邊 康洋	-

時限	^7先	学期	授業コード	科目名	年次,クラスの指定等	担当者	教室No
木							
木2	--	☆	32215	観光振興研究【2017年度生より履修可】	1	渡邊 康洋	A904
木2	--	☆	362019	専攻演習 I A (原田 節雄)	1	原田 節雄	A905
木2	--	☆	362023	専攻演習 I A (馬越 恵美子)	1	馬越 恵美子	--
木3	--	☆	32102	経営組織研究	1	齋藤 泰浩	A906
木3	--	☆	32308	国際標準化研究	1	原田 節雄	A905
木3	--	☆	362003	専攻演習 I A (董 光哲)	1	董 光哲	--
木3	--	☆	362123	専攻演習 II A (馬越 恵美子)	2	馬越 恵美子	--
木4	--	☆	32003	経営政策特論	1	宮下 幸一	C307
木4	--	☆	32203	企業会計研究	1	野田 秀三	C401
木4	--	☆	362119	専攻演習 II A (原田 節雄)	2	原田 節雄	A905
木4	--	☆	362120	専攻演習 II B (原田 節雄)	2	原田 節雄	A905
木5	--	☆	32111	マーケティング研究	1	宮本 文幸	C307
木5	--	☆	362025	専攻演習 I A (宮下 幸一)	1	宮下 幸一	--
木6	--	☆	362109	専攻演習 II A (齋藤 泰浩)	2	齋藤 泰浩	A902
木6	--	☆	362110	専攻演習 II B (齋藤 泰浩)	2	齋藤 泰浩	A902
木6	--	☆	362125	専攻演習 II A (宮下 幸一)	2	宮下 幸一	--
木6	--	☆	362127	専攻演習 II A (渡邊 康洋)	2	渡邊 康洋	--
木6	--	☆	362128	専攻演習 II B (渡邊 康洋)	2	渡邊 康洋	--
木7	--	☆	362009	専攻演習 I A (齋藤 泰浩)	1	齋藤 泰浩	A902
木7	--	☆	362061	専攻演習 I A (宮本 文幸)	1	宮本 文幸	--
金							
金3	--	☆	32302	ISO総論	1	高橋 義郎	A907
金3	--	☆	362011	専攻演習 I A (境 睦)	1	境 睦	A903
金4	--	☆	32303	経営品質研究	1	高橋 義郎	A907
金5	--	☆	32010	特殊講義IV (コーポレート・ガバナンスと経営者報酬)	1	阿部 直彦	A904
金5	--	☆	362015	専攻演習 I A (高橋 義郎)	1	高橋 義郎	A907
金6	--	☆	362111	専攻演習 II A (境 睦)	2	境 睦	A903
金6	--	☆	362211	修士論文 (境 睦)	2	境 睦	A903
金6	--	☆	362113	専攻演習 II A (坂田 淳一)	2	坂田 淳一	--
金6	--	☆	362114	専攻演習 II B (坂田 淳一)	2	坂田 淳一	--
金6	--	☆	362115	専攻演習 II A (高橋 義郎)	2	高橋 義郎	A907
金6	--	☆	362116	専攻演習 II A (高橋 義郎)	2	高橋 義郎	A907
土							
特別時間帯							
時間外	--	☆	※	Academic English A-41, A-42	1	WILBY, Christine	B335
時間外	--	☆	※	Academic English B-41, B-42	1	WILBY, Christine	B335
時間外	--	☆	※	Academic English C-41, C-42, C-43	1	WILBY, Christine	B335
※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							

時限	^7先	学期	授業コード	科目名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No.
月							
月2	--	★	32210	欧米企業研究	1	馬越 恵美子	C401
月2	--	★	362035	専攻演習 I A (金山 権)	1	金山 権	A903
月2	--	★	362036	専攻演習 I B (金山 権)	1	金山 権	A903
月3	--	★	32104	国際経営研究	1	齋藤 泰浩	A907
月3	--	★	32202	比較経営史研究	1	林 拓也	A904
月3	--	★	362135	専攻演習 II A (金山 権)	2	金山 権	A903
月4	--	★	32006	学術論文の書き方	1	野田 秀三 他	C307
月5	--	★	32211	日本の経営研究	1	坂本 恒夫	C402
月6	--	★	32114	ベンチャー企業経営論【2018年度生より履修可】	1	鈴木 勝博	A901
月7	--	★	362069	専攻演習 I A (齋藤 隆夫)	1	齋藤 隆夫	-
月7	--	★	362070	専攻演習 I B (齋藤 隆夫)	1	齋藤 隆夫	-
月7	--	★	362071	専攻演習 I A (鈴木 勝博)	1	鈴木 勝博	-
月7	--	★	362072	専攻演習 I B (鈴木 勝博)	1	鈴木 勝博	-
月7	--	★	362051	専攻演習 I A (平田 潤)	1	平田 潤	-
月7	--	★	362052	専攻演習 I B (平田 潤)	1	平田 潤	-
火							
火2	--	★	32108	国際人材開発研究	1	董 光哲	C307
火3	--	★	32310	技術経営 (MOT) 研究	1	井上 隆一郎	C401
火4	--	★	32008	特殊講義 II (経営とマーケティング)	1	山田 脩二	C307
火4	--	★	362142	専攻演習 II B (境 睦)	2	境 睦	A903
火5	--	★	32208	アジア企業研究	1	金山 権	A908
火6	--	★	362031	専攻演習 I A (井上 隆一郎)	1	井上 隆一郎	-
火6	--	★	362032	専攻演習 I B (井上 隆一郎)	1	井上 隆一郎	-
火6	--	★	362144	専攻演習 II B (坂田 淳一)	2	坂田 淳一	-
火6	--	★	362059	専攻演習 I A (山口 有次)	1	山口 有次	-
火6	--	★	362060	専攻演習 I B (山口 有次)	1	山口 有次	-
火7	--	★	362132	専攻演習 II B (井上 隆一郎)	2	井上 隆一郎	-
火7	--	★	362043	専攻演習 I A (坂田 淳一)	1	坂田 淳一	-
火7	--	★	362044	専攻演習 I B (坂田 淳一)	1	坂田 淳一	-
水							
水2	--	★	※	Academic Japanese A-41, A-42, A-43	1	梅岡 巳香	A712
水2	--	★	※	Academic Japanese B-41, B-42, B-43	1	槌田 和美	A713
水2	--	★	※	Academic Japanese C-41, C-42, C-43, C-44	1	藤田 裕子	A714
※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							
水3	--	★	32207	国際企業研究	1	土屋 勉男	C307
水4	--	★	32305	ものづくり経営研究	1	杉山 大輔	A907
水4	--	★	362148	専攻演習 II B (土屋 勉男)	2	土屋 勉男	C402
水5	--	★	38991	キャリアデザイン特講B	1	キャリア開発センタースタッフ	A406
水5	--	★	38992	キャリアデザイン特講B (外国籍クラス)	1	キャリア開発センタースタッフ	A401
水6	--	★	32002	経営学説特論	1	境 睦 他	C307
水7	--	★	362037	専攻演習 I A (杉山 大輔)	1	杉山 大輔	A902
水7	--	★	362038	専攻演習 I B (杉山 大輔)	1	杉山 大輔	A902
水7	--	★	362057	専攻演習 I A (渡邊 康洋)	1	渡邊 康洋	-
水7	--	★	362058	専攻演習 I B (渡邊 康洋)	1	渡邊 康洋	-

時限	^7先	学期	授業コード	科 目 名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No
木							
木2	--	★	32213	国際金融研究	1	平田 潤	A907
木2	--	★	362033	専攻演習 I A (董 光哲)	1	董 光哲	-
木2	--	★	362034	専攻演習 I B (董 光哲)	1	董 光哲	-
木2	--	★	362049	専攻演習 I A (原田 節雄)	1	原田 節雄	A905
木2	--	★	362050	専攻演習 I B (原田 節雄)	1	原田 節雄	A905
木2	--	★	362053	専攻演習 I A (馬越 恵美子)	1	馬越 恵美子	-
木2	--	★	362054	専攻演習 I B (馬越 恵美子)	1	馬越 恵美子	-
木3	--	★	32309	知財マネジメント研究	1	原田 節雄	A907
木3	--	★	362154	専攻演習 II B (馬越 恵美子)	2	馬越 恵美子	-
木4	--	★	32004	経営政策特論	1	宮下 幸一	C307
木4	--	★	362149	専攻演習 II A (原田 節雄)	2	原田 節雄	A905
木5	--	★	32112	国際マーケティング研究	1	宮本 文幸	G207
木6	--	★	32113	企業と法【2018年度生より履修可】	1	齋藤 隆夫	C307
木6	--	★	362140	専攻演習 II B (齋藤 泰浩)	2	齋藤 泰浩	A902
木6	--	★	362156	専攻演習 II B (宮下 幸一)	2	宮下 幸一	-
木6	--	★	362158	専攻演習 II B (渡邊 康洋)	2	渡邊 康洋	-
木7	--	★	362039	専攻演習 I A (齋藤 泰浩)	1	齋藤 泰浩	A902
木7	--	★	362040	専攻演習 I B (齋藤 泰浩)	1	齋藤 泰浩	A902
木7	--	★	362055	専攻演習 I A (宮下 幸一)	1	宮下 幸一	-
木7	--	★	362056	専攻演習 I B (宮下 幸一)	1	宮下 幸一	-
木7	--	★	362063	専攻演習 I A (宮本 文幸)	1	宮本 文幸	-
木7	--	★	362064	専攻演習 I B (宮本 文幸)	1	宮本 文幸	-
金							
金3	--	★	32301	環境ISO研究	1	高橋 義郎	C402
金4	--	★	32306	リスクマネジメント研究	1	高橋 義郎	C402
金4	--	★	362041	専攻演習 I A (境 睦)	1	境 睦	A904
金4	--	★	362042	専攻演習 I B (境 睦)	1	境 睦	A904
金5	--	★	32110	国際財務研究	1	境 睦	A908
金5	--	★	362045	専攻演習 I A (高橋 義郎)	1	高橋 義郎	C402
金5	--	★	362046	専攻演習 I B (高橋 義郎)	1	高橋 義郎	C402
金6	--	★	32105	経営情報管理研究	1	坂田 淳一	A905
金6	--	★	362145	専攻演習 II A (高橋 義郎)	2	高橋 義郎	C402
土							
特別時間帯							
時間外	--	★	※	Academic English A-41, A-42, A-43	1	WILBY, Christine	B335
時間外	--	★	※	Academic English B-41, B-42, B-43, B-44	1	WILBY, Christine	B335
時間外	--	★	※	Academic English C-41, C-42	1	WILBY, Christine	B335
※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							



# 〈修士課程〉

## 4. 日本語教育専攻

### 〈 注 意 事 項 〉

1. 履修登録時には、[授業コード]を入力すること。
2. 履修登録時には、履修条件等を十分確認し、慎重に登録作業を行うこと。
3. 履修条件の詳細については、「履修ガイド」や「シラバス」、掲示物等も必ず確認すること。
4. 入学年次によって履修できる科目と履修できない科目があるので履修ガイドをよく見ること。
5. 不規則な日程で行われる授業及び【隔週授業】の詳細は、後日四谷キャンパスより配布する時間割表を大学院掲示板・四谷キャンパス掲示板で確認すること。
6. 網掛けしている科目は、言語教育研究科の共通科目です。

### Memo

時限	^7先	学期	授業コード	科 目 名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No.
月							
月5	--	☆	363140	専攻演習 I A (齋藤 伸子)	1	齋藤 伸子	SY305
月5	--	☆	363141	専攻演習 I B (齋藤 伸子)	1	齋藤 伸子	SY305
月6	--	☆	363340	専攻演習 II A (齋藤 伸子)	2	齋藤 伸子	SY305
月6	--	☆	363341	専攻演習 II B (齋藤 伸子)	2	齋藤 伸子	SY305
月6	--	☆	363345	修士論文 (齋藤 伸子) 【2015年度生のみ履修可】	2	齋藤 伸子	-
火							
火4	--	☆	363330	専攻演習 II A (青山 文啓)	2	青山 文啓	SY306
火4	--	☆	363331	専攻演習 II B (青山 文啓)	2	青山 文啓	SY306
火4	--	☆	363335	修士論文 (青山 文啓) 【2015年度生のみ履修可】	2	青山 文啓	-
火5	--	☆	363130	専攻演習 I A (青山 文啓)	1	青山 文啓	SY306
火5	--	☆	363131	専攻演習 I B (青山 文啓)	1	青山 文啓	SY306
火6	--	☆	33001	言語学	1	青山 文啓	SY306
水							
水5	--	☆	38091	キャリアデザイン特講A	1	キャリア開発センタースタッフ	町田キャンパス
水5	--	☆	38092	キャリアデザイン特講A (外国籍クラス)	1	キャリア開発センタースタッフ	町田キャンパス
水6	--	☆	33102	日本語教育政策研究	1	山本 忠行	SY306
木							
木5	--	☆	363120	専攻演習 I A (宮副ウオン 裕子)	1	宮副ウオン 裕子	SY304
木5	--	☆	363121	専攻演習 I B (宮副ウオン 裕子)	1	宮副ウオン 裕子	SY304
木6	--	☆	33112	日本語語彙研究と表記	1	加藤 祥	SY204
木6	--	☆	363320	専攻演習 II A (宮副ウオン 裕子)	2	宮副ウオン 裕子	SY304
木6	--	☆	363321	専攻演習 II B (宮副ウオン 裕子)	2	宮副ウオン 裕子	SY304
木6	--	☆	363325	修士論文 (宮副ウオン 裕子) 【2015年度生のみ履修可】	2	宮副ウオン 裕子	-
木7	--	☆	33103	日本語教育評価研究	1	宮副ウオン 裕子	SY304



時限	7先	学期	授業コード	科目名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No.
<b>月</b>							
月5	--	★	363240	専攻演習 I A (齋藤 伸子)	1	齋藤 伸子	SY305
月5	--	★	363241	専攻演習 I B (齋藤 伸子)	1	齋藤 伸子	SY305
月6	--	★	33005	相互行為研究	1	池田 智子	SY304
月6	--	★	363440	専攻演習 II A (齋藤 伸子)	2	齋藤 伸子	SY305
月6	--	★	363441	専攻演習 II B (齋藤 伸子)	2	齋藤 伸子	SY305
月6	--	★	363446	修士論文 (齋藤 伸子)【2015年度生のみ履修可】	2	齋藤 伸子	-
月7	--	★	33104	日本語教材研究	1	齋藤 伸子	SY305
<b>火</b>							
火4	--	★	363230	専攻演習 I A (青山 文啓)	1	青山 文啓	SY306
火4	--	★	363231	専攻演習 I B (青山 文啓)	1	青山 文啓	SY306
火5	--	★	363430	専攻演習 II A (青山 文啓)	2	青山 文啓	SY306
火5	--	★	363431	専攻演習 II B (青山 文啓)	2	青山 文啓	SY306
火5	--	★	363436	修士論文 (青山 文啓)【2015年度生のみ履修可】	2	青山 文啓	-
火6	--	★	33113	日本語文法研究	1	青山 文啓	SY306
火7	--	★	33002	社会言語学	1	宮副ウオン 裕子	SY305
<b>水</b>							
水5	--	★	38991	キャリアデザイン特講B	1	キャリア開発センタースタッフ	町田キャンパス
水5	--	★	38992	キャリアデザイン特講B (外国籍クラス)	1	キャリア開発センタースタッフ	町田キャンパス
※ 履修登録は初回の授業にて行います							
<b>木</b>							
木5	--	★	363220	専攻演習 I A (宮副ウオン 裕子)	1	宮副ウオン 裕子	SY304
木5	--	★	363221	専攻演習 I B (宮副ウオン 裕子)	1	宮副ウオン 裕子	SY304
木6	--	★	33114	日本語文章研究	1	加藤 祥	SY204
木6	--	★	363420	専攻演習 II A (宮副ウオン 裕子)	2	宮副ウオン 裕子	SY304
木6	--	★	363421	専攻演習 II B (宮副ウオン 裕子)	2	宮副ウオン 裕子	SY304
木6	--	★	363426	修士論文 (宮副ウオン 裕子)【2015年度生のみ履修可】	2	宮副ウオン 裕子	-
木7	--	★	33004	言語習得研究	1	宮副ウオン 裕子	SY304





## <修士課程>

### 5. 英語教育専攻

#### < 注 意 事 項 >

1. 履修登録時には、[授業コード]を入力すること。
2. 履修登録時には、履修条件等を十分確認し、所定のマニュアルにしたがって慎重に登録作業を行うこと。
3. 履修条件の詳細については、「履修ガイド」や「シラバス」、掲示物等も必ず確認すること。
4. 入学年次によって履修できる科目と履修できない科目があるので履修ガイドをよく見ること。
5. 「年次, クラスの指定等」の欄に記載されている「1」は1年次および2年次、「2」は2年次での履修を表しているので、履修登録の際には注意すること。
6. 網掛けしている科目は、言語教育研究科の共通科目です。
7. 「研究指導」「専攻演習」は、特に指示のない限り、教員オフィスで行われるので 注意すること。
8. 不規則な日程で行われる授業もあるので、「特別時間帯」科目欄等で確認すること。

#### Memo

時限	ア先	学期	授業コード	科目名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No.
月							
月5	--	☆	33501	英語教育学理論	1	GERSHON, Steven	-
火							
火4	--	☆	33515	イギリス文学演習	1	原田 美知子	-
火6	--	☆	33001	言語学	1	青山 文啓	四谷キャンパス
水							
水2	--	☆	※	Academic Japanese A-41, A-42	1	福島 智子	A812
水2	--	☆	※	Academic Japanese B-41, B-42	1	槌田 和美	A813
水2	--	☆	※	Academic Japanese C-41, C-42, C-43	1	藤田 裕子	A814
				※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること			
水5	--	☆	38091	キャリアデザイン特講A	1	キャリア開発センタースタッフ	A406
水5	--	☆	38092	キャリアデザイン特講A (外国籍クラス)	1	キャリア開発センタースタッフ	A401



時限	^7先	学期	授業コード	科目名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No.
月							
月4	--	★	33503	英語授業学	1	GERSHON, Steven	-
月5	--	★	33508	英語音声学	1	山岡 洋	-
月6	--	★	33005	相互行為研究	1	池田 智子	四谷キャンパス
火							
火2	--	★	33512	英語表現演習	1	WILBY, Christine	-
火7	--	★	33002	社会言語学	1	宮副ウオン 裕子	四谷キャンパス
水							
水2	--	★	※	Academic Japanese A-41, A-42, A-43	1	梅岡 巳香	A712
水2	--	★	※	Academic Japanese B-41, B-42, B-43	1	槌田 和美	A713
水2	--	★	※	Academic Japanese C-41, C-42, C-43, C-44	1	藤田 裕子	A714
※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							
水3	--	★	33502	英語教授法演習	1	GERSHON, Steven	-
水5	--	★	38991	キャリアデザイン特講B	1	キャリア開発センタースタッフ	A406
水5	--	★	38992	キャリアデザイン特講B (外国籍クラス)	1	キャリア開発センタースタッフ	A401





# 〈修士課程〉

## 6.臨床心理学専攻

### 〈 注 意 事 項 〉

1. 履修登録時には、[授業コード]を入力すること。
2. 履修登録時には、履修条件等を十分確認し、所定のマニュアルにしたがって慎重に登録作業を行うこと。
3. 履修条件の詳細については、「履修ガイド」や「シラバス」、掲示物等も必ず確認すること。
4. 「専攻演習」は、特に指示のない限り、教員オフィスで行われるので 注意すること。
5. 週2回以上授業がある科目については、週の最初の授業に授業コードが表示してあるので注意すること。
6. 科目により授業を開講するキャンパスが異なるので注意すること。
7. 入学年次によって履修できる科目と履修できない科目があるので履修ガイドをよく見ること。
8. 「年次, クラスの指定等」の欄に記載されている「1」は1年次および2年次、「2」は2年次での履修を表しているので、履修登録の際には注意すること。
9. 不規則な日程で行われる授業もあるので、「特別時間帯」科目欄で確認すること。  
詳細日程は決定次第、大学院掲示板およびe-Campus掲示板に掲載されます。
10. ☆★と記載されている科目は、春秋を継続して行う科目である。  
履修登録は春学期に行うので、秋学期の履修登録時には、他の科目との重複に注意すること。
11. 網掛けしている科目は、心理学研究科の共通科目です。
12. 【隔週授業】の詳細は、大学院掲示板およびe-Campus掲示板を確認すること。

Memo

M臨心

時限	17先	学期	授業コード	科目名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No.
月							
月2	--	☆	34292	認知行動療法特論	1	小関 俊祐/池田 美樹	C307
月3	--	☆	34025	地域福祉特論	1	野村 知子	A904
月3	--	☆	34121	臨床心理査定演習 I	1	池田 美樹	臨床心理センター
月3	--	☆	364493	専攻演習 II A (山口 一)	2	山口 一	--
月4	--	☆	34112	臨床心理面接特論 II	1	井上 直子	臨床心理センター
月6	--	☆	34035	生命倫理学特論	1	長島 隆	A901
火							
火2	火3	☆	34275	遊戯療法特論【隔週授業】	1	湯野 貴子	臨床心理センター
火3	火2	☆	*	遊戯療法特論【隔週授業】	1	湯野 貴子	臨床心理センター
火4	火5	☆	34165	心理統計法特論【隔週授業】	1	杉澤 秀博	A606
火5	火4	☆	*	心理統計法特論【隔週授業】	1	杉澤 秀博	A606
水							
水1	--	☆☆	34150	臨床心理実習スーパービジョン	2	井上 直子 他	臨床心理センター
水2	--	☆	※	Academic Japanese A-41, A-42	1	福島 智子	A812
水2	--	☆	※	Academic Japanese B-41, B-42	1	槌田 和美	A813
水2	--	☆	※	Academic Japanese C-41, C-42, C-43	1	藤田 裕子	A814
※履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							
水2	--	☆☆	34140	臨床心理実習	2	山口 一 他	B610
水3	--	☆	364411	専攻演習 I A (井上 直子)	1	井上 直子	--
水3	--	☆	364451	専攻演習 I A (小関 俊祐)	1	小関 俊祐	--
水3	--	☆	364471	専攻演習 I A (種市 康太郎)	1	種市 康太郎	--
水4	水5	☆	34290	心理技法とその応用【原則隔週授業】	1	種市 康太郎 他	臨床心理センター
水4	--	☆	364403	専攻演習 II A (池田 美樹)	2	池田 美樹	--
水4	--	☆	364413	専攻演習 II A (井上 直子)	2	井上 直子	--
水4	--	☆	364473	専攻演習 II A (種市 康太郎)	2	種市 康太郎	--
水5	水4	☆	*	心理技法とその応用【原則隔週授業】	1	種市 康太郎 他	臨床心理センター
水5	--	☆	38091	キャリアデザイン特講A	1	キャリア開発センタースタッフ	A406
水5	--	☆	38092	キャリアデザイン特講A (外国籍クラス)	1	キャリア開発センタースタッフ	A401
水7	--	☆	364453	専攻演習 II A (小関 俊祐)	2	小関 俊祐	--

時限	^7先	学期	授業コード	科 目 名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No
木							
木2	--	☆	34101	臨床心理学特論 I	1	井上 直子	A901
木3	--	☆	34215	精神医学特論	1	山口 一	A901
木4	--	☆	364401	専攻演習 I A (池田 美樹)	1	池田 美樹	-
木4	--	☆	364491	専攻演習 I A (山口 一)	1	山口 一	-
金							
土							
特別時間帯							
時間外	--	☆	34000	ヒューマンケア心理学特論	1	長田 久雄	四谷
時間外	--	☆	34010	健康科学特論	1	宮崎 光次 他	C402
時間外	--	☆	34160	心理学研究法特論	1	長田 久雄/林 葉子	四谷
時間外	--	☆	34185	学習心理学特論	1	坂本 正裕	四谷
時間外	--	☆	34205	家族心理学特論	1	ジェイムス 朋子	町田
時間外	--	☆	34295	臨床心理総合特論	1	福井 博一	四谷
時間外	--	☆	34111	臨床心理面接特論 I	1	種市 康太郎	臨床心理センター
時間外	--	☆	※	Academic English A-41, A-42	1	WILBY, Christine	B335
時間外	--	☆	※	Academic English B-41, B-42, B-43	1	WILBY, Christine	B335
時間外	--	☆	※	Academic English C-41	1	WILBY, Christine	B335
※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							

時限	優先	学期	授業コード	科目名	年次,クラスの 指定等	担当者	教室No.
月							
月1	--	★	34175	発達心理学特論	1	小山 真弓	A902
月2	--	★	34122	臨床心理査定演習Ⅱ	1	小関 俊祐	A902
月3	--	★	364497	専攻演習ⅠB (山口 一)	1	山口 一	—
月3	--	★	364407	専攻演習ⅠB (池田 美樹)	1	池田 美樹	—
月4	--	★	34131	臨床心理基礎実習Ⅰ	1	井上 直子	臨床心理センター
火							
火3	--	★	34045	児童福祉特論	1	小泉 広子	1304
水							
水1	--	☆☆	34150	臨床心理実習スーパービジョン	2	井上 直子 他	臨床心理センター
水2	--	★	※	Academic Japanese A-41, A-42, A-43	1	梅岡 巳香	A712
水2	--	★	※	Academic Japanese B-41, B-42, B-43	1	槌田 和美	A713
水2	--	★	※	Academic Japanese C-41, C-42, C-43, C-44	1	藤田 裕子	A714
※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							
水2	--	☆☆	34140	臨床心理実習	2	山口 一 他	B610
水3	--	★	364417	専攻演習ⅠB (井上 直子)	1	井上 直子	—
水3	--	★	364457	専攻演習ⅠB (小関 俊祐)	1	小関 俊祐	—
水3	--	★	364477	専攻演習ⅠB (種市 康太郎)	1	種市 康太郎	—
水4	--	★	364409	専攻演習ⅡB (池田 美樹)	2	池田 美樹	—
水4	--	★	364419	専攻演習ⅡB (井上 直子)	2	井上 直子	—
水4	--	★	364479	専攻演習ⅡB (種市 康太郎)	2	種市 康太郎	—
水5	--	★	38991	キャリアデザイン特講B	1	キャリア開発センタースタッフ	A406
水5	--	★	38992	キャリアデザイン特講B (外国籍クラス)	1	キャリア開発センタースタッフ	A401
水7	--	★	364459	専攻演習ⅡB (小関 俊祐)	2	小関 俊祐	—

時限	^7先	学期	授業コード	科 目 名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No
木							
木2	--	★	34245	産業臨床心理学特論	1	種市 康太郎	A904
木3	--	★	34102	臨床心理学特論Ⅱ	1	種市 康太郎	A904
木3	--	★	364499	専攻演習ⅡB(山口 一)	2	山口 一	—
木4	--	★	34285	投影検査法特論	1	池田 美樹	臨床心理センター
木5	--	★	34132	臨床心理基礎実習Ⅱ	1	山口 一	臨床心理センター
金							
金2	--	★	34235	学校臨床心理学特論	1	石田 多枝子	C307
土							
特別時間帯							
時間外	--	★	34195	犯罪心理学特論	1	藤野 京子	四谷
時間外	--	★	34225	障害児心理学特論	1	久保 義郎	町田
時間外	--	★	34260	臨床心理技法特論	1	小山 真弓 他	臨床心理センター
時間外	--	★	※	Academic English A-41, A-42, A-43	1	WILBY, Christine	B335
時間外	--	★	※	Academic English B-41, B-42, B-43, B-44	1	WILBY, Christine	B335
時間外	--	★	※	Academic English C-41, C-42	1	WILBY, Christine	B335
※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							



# 〈修士課程〉

## 7.健康心理学専攻の講義科目

### 〈 注 意 事 項 〉

1. 履修登録時には、[授業コード]を入力すること。
2. 履修登録時には、履修条件等を十分確認し、所定のマニュアルにしたがって慎重に登録作業を行うこと。
3. 履修条件の詳細については、「履修ガイド」や「シラバス」、掲示物等も必ず確認すること。
4. 入学年次によって履修できる科目と履修できない科目があるので履修ガイドをよく見ること。
5. 「年次、クラスの指定等」の欄に記載されている「1」は1年次および2年次、「2」は2年次での履修を表しているので、履修登録の際には注意すること。
6. 週2回以上授業がある科目については、週の最初の授業に授業コードが表示してあるので注意すること。
7. 科目により授業を開講するキャンパスが異なるので注意すること。
8. 「専攻演習」は、特に指示のない限り、教員オフィスで行われるので注意すること。
9. 不規則な日程で行われる授業もあるので、「特別時間帯」科目欄で確認すること。  
詳細日程は決定次第、大学院掲示板およびe-Campus掲示板に掲載されます。
10. ☆★と記載されている科目は、春秋を継続して行う科目である。  
履修登録は春学期に行うので、秋学期の履修登録時には、他の科目との重複に注意
11. 網掛けしている科目は、心理学研究科の共通科目です。
12. 【隔週授業】の詳細は、大学院掲示板およびe-Campus掲示板を確認すること。

Memo

時限	^7先	学期	授業コード	科 目 名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No.
月							
月3	--	☆	34025	地域福祉特論	1	野村 知子	A904
月6	--	☆	34035	生命倫理学特論	1	長島 隆	A901
火							
火1	--	☆	364901	専攻演習 I A (久保 義郎)	1	久保 義郎	—
火1	--	☆	364902	専攻演習 I B (久保 義郎)	1	久保 義郎	—
火1	--	☆	364911	専攻演習 I A (石川 利江)	1	石川 利江	—
火1	--	☆	364931	専攻演習 I A (鈴木 平)	1	鈴木 平	—
火2	--	☆	364961	専攻演習 I A (松田チャップマン 与理子)	1	松田チャップマン 与理子	—
火6	火7	☆	34515	健康心理学特論【隔週授業】	1	石川 利江	A902
火6	火7	☆	34525	健康心理学研究法演習 I 【隔週授業】 *2018年度生より履修可 健康心理学研究法演習【隔週授業】 *2017年度生まで履修可	1	久保 義郎	A602
火7	火6	☆	*	健康心理学特論【隔週授業】	1	石川 利江	A902
火7	火6	☆	*	健康心理学研究法演習 I 【隔週授業】 *2018年度生より履修可 健康心理学研究法演習【隔週授業】 *2017年度生まで履修可	1	久保 義郎	A602
水							
水2	--	☆	※	Academic Japanese A-41, A-42	1	福島 智子	A812
水2	--	☆	※	Academic Japanese B-41, B-42	1	槌田 和美	A813
水2	--	☆	※	Academic Japanese C-41, C-42, C-43	1	藤田 裕子	A814
※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							
水5	--	☆	38091	キャリアデザイン特講A	1	キャリア開発センタースタッフ	A406
水5	--	☆	38092	キャリアデザイン特講A (外国籍クラス)	1	キャリア開発センタースタッフ	A401
水6	--	☆	34500	健康心理の理論と実践	1	石川 利江 他	A901
水7	--	☆	364951	専攻演習 I A (野村 知子)	1	野村 知子	—
水7	--	☆	364991	専攻演習 I A (山口 創)	1	山口 創	—
木							
火2	--	☆	364963	専攻演習 II A (松田チャップマン 与理子)	2	松田チャップマン 与理子	—
木6	--	☆	34645	産業領域の健康心理学特論	1	松田チャップマン 与理子	A901

時限	学年	学期	授業コード	科 目 名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No.
金							
金1	--	☆	364903	専攻演習ⅡA(石川 利江)	2	石川 利江	—
金1	--	☆	364913	専攻演習ⅡA(久保 義郎)	2	久保 義郎	—
金1	--	☆	364933	専攻演習ⅡA(鈴木 平)	2	鈴木 平	—
金4	--	☆	364993	専攻演習ⅡA(山口 創)	2	山口 創	—
金6	金7	☆	34715	コーチング心理学特論【隔週授業】	1	石川 利江	A901
金6	金7	☆	34700	幼児・児童の健康心理学の諸問題【隔週授業】	1	山口 創	A901
金7	金6	☆	*	コーチング心理学特論【隔週授業】	1	石川 利江	A901
金7	金6	☆	*	幼児・児童の健康心理学の諸問題【隔週授業】	1	山口 創	A901
土							
土3	春土4 秋土5、6	☆☆	34570	健康心理現場実習	2 (秋入学 1)	石川/松田	B535
土4	春土3 秋土5、6	☆☆	*	健康心理現場実習	2 (秋入学 1)	石川/松田	B535
特別時間帯							
時間外	--	☆	34000	ヒューマンケア心理学特論	1	長田 久雄	町田
時間外	--	☆	34010	健康科学特論	1	宮崎 光次 他	C402
時間外	--	☆	34595	ライフスタイル特論	1	竹中 晃二	町田
時間外	--	☆	34615	地域リハビリテーション医学特論	1	岡部 竜吾	町田
時間外	--	☆	34635	比較宗教学特論	1	土居 由美	四谷
時間外	--	☆	34665	心身医学特論	1	村上 正人	四谷
時間外	--	☆	34670	スポーツ健康心理学特論	1	坂入 洋右/谷木 龍男	町田
時間外	--	☆	34735	実践ヘルスケアシステム論	1	山田 富美雄	町田
時間外	--	☆	※	Academic English A-41, A-42	1	WILBY, Christine	B335
時間外	--	☆	※	Academic English B-41, B-42, B-43	1	WILBY, Christine	B335
時間外	--	☆	※	Academic English C-41	1	WILBY, Christine	B335
※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							

時限	^7先	学期	授業コード	科 目 名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No.
月							
火							
火1	--	★	364906	専攻演習 I A (久保 義郎)	1	久保 義郎	—
火1	--	★	364907	専攻演習 I B (久保 義郎)	1	久保 義郎	—
火1	--	★	364916	専攻演習 I A (石川 利江)	1	石川 利江	—
火1	--	★	364917	専攻演習 I B (石川 利江)	1	石川 利江	—
火1	--	★	364936	専攻演習 I A (鈴木 平)	1	鈴木 平	—
火1	--	★	364937	専攻演習 I B (鈴木 平)	1	鈴木 平	—
火1	--	★	364966	専攻演習 I A (松田チャップマン 与理子)	1	松田チャップマン 与理子	—
火1	--	★	364967	専攻演習 I B (松田チャップマン 与理子)	1	松田チャップマン 与理子	—
火3	--	★	34045	児童福祉特論	1	小泉 広子	1304
火6	火7	★	34527	健康心理学研究法演習 II 【隔週授業】 *2018年度生より履修可	1	鈴木 平	A602
火6	火7	★	34725	コーチング心理学演習 【隔週授業】	1	石川 利江	A901
火7	火6	★	*	健康心理学研究法演習 II 【隔週授業】 *2018年度生より履修可	1	鈴木 平	A602
火7	火6	★	*	コーチング心理学演習 【隔週授業】	1	石川 利江	A901
水							
水2	--	★	※	Academic Japanese A-41, A-42, A-43	1	梅岡 巳香	A712
水2	--	★	※	Academic Japanese B-41, B-42, B-43	1	槌田 和美	A713
水2	--	★	※	Academic Japanese C-41, C-42, C-43, C-44	1	藤田 裕子	A714
				※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること			
水5	--	★	38991	キャリアデザイン特講B	1	キャリア開発センタースタッフ	A406
水5	--	★	38992	キャリアデザイン特講B (外国籍クラス)	1	キャリア開発センタースタッフ	A401
水7	--	★	364956	専攻演習 I A (野村 知子)	1	野村 知子	—
水7	--	★	364957	専攻演習 I B (野村 知子)	1	野村 知子	—
水7	--	★	364996	専攻演習 I A (山口 創)	1	山口 創	—
水7	--	★	364997	専攻演習 I B (山口 創)	1	山口 創	—
木							
木1	--	★	364969	専攻演習 II B (松田チャップマン 与理子)	2	松田チャップマン 与理子	—
木6	--	★	34535	生涯発達と健康教育特論	1	石川 利江 他	A306
木6	--	★	34565	健康心理学演習	1	松田チャップマン 与理子	A901
木7	--	★	34555	健康心理アセスメント特論	1	久保 義郎/池田 美樹	A901

時限	^7先	学期	授業コード	科 目 名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No
<b>金</b>							
金1	--	★	364919	専攻演習ⅡB(石川 利江)	2	石川 利江	—
金1	--	★	364939	専攻演習ⅡB(鈴木 平)	2	鈴木 平	—
金1	--	★	364908	専攻演習ⅡA(久保 義郎)	2	久保 義郎	—
金1	--	★	364909	専攻演習ⅡB(久保 義郎)	2	久保 義郎	—
金6	金7	★	34545	健康心理カウンセリング特論【隔週授業】	1	石川 利江/井上 直子	A901
金6	金7	★	34695	青年・成人の健康心理学の諸問題【隔週授業】	1	松田チャップマン 与理子	A901
金7	金6	★	*	健康心理カウンセリング特論【隔週授業】	1	石川 利江/井上 直子	A901
金7	金6	★	*	青年・成人の健康心理学の諸問題【隔週授業】	1	松田チャップマン 与理子	A901
<b>土</b>							
土5	春土3、4 秋土6	☆☆	34570	健康心理現場実習	2	石川/松田	B535
土6	春土3、4 秋土5	☆☆	*	健康心理現場実習	2	石川/松田	B535
<b>特別時間帯</b>							
時間外	--	★	34585	ストレス特論	1	津田 彰	四谷
時間外	--	★	34605	疾病と健康心理学	1	石原 俊一	四谷
時間外	--	★	34625	食生活特論	1	スタッフ	町田
時間外	--	★	34680	健康心理諸技法	1	山口 創 他	町田
時間外	--	★	364999	専攻演習ⅡB(山口 創)	2	山口 創	—
時間外	--	★	※	Academic English A-41, A-42, A-43	1	WILBY, Christine	B335
時間外	--	★	※	Academic English B-41, B-42, B-43, B-44	1	WILBY, Christine	B335
時間外	--	★	※	Academic English C-41, C-42	1	WILBY, Christine	B335
※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							



## <修士課程>

### 8. 大学アドミニストレーション専攻(通学課程)

#### < 注 意 事 項 >

1. 履修登録時には、[授業コード]を入力すること。
2. 履修登録時には、履修条件等を十分確認し、慎重に登録作業を行うこと。
3. 履修条件の詳細については、「履修ガイド」や「シラバス」、掲示物等も必ず確認すること。
4. 週2回以上授業がある科目については、週の最初の授業に授業コードが表示してあるので注意すること。
5. 科目により授業を開講するキャンパスが異なるので注意すること。
6. 入学年次によって履修できる科目と履修できない科目があるので履修ガイドをよく見ること。
7. 不規則な日程で行われる授業及び【隔週授業】の詳細は、後日四谷キャンパスより配布する時間割表を大学院掲示板・四谷キャンパス掲示板で確認すること。

#### Memo

時限	優先	学期	授業コード	科目名	年次,クラスの 指定等	担当者	教室No.
月							
月6	--	☆	35110	大学のカリキュラム	1	田中 義郎	SY201
火							
火6	--	☆	35006	大学におけるICTシステム	1	尾川 正美	SY201
水							
水5	--	☆	38091	キャリアデザイン特講A	1	キャリア開発センタースタッフ	町田キャンパス
水5	--	☆	38092	キャリアデザイン特講A（外国籍クラス）	1	キャリア開発センタースタッフ	町田キャンパス
木							
木6	木7	☆	35005	調査とデータ分析【隔週授業】	1	浦田 広朗	SY305
木6	木7	☆	35104	通信・遠隔教育論【隔週授業】	1	鈴木 克夫	SY305
木7	木6	☆	*	調査とデータ分析【隔週授業】	1	浦田 広朗	SY305
木7	木6	☆	*	通信・遠隔教育論【隔週授業】	1	鈴木 克夫	SY305
金							
金7	--	☆	35208	大学におけるファシリティマネジメント	1	興津 利継	SY201

時限	^7先	学期	授業コード	科 目 名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No
<b>土</b>							
土2	--	☆	375190	研究指導ⅠA（田中 義郎）	1	田中 義郎	SY305
土3	--	☆	375170	研究指導ⅠA（篠田 道夫）	1	篠田 道夫	SY306
土3	--	☆	375110	研究指導ⅠA（山岸 直司）	1	山岸 直司	SY205
土4	--	☆	375350	研究指導ⅡA（山本 眞一）	2	山本 眞一	SY304
土4	--	☆	375351	研究指導ⅡB（山本 眞一）	2	山本 眞一	SY304
土4	--	☆	375100	研究指導ⅠA（浦田 広朗）	1	浦田 広朗	SY306
土6	--	☆	375180	研究指導ⅠA（鈴木 克夫）	1	鈴木 克夫	SY305
土7	--	☆	375380	研究指導ⅡA（鈴木 克夫）	2	鈴木 克夫	SY305
土7	--	☆	375381	研究指導ⅡB（鈴木 克夫）	2	鈴木 克夫	SY305
<b>特別時間帯</b>							
時間外	--	☆	35003	大学職員論	1	篠田 道夫	SY205
時間外	--	☆	35004	高等教育行政・政策と大学経営Ⅰ	1	山本 眞一	SY205
時間外	--	☆	35206	大学アドミッション	1	出光 直樹	SY305
時間外	--	☆	35001	高等教育論	1	山岸 直司	SY304
時間外	--	☆	35201	大学経営管理論	1	篠田 道夫	SY205
時間外	--	☆	35303	グローバル化と日本の高等教育	1	山岸 直司	町田・四谷
時間外	--	☆	35301	日本の私立高等教育	1	田中 義郎	町田・四谷
時間外	--	☆	35302	アジアの高等教育	1	山岸 直司	四谷
時間外	--	☆	※	Academic English A-41	1	JEFFREYS Atsuko	-
時間外	--	☆	※	Academic English B-41	1	JEFFREYS Atsuko	-
時間外	--	☆	※	Academic English C-41	1	JEFFREYS Atsuko	-
※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							



時限	^7先	学期	授業コード	科 目 名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No
土							
土2	--	★	375290	研究指導 I A (田中 義郎)	1	田中 義郎	SY305
土2	--	★	375291	研究指導 I B (田中 義郎)	1	田中 義郎	SY305
土3	--	★	375271	研究指導 I B (篠田 道夫)	1	篠田 道夫	SY306
土3	--	★	375210	研究指導 I A (山岸 直司)	1	山岸 直司	SY205
土3	--	★	375211	研究指導 I B (山岸 直司)	1	山岸 直司	SY205
土4	--	★	375451	研究指導 II B (山本 眞一)	2	山本 眞一	SY304
土4	--	★	375200	研究指導 I A (浦田 広朗)	1	浦田 広朗	SY306
土4	--	★	375201	研究指導 I B (浦田 広朗)	1	浦田 広朗	SY306
土6	--	★	375280	研究指導 I A (鈴木 克夫)	1	鈴木 克夫	SY305
土6	--	★	375281	研究指導 I B (鈴木 克夫)	1	鈴木 克夫	SY305
土7	--	★	375480	研究指導 II A (鈴木 克夫)	2	鈴木 克夫	SY305
土7	--	★	375481	研究指導 II B (鈴木 克夫)	2	鈴木 克夫	SY305
特別時間帯							
時間外	--	★	35107	高等教育行政・政策と大学経営Ⅱ/大学経営と政策	1	山本 眞一	SY205
時間外	--	★	35105	グローバル化と教育政策	1	佐藤 禎一	SY201
時間外	--	★	35111	私学行政論	1	大槻 達也	SY308
時間外	--	★	35210	大学改革事例研究 (ケーススタディ)	1	篠田 道夫	SY201
時間外	--	★	35209	国際交流プログラムの運営と諸問題	1	太田 浩	SY308
時間外	--	★	35101	高等教育統計分析	1	藤川 まなみ	SY305
時間外	--	★	35109	大学行政と社会連携	1	村田 直樹	SY305
時間外	--	★	※	Academic English A-41	1	JEFFREYS Atsuko	-
時間外	--	★	※	Academic English A-42	1	JEFFREYS Atsuko	-
時間外	--	★	※	Academic English B-41	1	JEFFREYS Atsuko	-
時間外	--	★	※	Academic English B-42	1	JEFFREYS Atsuko	-
時間外	--	★	※	Academic English C-41	1	JEFFREYS Atsuko	-
時間外	--	★	※	Academic English C-42	1	JEFFREYS Atsuko	-
※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							



# 〈博士前期課程〉

## 9. 老年学専攻

### 〈 注 意 事 項 〉

1. 履修登録時には、[授業コード]を入力すること。
2. 履修登録時には、履修条件等を十分確認し、慎重に登録作業を行うこと。
3. 履修条件の詳細については、「履修ガイド」や「シラバス」、掲示物等も必ず確認すること。
4. 週2回以上授業がある科目については、週の最初の授業に授業コードが表示してあるので注意すること。
5. 科目により授業を開講するキャンパスが異なるので注意すること。
6. 入学年次によって履修できる科目と履修できない科目があるので履修ガイドをよく見ること。
7. 不規則な日程で行われる授業及び【隔週授業】の詳細は、後日四谷キャンパスより配布する時間割表を大学院掲示板・四谷キャンパス掲示板で確認すること。

### Memo

時限	^7先	学期	授業コード	科 目 名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No.
<b>月</b>							
月6	月7	☆	36005	老年社会学特論【隔週授業】	1	杉澤 秀博	SY205
月6	月7	☆	36207	介護保険論【隔週授業】	1	白澤 政和	SY204
月6	月7	☆	36110	質的研究法特論【隔週授業】	1	木下 康仁	SY205
月7	月6	☆	*	老年社会学特論【隔週授業】	1	杉澤 秀博	SY205
月7	月6	☆	*	介護保険論【隔週授業】	1	白澤 政和	SY204
月7	月6	☆	*	質的研究法特論【隔週授業】	1	木下 康仁	SY205
<b>火</b>							
火6	火7	☆	36206	老年疫学特論【隔週授業】	1	芳賀 博	SY204
火6	火7	☆	36007	老年保健学特論【隔週授業】	1	新野 直明	SY204
火7	火6	☆	*	老年疫学特論【隔週授業】	1	芳賀 博	SY204
火7	火6	☆	*	老年保健学特論【隔週授業】	1	新野 直明	SY204
<b>水</b>							
水5	--	☆	38091	キャリアデザイン特講A	1	キャリア開発センタースタッフ	町田キャンパス
水5	--	☆	38092	キャリアデザイン特講A(外国籍クラス)	1	キャリア開発センタースタッフ	町田キャンパス
水6	水7	☆	36008	老年家族社会特論【隔週授業】	1	藤崎 宏子	SY204
水6	水7	☆	36107	老年学文献講読【隔週授業】	1	鈴木 隆雄	SY205
水7	水6	☆	*	老年家族社会特論【隔週授業】	1	藤崎 宏子	SY204
水7	水6	☆	*	老年学文献講読【隔週授業】	1	鈴木 隆雄	SY205
<b>木</b>							
木6	木7	☆	36204	回想心理学特論【隔週授業】	1	長田 由紀子	SY205
木6	木7	☆	36001	老年学特論【隔週授業】	1	柴田 博	SY205
木7	木6	☆	*	回想心理学特論【隔週授業】	1	長田 由紀子	SY205
木7	木6	☆	*	老年学特論【隔週授業】	1	柴田 博	SY205
<b>金</b>							
金6	金7	☆	36003	老年心理学特論【隔週授業】	1	長田 久雄	SY204
金6	金7	☆	36103	老年学情報処理法特論【隔週授業】	1	渡辺 修一郎	SY206
金7	金6	☆	*	老年心理学特論【隔週授業】	1	長田 久雄	SY204
金7	金6	☆	*	老年学情報処理法特論【隔週授業】	1	渡辺 修一郎	SY206

時限	^7先	学期	授業コード	科 目 名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No
土							
土1	--	☆	376110	研究指導 I A (長田 久雄)	1	長田 久雄	SY204
土1	--	☆	366110	個別演習 I A (長田 久雄)	1	長田 久雄	SY204
土1	--	☆	376111	研究指導 I B (長田 久雄)	1	長田 久雄	SY204
土1	--	☆	376120	研究指導 I A (杉澤 秀博)	1	杉澤 秀博	SY205
土1	--	☆	366120	個別演習 I A (杉澤 秀博)	1	杉澤 秀博	SY205
土1	--	☆	376121	研究指導 I B (杉澤 秀博)	1	杉澤 秀博	SY205
土1	--	☆	376140	研究指導 I A (新野 直明)	1	新野 直明	SY305
土1	--	☆	366140	個別演習 I A (新野 直明)	1	新野 直明	SY305
土1	--	☆	376141	研究指導 I B (新野 直明)	1	新野 直明	SY305
土1	--	☆	376150	研究指導 I A (芳賀 博)	1	芳賀 博	SY306
土1	--	☆	366150	個別演習 I A (芳賀 博)	1	芳賀 博	SY306
土1	--	☆	376151	研究指導 I B (芳賀 博)	1	芳賀 博	SY306
土1	--	☆	376130	研究指導 I A (渡辺 修一郎)	1	渡辺 修一郎	SY304
土1	--	☆	366130	個別演習 I A (渡辺 修一郎)	1	渡辺 修一郎	SY304
土1	--	☆	376131	研究指導 I B (渡辺 修一郎)	1	渡辺 修一郎	SY304
土1	--	☆	376170	研究指導 I A (鈴木 隆雄)	1	鈴木 隆雄	SY201
土1	--	☆	366170	個別演習 I A (鈴木 隆雄)	1	鈴木 隆雄	SY201
土1	--	☆	366171	個別演習 I B (鈴木 隆雄)	1	鈴木 隆雄	SY201
土2	--	☆	376310	研究指導 II A (長田 久雄)	2	長田 久雄	SY204
土2	--	☆	376311	研究指導 II B (長田 久雄)	2	長田 久雄	SY204
土2	--	☆	376320	研究指導 II A (杉澤 秀博)	2	杉澤 秀博	SY205
土2	--	☆	376321	研究指導 II B (杉澤 秀博)	2	杉澤 秀博	SY205
土2	--	☆	376340	研究指導 II A (新野 直明)	2	新野 直明	SY305
土2	--	☆	376341	研究指導 II B (新野 直明)	2	新野 直明	SY305
土2	--	☆	376350	研究指導 II A (芳賀 博)	2	芳賀 博	SY306
土2	--	☆	376351	研究指導 II B (芳賀 博)	2	芳賀 博	SY306
土2	--	☆	376330	研究指導 II A (渡辺 修一郎)	2	渡辺 修一郎	SY304
土2	--	☆	376331	研究指導 II B (渡辺 修一郎)	2	渡辺 修一郎	SY304
土2	--	☆	376360	研究指導 II A (白澤 政和)	2	白澤 政和	SY308
土2	--	☆	376361	研究指導 II B (白澤 政和)	2	白澤 政和	SY308
特別時間帯							
時間外	--	☆	36208	老年ケアマネジメント特論	1	白澤 政和	SY205
時間外	--	☆	36209	老年発達学特論	1	高橋 正実	SY201
時間外	--	☆	※	Academic English A-41	1	JEFFREYS Atsuko	-
時間外	--	☆	※	Academic English A-42	1	JEFFREYS Atsuko	-
時間外	--	☆	※	Academic English B-41	1	JEFFREYS Atsuko	-
時間外	--	☆	※	Academic English B-42	1	JEFFREYS Atsuko	-
時間外	--	☆	※	Academic English B-43	1	JEFFREYS Atsuko	-
時間外	--	☆	※	Academic English C-41	1	JEFFREYS Atsuko	-
※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							

時限	^7先	学期	授業コード	科目名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No.
月							
月6	月7	★	36102	統計解析法特論【隔週授業】	1	杉澤 秀博	SY206
月6	月7	★	36004	老年社会福祉学特論【隔週授業】	1	白澤 政和	SY205
月7	月6	★	*	統計解析法特論【隔週授業】	1	杉澤 秀博	SY206
月7	月6	★	*	老年社会福祉学特論【隔週授業】	1	白澤 政和	SY205
火							
火6	火7	★	36211	老年精神医学特論【隔週授業】	1	新野 直明	SY204
火6	火7	★	36006	老年ヘルスプロモーション特論	1	芳賀 博	SY204
火7	火6	★	*	老年精神医学特論【隔週授業】	1	新野 直明	SY204
火7	火6	★	*	老年ヘルスプロモーション特論	1	芳賀 博	SY204
水							
水5	--	★	38991	キャリアデザイン特講B	1	キャリア開発センタースタッフ	町田キャンパス
水5	--	★	38992	キャリアデザイン特講B (外国籍クラス)	1	キャリア開発センタースタッフ	町田キャンパス
水6	水7	★	36104	老年保健学演習	1	芳賀 博	SY201
水6	水7	★	36106	老年社会学演習	1	杉澤 秀博	SY205
水7	水6	★	*	老年保健学演習	1	芳賀 博	SY201
水7	水6	★	*	老年社会学演習	1	杉澤 秀博	SY205
木							
金							
金6	金7	★	36210	老年臨床心理学特論【隔週授業】	1	長田 久雄	SY204
金6	金7	★	36002	老年医学特論【隔週授業】	1	渡辺 修一郎	SY204
金7	金6	★	*	老年臨床心理学特論【隔週授業】	1	長田 久雄	SY204
金7	金6	★	*	老年医学特論【隔週授業】	1	渡辺 修一郎	SY204
土							
土1	--	★	376210	研究指導 I A (長田 久雄)	1	長田 久雄	SY204
土1	--	★	366210	個別演習 I A (長田 久雄)	1	長田 久雄	SY204
土1	--	★	376211	研究指導 I B (長田 久雄)	1	長田 久雄	SY204
土1	--	★	366211	個別演習 I B (長田 久雄)	1	長田 久雄	SY204
土1	--	★	376220	研究指導 I A (杉澤 秀博)	1	杉澤 秀博	SY205
土1	--	★	366220	個別演習 I A (杉澤 秀博)	1	杉澤 秀博	SY205
土1	--	★	376221	研究指導 I B (杉澤 秀博)	1	杉澤 秀博	SY205
土1	--	★	366221	個別演習 I B (杉澤 秀博)	1	杉澤 秀博	SY205

時限	^7先	学期	授業コード	科 目 名	年次,クラスの 指 定 等	担当者	教室No
<b>土</b>							
土1	--	★	376240	研究指導 I A (新野 直明)	1	新野 直明	SY305
土1	--	★	366240	個別演習 I A (新野 直明)	1	新野 直明	SY305
土1	--	★	376241	研究指導 I B (新野 直明)	1	新野 直明	SY305
土1	--	★	366241	個別演習 I B (新野 直明)	1	新野 直明	SY305
土1	--	★	376251	研究指導 I B (芳賀 博)	1	芳賀 博	SY306
土1	--	★	366251	個別演習 I B (芳賀 博)	1	芳賀 博	SY306
土1	--	★	376230	研究指導 I A (渡辺 修一郎)	1	渡辺 修一郎	SY304
土1	--	★	366230	個別演習 I A (渡辺 修一郎)	1	渡辺 修一郎	SY304
土1	--	★	376231	研究指導 I B (渡辺 修一郎)	1	渡辺 修一郎	SY304
土1	--	★	366231	個別演習 I B (渡辺 修一郎)	1	渡辺 修一郎	SY304
土1	--	★	376270	研究指導 I A (鈴木 隆雄)	1	鈴木 隆雄	SY201
土1	--	★	366270	個別演習 I A (鈴木 隆雄)	1	鈴木 隆雄	SY201
土1	--	★	376271	研究指導 I B (鈴木 隆雄)	1	鈴木 隆雄	SY201
土1	--	★	366271	個別演習 I B (鈴木 隆雄)	1	鈴木 隆雄	SY201
土2	--	★	376410	研究指導 II A (長田 久雄)	2	長田 久雄	SY204
土2	--	★	376411	研究指導 II B (長田 久雄)	2	長田 久雄	SY204
土2	--	★	376420	研究指導 II A (杉澤 秀博)	2	杉澤 秀博	SY205
土2	--	★	376421	研究指導 II B (杉澤 秀博)	2	杉澤 秀博	SY205
土2	--	★	376440	研究指導 II A (新野 直明)	2	新野 直明	SY305
土2	--	★	376441	研究指導 II B (新野 直明)	2	新野 直明	SY305
土2	--	★	376430	研究指導 II A (渡辺 修一郎)	2	渡辺 修一郎	SY304
土2	--	★	376431	研究指導 II B (渡辺 修一郎)	2	渡辺 修一郎	SY304
土2	--	★	376450	研究指導 II A (芳賀 博)	2	芳賀 博	SY306
土2	--	★	376451	研究指導 II B (芳賀 博)	2	芳賀 博	SY306
土2	--	★	376461	研究指導 II B (白澤 政和)	2	白澤 政和	SY308
土6	土7	★	36202	老年政策科学特論【隔週授業】	1	高田 一夫	SY204
土7	土6	★	*	老年政策科学特論【隔週授業】	1	高田 一夫	SY204
<b>特別時間帯</b>							
時間外	--	★	36205	臨床回想心理学特論	1	スタッフ	SY201
時間外	--	★	36201	老年ケア特論	1	白澤 政和	SY205
時間外	--	★	36212	現代社会と老年学	1	大淵 修一他	SY205
時間外	--	★	36203	死生学特論	1	古澤 有峰	SY204
時間外	--	☆	※	Academic English A-41	1	JEFFREYS Atsuko	-
時間外	--	☆	※	Academic English A-42	1	JEFFREYS Atsuko	-
時間外	--	☆	※	Academic English A-43	2	JEFFREYS Atsuko	-
時間外	--	☆	※	Academic English B-41	1	JEFFREYS Atsuko	-
時間外	--	☆	※	Academic English B-42	1	JEFFREYS Atsuko	-
時間外	--	☆	※	Academic English B-43	2	JEFFREYS Atsuko	-
時間外	--	☆	※	Academic English C-41	1	JEFFREYS Atsuko	-
時間外	--	☆	※	Academic English C-42	1	JEFFREYS Atsuko	-
※ 履修登録は初回の授業にて行うので、履修を希望する学生は必ず出席すること							



# 〈博士後期課程〉

## 10.国際人文社会科学専攻

### 〈 注 意 事 項 〉

1. 履修登録時には、[授業コード]を入力すること。
2. 履修登録時には、履修条件等を十分確認し、所定のマニュアルにしたがって慎重に登録作業を行うこと。
3. 履修条件の詳細については、「履修ガイド」や「シラバス」、掲示物等も必ず確認すること。
4. 授業は原則として、「教員オフィス」で行われる。
5. 科目により授業を開講するキャンパスが異なるので注意すること。

### Memo















# 〈博士後期課程〉

## 11. 老年学専攻

### 〈 注 意 事 項 〉

1. 履修登録時には、[授業コード]を入力すること。
2. 履修登録時には、履修条件等を十分確認し、慎重に登録作業を行うこと。
3. 履修条件の詳細については、「履修ガイド」や「シラバス」、掲示物等も必ず確認すること。
4. 授業は原則として、「教員オフィス」で行われる。
5. 科目により授業を開講するキャンパスが異なるので注意すること。
8. 不規則な日程で行われる授業及び【隔週授業】の詳細は、後日四谷キャンパスより配布する時間割表を大学院掲示板・四谷キャンパス掲示板で確認すること。

### Memo







## <修士課程>

### 大学アドミネレーション専攻(通信教育課程)

#### < 注 意 事 項 >

1. e-Campusでの履修登録はできないので、専用の履修登録用紙を提出すること。
2. 履修条件の詳細については、「履修ガイド」や「通信教育課程講義案内」、Moodle等も必ず確認すること。
3. 大学アドミネレーション専攻通学課程の授業も履修登録する場合は、スクーリング日程の重複に注意すること。

#### Memo

## 2018(平成30)年度 春学期 スクーリング・集中講義日程

( )内は授業コード

専攻演習(2013年度以降入学者対象)					
篠田道夫 (30601)	浦田広朗 (30602)	鈴木克夫 (30603)	田中義郎 (30604)		
井下千以子 (30605)	山本眞一 (30607)	山岸直司 (30609)	野田秀三 (30610)		
コア科目 大学教育系					
高等教育論【休講】	山本眞一 (30000)	高等教育政策論	山本眞一 (30002)		
高等教育・大学教育史	山岸直司 (30500)	大学制度比較論	岩永雅也 (30004)		
コア科目 大学経営系					
高等教育組織論	篠田道夫 (30006)	学校法人会計	野田秀三 (30419)		
大学マーケティング戦略論【休講】	スタッフ (30008)	データ解析論	浦田広朗 (30010)		
専門科目					
高等教育研究調査法	大塚雄作 (30543)	地域政策と大学【休講】	スタッフ (30020)		
大学法制論	清水一彦 (30420)	私立大学経営環境論	大槻達也 (30024)		
エンrollment・マネジメント	岩田雅明 (30532)	日米高等教育比較研究【休講】	スタッフ (30514)		
大学職員論	篠田道夫 (30422)	大学教授職の国際比較	岩田弘三 (30506)		
大学カリキュラム研究	田中義郎 (30014)	キャリア開発支援論【集中】	角方正幸 (30528)		
学生相談研究	大島朗生 (30520)	通信・遠隔教育運営論	鈴木克夫 (30022)		
高等教育の経済分析と政策	小林雅之 (30012)				

※専攻演習(30607 山本眞一)については、2018年度入学者は履修できません。

※専攻演習(30610 野田秀三)については、2018年度入学者は履修できません。

### スクーリング時間割

( )内は授業コード

	I 9:00~10:30	II 10:40~12:10	III 12:50~14:20	IV 14:30~16:00	V 16:10~17:40	VI 17:50~19:20
8月17日 (金)	スクーリング開講式(予定)		通信・遠隔教育運営論 鈴木克夫 (30022)		高等教育政策論 山本眞一 (30002)	
			高等教育研究調査法 大塚雄作 (30543)		学生相談研究 大島朗生 (30520)	
8月18日 (土)	学校法人会計 野田秀三 (30419)		高等教育組織論 篠田道夫 (30006)		私立大学経営環境論 大槻達也 (30024)	
	大学カリキュラム研究 田中義郎 (30014)		大学法制論 清水一彦 (30420)		高等教育の経済分析と政策 小林雅之 (30012)	
8月19日 (日)	【専攻演習】(詳細は別途連絡) 篠田道夫 (30601) 浦田広朗 (30602) 鈴木克夫 (30603) 田中義郎 (30604) 井下千以子 (30605) 山本眞一 (30607) 山岸直司 (30609) 野田秀三 (30610)					
8月20日 (月)	データ解析論 浦田広朗 (30010)		大学職員論 篠田道夫 (30422)		大学制度比較論 岩永雅也 (30004)	
	高等教育・大学教育史 山岸直司 (30500)		大学教授職の国際比較 岩田弘三 (30506)		エンrollment・マネジメント 岩田雅明 (30532)	

※専攻演習(30607 山本眞一)については、2018年度入学者は履修できません。

※専攻演習(30610 野田秀三)については、2018年度入学者は履修できません。

※スクーリング開講式(予定)への出席は任意です。

	I 9:00~10:30	II 10:40~12:10	III 12:50~14:20	IV 14:30~16:00	V 16:10~17:40	VI 17:50~19:20
8月21日 (火)	キャリア開発支援論 角方・松村・平田 ※1 ※2 (30528)				—	—
8月22日 (水)	キャリア開発支援論 角方・松村・平田 ※1 ※2 (30528)				—	—
8月23日 (木)	キャリア開発支援論 角方・松村・平田 ※1 ※2 (30528)					—

※1:3名によるオムニバス形式の開講。

※2:集中講義形式にて開講。3日間すべてを受講すること。事前学習が課されているのでシラバスをMoodle等で必ず確認すること。

## 2018(平成30)年度 秋学期 スクーリング・集中講義日程

( )内は授業コード

専攻演習					
篠田道夫 (30801)	浦田広朗 (30802)	鈴木克夫 (30803)	田中義郎 (30804)		
井下千以子 (30805)	山本眞一 (30807)	山岸直司 (30809)	野田秀三 (30810)		
コア科目 大学教育系					
高等教育論	山本眞一 (30537)	高等教育政策論【休講】	山本眞一 (30539)		
高等教育・大学教育史	山岸直司 (30538)	大学制度比較論	岩永雅也 (30540)		
コア科目 大学経営系					
高等教育組織論	篠田道夫 (30541)	学校法人会計	野田秀三 (30504)		
大学マーケティング戦略論	スタッフ (30502)	データ解析論	浦田広朗 (30542)		
専門科目					
大学と法的リスクマネジメント	植村礼大 (30026)	大学評価国際比較研究	米澤彰純 (30016)		
大学評価論	工藤 潤 (30524)	大学と関係法令	清水一彦 (30536)		
大学財政論	野田秀三 (30508)	学費政策論	小林雅之 (30516)		
大学職員論	篠田道夫 (30526)	大学設置・転換の実務	鎌田 積 (30530)		
継続教育論	山田礼子 (30512)	ITと高等教育	鈴木克夫 (30510)		
学生支援論【集中】	井下千以子 (30518)				

※専攻演習(30607 山本眞一)については、2018年度入学者は履修できません。

※専攻演習(30610 野田秀三)については、2018年度入学者は履修できません。

### スクーリング時間割

( )内は授業コード

	I 9:00～10:30	II 10:40～12:10	III 12:50～14:20	IV 14:30～16:00	V 16:10～17:40	VI 17:50～19:20
1月11日 (金)	スクーリング開講式(予定)		高等教育論 山本眞一 (30537)		データ解析論 浦田広朗 (30542)	
			高等教育組織論 篠田道夫 (30541)		高等教育・大学教育史 山岸直司 (30538)	
			ITと高等教育 鈴木克夫 (30510)		-	
1月12日 (土)	大学評価国際比較研究 米澤彰純 (30016)		大学職員論 篠田道夫 (30526)		大学マーケティング戦略論 スタッフ (30502)	
	大学財政論 野田秀三 (30508)		大学と関係法令 清水一彦 (30536)		学費政策論 小林雅之 (30516)	
1月13日 (日)	【専攻演習】(2013年度以降入学者対象)		(詳細時間は別途連絡)			
	篠田道夫 (30801)	浦田広朗 (30802)	鈴木克夫 (30803)	田中義郎 (30804)		
	井下千以子 (30805)	山本眞一 (30807)	山岸直司 (30809)	野田秀三 (30810)		
1月14日 (月・祝)	学校法人会計 野田秀三 (30504)		継続教育論 山田礼子 (30512)		大学設置・転換の実務 鎌田 積 (30530)	
	大学制度比較論 岩永雅也 (30540)		大学と法的リスクマネジメント 植村礼大 (30026)		大学評価論 工藤 潤 (30524)	

※専攻演習(30607 山本眞一)については、2018年度入学者は履修できません。

※専攻演習(30610 野田秀三)については、2018年度入学者は履修できません。

※スクーリング開講式(予定)への出席は任意です。

### 集中講義時間割

( )内は授業コード

	I 9:00～10:30	II 10:40～12:10	III 12:50～14:20	IV 14:30～16:00	V 16:10～17:40	VI 17:50～19:20
11月17日 (土)	—	—	学生支援論 井下千以子	※1 (30518)		—
11月18日 (日)	学生支援論 井下千以子	※1 (30518)				—
11月19日 (月)	学生支援論 井下千以子	※1 (30518)				—

※1:集中講義形式にて開講。3日間すべて受講すること。事前学習が課されているのでシラバスをMoodle等で確認すること。

M大学アド通信



# 講義案内



国際学研究科

---

国際学専攻

## ◆ 国際政治論

加藤 朗

現代の国際政治学の歴史的展開を概観し、配分政治に基づく現代の国際政治学を乗り越える承認政治に基づく新たな国際政治学の確立を目標に、主として古典講読を通じて国家間の配分政治、承認政治の歴史的変遷を学んでいく。

## ◆ 国際関係論

加藤 朗

現代の国際関係論を①先駆的業績、②歴史・文明、③政策・外交、④政治・経済の四つの分野に分け、それぞれの分野の代表的著作を講読し、国際関係論の歴史的軌跡およびこれからの国際関係論について考察する。

## ◆ 情報社会論

末代 誠仁

社会における情報技術の活用例について、特に人文科学分野での事例を取り上げて学びます。また、実際にプログラミングを行い、情報技術の社会への応用における課題について学びます。コンピュータにはコンピュータなりの情報の扱い方と言語があり、それらは日常的な人間社会のものとは異なります。そのため、コンピュータを人間社会に応用するためには様々な知識と工夫が必要です。コンピュータ特有の「気難しさ」を曖昧にすることなく理解し、情報技術を社会に活かすためのトレーニングを行う場を提供できれば幸いです。

## ◆ 情報環境論

末代 誠仁

コンピュータアーキテクチャにおけるCPU、各種記憶装置、OSなどの役割、コンピュータネットワークにおけるプロトコルと階層化の重要性、ソフトウェアと情報セキュリティなど、情報環境を構築する上で重要になる知識・技術について学ぶと共に、基礎的なプログラミングを通して情報環境が持つ課題を理解するための授業です。情報環境には、私たちの日常的な感覚だけでは理解が難しい部分があります。適切な知識と技術の上に理論を構築し、情報環境に対する正しい理解に役立ててもらいたいと思っています。

## ◆ 地球環境論

坪田 幸政

環境汚染に対する理解を深め、人間活動の影響を評価し、持続可能な社会について、地球人として自ら判断・行動できるようになる。地球環境問題とその対策に関して、国際環境法を基礎として理解を深める。具体的なテーマとしては、資源、大気汚染、有害廃棄物、絶滅危惧種、越境河川、森林生態系、国際公共財を扱う。教科書としては、米国大気研究センターのWEBで公開されているモジュールを使う。

<http://www.ucar.edu/communications/gcip/m3elaw/m3pdf.pdf>

## ◆ 環境史

BATTEN, Bruce

地球や自然界といかにして付き合っていけばいいのか。これは、人類が今直面している最大の課題と言っても過言ではない。この授業は、「環境史」の概説であり、地球温暖化をはじめとする現代の環境問題の歴史的背景を理解し、人類の誕生から現在に至るまで、自然界が人間社会に与えてきた影響や人間社会が自然界に与えてきた影響を時代系列に従って考えていく。全世界を対象とするが、適宜日本史特有の現象・問題も取り上げる。授業形式は、分類上「講義」であるが、ディスカッションも可能な範囲で取り入れる予定。

## ◆ 福祉思想

福田 潤

世界でどの国も経験したことのない速さと高さで進む日本の高齢化。これを克服しようとする様々な実践もまた広がりを見せている。

こうした実践をとおし、また、そこに生きる一人一人の思いと願いに耳を澄ませ、これからの福祉を創造

する力を持つ思想とは何かを、共に探りたい。

## ◆ 人間と人生福祉論

福田 潤

福祉とは限られた人、限られた期間にだけ求められるのではなく、人の生涯にわたりその幸せを支援するためにある。ならば、人の幸せとは何か、現代社会においていかにそれは実現しうるのか。自立と共生をキーワードに、人が幸いのうちに生涯を過ごすために、いま何が求められているのか、ともに探りたい。

## ◆ 国際学特論 A

張 平

日本最古の文献である『古事記』は天皇の歴史を記した史書である。三巻からなるうちその第一巻は神の代を記す。最初の正史である『日本書紀』も「神代」から始まる。この授業では『古事記』『日本書紀』で日本史の始まりとして語られる神話を読んでいく。記紀の神話、とりわけ書紀の神話には中国の神話の影響が見られる。中国の神話にも目配りし、比較検討を加えていく。

『日本書紀』は全体的に中国の影響を強く受けている。書紀と比べて、『古事記』は中国の影響から距離を取ろうとする意識が働いているといえる。そういう視点からの観察も取り入れていきたい。

## ◆ 文化人類学 I

中生 勝美

グローバル化の進行で、世界各国では異文化との接触が不可避になっている。異文化の接触は、しばしば紛争の原因となり共生が難しい。この授業では、文化人類学の基本的な概念を学びながら、国際協力、異文化交流の問題点とその解決法を考えるヒントとなるような授業とする。

前半は、テキスト『文化人類学を学ぶ』の I 文化人類学の方法と視点、およびテキスト『現代人類学を学ぶ』の I 現代人類学の底流を中心に、人類学理論の変遷について概説的な授業を行う。その上で、テキストの各論を政治・経済・ジェンダー・農業・都市・人間関係に分けて、受講生の専門・研究テーマ・関心により選択し、テキストの内容を踏まえた発表を課す。

## ◆ 文化人類学 II

鷹木 恵子

この授業では、文化人類学の学説史を回顧しつつ、急速に変化する現代世界を研究対象とするなかで人類学が目下直面している学問的諸課題とまた人類学の応用実践の可能性について、幾つかのグローバル・イシューを取り上げて考究してみたい。具体的には宗教と多文化共生、ジェンダー問題、民主化などのテーマについて人類学的に検討していく。中東イスラーム社会の事例などを主に扱うが、受講者の興味・関心も考慮して幾つかの文献を取り上げ、輪読と議論も重ねつつ進めていく。

## ◆ 文化交流論 I

張 利利

本講義では、「文化交流」の概念及び定義とは何かを再確認すると共に、文化史の区分に基づき日本と中国を中心とする両国間の交流の史実を踏まえながら、文化の相互の影響・融合、また、とりわけ日本の独自の文化の形成と発展について考察し、それぞれの文化の特徴を把握しながら異文化への理解を深めて行く。講義の内容では、さらに、民俗・文学などの領域も視野に入れて、各時代の史実を取り上げ、多面的な角度から日中文化交流について検討を行う。そのほかインド及びアジア地域の諸国の文化についても触れていきたい。

## ◆ 文化交流論 II

張 利利

本講義では、「文化交流」の概念及び定義とは何かを再確認すると共に、文化史の区分に基づき日本と中国を中心とする両国間の交流の史実を踏まえながら、文化の相互の影響・融合、また、とりわけ日本の独自の文化の形成と発展について考察し、それぞれの文化の特徴を把握しながら異文化への理解を深めて行く。講義の内容では、さらに、歴史・現代・典籍などの領域も視野に入れて、各時代の史実を取り上げ、多面的

国際学専攻

な角度から日中文化交流について検討を行う。

## ◆ 日韓文化交流論

鄭 百秀

近現代の日韓交流は、日清戦争、日露戦争、満州事変、アジア太平洋戦争、朝鮮戦争、そしてベトナム戦争など東アジアで起きた世界史的規模の戦争の歴史に密接に関わっている。日本列島と朝鮮半島の人々はこれらの戦争にどのような経緯で巻き込まれたか。戦争の遺産は日韓の政治、経済、文化にどのように点綴しているのか。われわれはどのように、過去の傷痕を克服し、また新たな交流の場を探し求めていくか。こうした問題系を本講座では歴史責任論の観点から取り上げる。

## ◆ 中国政治史

町田 隆吉

中国前近代史において、長期にわたって存続した専制国家とそれを支えた社会の特質の究明は重要な課題の一つである。ここでは、先秦時代から唐代までの土地所有と土地政策の推移について編纂史料および出土史料を利用しつつ、どのような土地所有の実態をふまえた土地政策がその時々々の専制国家によって進められたのか、それは国家と民衆の双方にとってどのような意味をもっていたのかという点を検討することを通して、中国前近代における専制国家による統治の特質についても考察したい。

## ◆ 中国文化史

町田 隆吉

中国古代に生まれた儒教は、漢字を介して中国の周辺諸地域に広まり儒教文化圏を形成し、政治や社会など種々の面で大きな影響を及ぼした。ここでは、中国古代において儒教の果たした役割を歴史的に取り上げるとともに、東アジア世界に生きた人々の生活を様々な面で律してきた儒教の歴史的役割について具体的に考察してみたい。個人もしくは家族の倫理規範として古代中国で生まれた儒教が政治理念とされた経緯を概観するとともに、生活文化への儒教の浸透についても種々の観点から取り上げ検討してみたい。

## ◆ 中国文化研究Ⅰ

藤澤 太郎

中華民国時期（1912年～1949年）の文学作品を中心に、近現代中国に関わる作品や文献を精読していく授業です。歴史・文学史の基礎的知識を確認しながら、「読む」という作業を手がかりに、中国の文学・文化・言語・社会等のありようについて具体的に考察していきます。作品の分析を通じて「読む」ための理論・方法について認識を深めることと、調査を通じて近現代中国の事象について調べるための基本的な工具書の扱いに習熟することも目標になります。

## ◆ 中国文化研究Ⅱ

藤澤 太郎

「中国文化研究Ⅰ」に引き続いて、近現代中国に関わる文学作品と関連文献を精読していきます。

## ◆ 現代中国論Ⅰ

李 恩民

本授業の目標は近現代におけるグレーター・チャイナ（中華圏）をめぐる国際関係史を把握することである。特に19世紀から現在にいたるまでの米・中関係の変遷、在米華僑華人の移民史、中国外交の中の人権問題・台湾問題・領土問題・核問題、中国と国連などを中心に考察する。進行方法としては、清王朝・中華民国・中華人民共和国の各時期の国際的背景を概観した後、最新の研究書・論文、当事者の回顧録（米大統領回顧録も含む）、中国外交部所蔵の中文外交档案、外務省外交史料館と米国立公文書館所蔵の和文・英文外交文書を輪読しディスカッションを行う。

## ◆ 現代中国論Ⅱ

李 恩民

本授業は相互依存と競争の視点から、戦後日中間の政治外交と経済外交を立体的に考察する。そのなかで日台交流・日中国交正常化・平和友好条約・貿易と投資・資源と開発・文化交流と摩擦、留学生の相互受け

国際学専攻

入れなどを重点的に考察し、日中間の戦争と平和、歴史と和解、共生と発展等問題への理解を深めていく。進行方法としては、各時期の国際的背景を概観した後、最新の研究書、当事者の回顧録、中国外交部所蔵の中文外交档案、外務省外交史料館と米国立公文書館所蔵の和文・英文外交文書を輪読しディスカッションを行う。

## ◆ アジア文化論

中生 勝美

長崎暢子、山内昌之編『現代アジア論の名著』（中公新書、1093）中央公論社、1992年をテキストにして、1990年代までのアジアの名著の概要を把握した後、受講生の関心と研究テーマに合わせて、その分野の名著の書評をしていく。また近年の研究書で、アジアの研究動向を紹介した論文、書評などを輪読していく。

## ◆ 韓国文化論

鄭 百秀

朝鮮半島の文化には、北方系のシャーマン文化、中国系の漢字文化、そして日本経由の近代文化、この三つの流れが交り合っている。本講座では、こうした重層的な文化様相を、韓国小説、映画など様々な文化表象を通じて、多彩に取り上げる。異文化の体験とは常に文化の比較を前提にするが、特に韓国文化の場合は日本文化の理解という側面を合わせ持つ。自文化の形成に対する認識を深めるためにも、韓国文化とどのように付き合っていくかという課題は大事である。

## ◆ 現代中国経済論

小松 出

中国経済は高度経済成長期を終え、内需主導型発展モデルへと転換している。しかしながら、国内経済には多くの課題を抱えている。例えば、リーマンショック後の4兆元財政出動による供給過剰問題や地方都市でのインフラ建設での不良債権処理問題等である。本講義では、こうした中国経済が現在抱えている問題点について、その問題の根源と解消が困難である背景に焦点を当てて検討していく。

## ◆ 中国経済体制論

劉 敬文

中国経済は高成長の街道を驀進し続けてきた。ここ近年、2ケタ成長から7%台、さらに6%台に落ち込み、成長方式の転換を余儀なくされている半面、成長力の底強さは今後とも世界の注目を集めるところである。いっぽう日本企業の中国シフトにより、中・日および東アジア諸国間での国際分業体制はしっかりできており、中日経済の相互補完関係が今までにも増して重要となっていることは否めない。

とすれば、中国経済は「社会主義市場経済」と称されるごとく、典型的な市場経済体制ではないのに、なぜここまで成長を遂げられたかなど、様々な経済学的課題が浮上してくる。

この授業では、こうした課題に焦点を合わせつつ中国経済の体制移行と経済発展を軸に、中国経済改革と発展の段取り、ジャンル別改革を概観する。そのうえ、中国経済発展を巡る論争、中国経済と東アジア発展モデルとの比較、今後の展望および中日経済関係のあり方について検討し、これを把握するものとする。

## ◆ アジア比較経済論

劉 敬文

東アジア経済発展の軌跡をたどりながら当該地域での経済発展のメカニズムおよびその光と陰に関する探求を通じて、「世界の成長センター」と呼ばれる東アジア経済の特性とポテンシャルへの理解を深め、また東アジア経済はどのような方向へ進もうとしているのか、日本と東アジア関係の在り方はどうでなければならないのかを考える。

アジア比較経済論では、アジアNIEs (New Industrializing Economies)、ASEAN (Association of South-east Asian Nations)諸国、中国からなる東アジアを対象にしているが、インドなど南アジア、さらに地域的、経済的関連性から日本をも視野に入れる。具体的には、①東アジアの地理的概念と多様性を明らかにしたうえ、②アジア通貨危機により提示された諸問題および論争をベースに、アジア経済発展の要因と課題を取り上げる。③アジアNIEs、ASEANおよび中国の経済発展の経路を鳥瞰し、韓国、台湾、マレーシアといった

国際学専攻

開発モデルケースの比較を通じて実証的、理論的分析を結びつけた形で当該地域の経済発展の実態を把握する。さらに④では、東アジア地域経済の相互補完性、日本・中国の役割、ひいては地域自由貿易協定の進捗状況、課題およびその趨勢の究明を試みる。

アジア比較経済論では、講義の形をとるが、授業のポイントを理解させるためのディスカッションや10分程度のミニテストを行い、期末テストは基本的にレポート・発表の形で実施する。またアジア経済発展の実態を踏まえ、講義内容の更新にも心がける。

## ◆ 日本文化論

倉澤 幸久

日本の文化・思想を「自然」との関わりにおいて考えることをしてみたい。「自然」という言葉が現在のように森羅万象、外的自然という意味で使われるようになったのは、明治期以降である。それまで「自然」は「おのづから」あるいは「じねん」と読まれ「おのづからそうであること」を意味し、まれに「しぜん」と読まれ「万一のこと」を意味したという。このような「自然」の語が外的自然を表す語として定着したのである。「自然」と「おのづから」の同一と差異を意識しながら、日本の文化・思想における「自然」に関わる諸問題を考える。

## ◆ 日本宗教思想

倉澤 幸久

日本の原初的な宗教に発し、現在に至るまで日本人の宗教意識の基盤をなしている神道を考察する。神道はもともと人間の力を超えた自然の生命の力を神として祀る原始的な自然宗教であったが、世界宗教の仏教が伝来すると、対抗して神道と呼ばれるようになり、儒教や仏教を取り入れて神道として成立する。その後外来の様々な思想と結びつきあるいは反発しながら、神道は日本思想、日本文化の基盤をなして現代に至っている。神話の時代から現代に至るまで、神道の歴史の展開をたどり、日本文化の基層を明らかにすることを目指す。

## ◆ 日本現代思想

太田 哲男

第二次世界大戦以降の日本の思想に関わる諸問題を扱う。社会的政治的背景をあわせながら思想史的な観点から検討する。

具体的には、「戦争と平和」「戦争責任」「公害」「高度成長」などに関わる諸問題を、戦後日本の思想家たちはどう考えてきたか。いくつかのテキストを読みながら考える。

## ◆ 日本近代思想史

太田 哲男

この講義では、幕末の「開国」から第二次世界大戦期に至る日本の近代思想史上の有力な思想家（福沢諭吉・中江兆民・吉野作造など）について考察する。また、本学の創設者・清水安三の若き日の思想的営みを日本近代思想史のなかに位置づけることも試みる。

それらの思想家たちの言説を読みながら、時代状況のなかで何をどのように考えたのかを概説し、その現代的意義にも論及する。

## ◆ 日本前近代史

BATTEN, Bruce

この授業は日本の前近代史の概説である。進め方としては、テキスト（網野善彦『日本社会の歴史』）の流れにそって、各時代の特徴や出来事について考えていく。扱う時代は基本的に原始時代から幕末までで、近代・現代については、適宜触れることもあるが、深く取り扱わない。授業形式は、分類上「講義」であるが、ディスカッションも可能な範囲で取り入れる予定。

## ◆ 日本文学研究

勝呂 奏

日本文学に教養小説（ビルドゥングス・ロマン）の例は多くはないが、その一つに芹沢光治良の大河小説

『人間の運命』（全16巻）がある。日本の近代化の歴史を背景に、主人公は様々な困難に直面する中で成長していく。その第1巻「次郎の生いたち」を手始めに、そこに描かれる社会や宗教の問題に注視しながら、作家の人間観への理解を深める。

## ◆ アメリカ思想Ⅱ

中條 献

本講義では、アメリカ合衆国という「国家の歴史」が、思想としてどのように語られてきたかを検討する。したがって、いわゆる「アメリカ思想」の概説的な講義を行うのではなく、「アメリカ合衆国」という国家の歴史がいかなる思想背景の下に、どのように語られてきたかを探る。具体的には、イタリアの思想家アントニオ・グラムシが提起した「アメリカニズム」という用語と概念に焦点を当て、この概念がアメリカ合衆国を超えて一つの大きな思想的枠組みとなり得るかを考察してみたい。

## ◆ アメリカ政治外交史Ⅰ

西岡 達裕

アメリカ外交の形成に大きな影響を持つ外交専門誌『フォーリン・アフェアーズ』を主な手がかりとして、各時代のアメリカ外交史の諸側面について考察する。受講生とともにテキストを輪読し、議論する。

## ◆ 国際比較経済発展論

松尾 昌宏

今日、経済を発展させる上において、都市集積の重要性に対する関心が高まっている。今日世界のGDP（総生産）の大半は、世界の陸地面積のわずか3%以下しか占めない都市から生み出されている。その背景には都市化がもたらす規模の経済や情報の交換、輸送の効率化といった、さまざまな集積のメリットが関与している。この演習ではこうした都市集積や、交通輸送網の形成と、アジアを中心とする産業立地、世界各地域の発展問題を取り扱う。

## ◆ 国際金融論

石田 高生

国際金融論では、外貨・外国為替取引の仕組みとリスクの分野、多様な国際資金取引の市場と監督・規制の分野、国際通貨システム分野を取り上げます。また、これら国際金融の問題が各国の金融システムや政策に大きく影響してくることも重要な課題です。

授業では、教科書の読解と発表、数回のレポート作成と発表を通じて、これらの分野の基礎的な仕組みや理論の理解を深めます。また、受講生同士や教員との討論により、現状の課題に対するアプローチや認識の違いについても整理してみることにします。さらに、まとめとして最終レポートを作成して、理解を深めて行きたいと考えています。

## ◆ 社会政策史

兼田 麗子

資本主義、及び国民国家づくりと大きな関わりをもっている社会政策とは何なのか？から始める本講義では、イギリス、ドイツの社会政策の成立史を踏まえた上で、日本の社会政策の歴史を考察していく。

社会・労働問題への国家の政策対応は、労働政策と社会保障政策という両側面から検討することが可能であるが、歴史的検討を加えるに際して本講義では、労働問題史、社会保障史、社会福祉史、社会事業史、医療史、大河内理論に代表される社会政策学史・研究史という多様な側面から考察し、理解を深めていく。

また、刻々と変化を遂げる現実のダイナミック（動的）な社会問題、労働問題への対応を対象とする分野であるため、現代日本の問題についても共に考えていく。

## ◆ 環境モデリング

坪田 幸政

環境モデリングの中心となるモデルは、実際の社会を簡単に表現したものであり、情報を伝え、仮説を生成・検証、未来に何が起こるかを予測することに利用できる。このコースでは、はじめに環境モデリングの方法について概観する。次にモデルとは何かを考え、概念モデルとコンピュータモデルを理解し、実社会で

国際学専攻

の利用例を考察する。そして、モデルの構成要素と利用法を学び。最後にモデルの構築について体験する。環境分野における環境モデリングの手法を習得し、各自の研究に活用できるようになることを目標とする。  
<http://www.ucar.edu/communications/gcip/m13sbsmodel/m13pdf.pdf>

## ◆ 環境評価手法

片谷 教孝

国内外を問わず、環境問題は人類の生存にも関わる重要な問題です。環境問題を正しく理解するためには、さまざまな測定データを用いて、環境を評価する技術が必要となります。その主要な手法となるのが統計学的なデータ解析技術です。この科目では、まず環境を評価するためのさまざまな手法について学び、次いで統計学の基礎的な事項を学びます。その上で、実際の環境測定データや社会データを用いた環境評価の演習を行い、実践的な技術を身につけることを目標とします。もちろんこの技術は、環境問題以外のテーマにも応用可能です。

## ◆ 環境政策論

藤倉 まなみ

日本や世界の環境政策は、公害問題への取組から地球環境問題への取組、循環型社会の形成、生物多様性の保全へと、問題の複雑化に応じその理念や原則を発展させ、各種政策手法を適用して進められてきた。本講義では、環境政策の諸原則、手法、国内外の具体例を学び、複雑化する環境問題に取り組む政策的視点を得る。

## ◆ 廃棄物環境論

藤倉 まなみ

廃棄物を生み出さない社会はない。家庭ごみ、大学などの事業所ごみ、工場、建設業、農林水産業からの産業廃棄物などをいかに適正処理するかは全ての国において課題である。また、国境を越える有害廃棄物やリサイクル物の移動は新たな南北問題を引き起こしている。天然資源の消費を抑制し、資源を循環的に利用する循環型社会の形成が求められている。本講義では、廃棄物処理の歴史的経過、廃棄物管理政策の諸原則、廃棄物処理やリサイクルの政策手法、不法投棄の原因と対策、国際的な動向を学び、循環型社会の形成に取り組む視点を得る。

国際学研究科

---

国際協力専攻

## ◆ グローバルガバナンス論

加藤 朗

現在の世界は急速にグローバル化し、温暖化、感染症、国際テロリズム、難民など、もはや一国だけでは対処しきれず国際的な取組が必要なグローバル・イシューと呼ばれる問題が山積している。本講義ではこれまでどのようなグローバル・イシューが発生し、いかなる制度や国際組織などによってどのような取り組みがなされているのかを検討する。

授業は、学生諸君が関心のあるグローバル・イシューについて調べ、発表、討論をする形式を中心に進めていく。

## ◆ 国際機構論

滝澤 美佐子

国際機構は、今日の国際社会において、国際協力のための必要条件といえる。同時に、国際機構はそれのみでは国際協力のすべての分野や問題に対処できるわけではなく、加盟国である国家の協力はもちろん、財政面でも企業等の民間資金にも頼らなければならない。

その意味で、国際機構論では、国際機構とはどのような存在かを学ぶと同時に、他のアクターとの協力、連携、協調についても学ぶ必要がある。

本講義は、「国際機構」という独自の団体について、その組織と活動について理解し、分析を行う。その際、国際機構に関する理論面と実行の双方を重視していく。

講義では、国際機構が誕生するまでの歴史を理解したうえで、本講義では、国連および国連システム諸機関を中心に扱う。国際機構の前半では、国際機構の組織面（設立、主要機関、国際公務員制度、意思決定、財政）を理解する。後半は、国際機構の主な活動分野として、安全保障、軍縮、人権、経済、開発、人道、環境、保健衛生、交通通信、文化協力などを取り上げる。さらに、国連システム諸機関以外の地域的国際機構ならびに国家以外のアクターである非政府組織（NGO）や企業等とのパートナーシップも扱う。

## ◆ 国際法 I

滝澤 美佐子

国際法は国際関係の進展と同時に発展し、今日ではさまざまな分野に国際法がかかわっている。国際法Iの前半では、国際法の歴史、基本構造、機能、法源、主権国家の権利と義務、領域など基本的な国際法の総論を学ぶ。国際法と参加者それぞれの関心分野とのかかわりに積極的に目を向ける。国際法が他の領域（政治、経済、社会、文化、歴史等）からどのように見えるのか、国際法を再検討する。

## ◆ 日本政治と国際協力

小澤 一彦

戦後復興の時代は、日本自身が世界からの支援によって復活を果たすことができた。経済発展を遂げた以上、今度は日本が世界の諸課題の解決に力を発揮する出番が来ているのである。政府開発援助（ODA）一辺倒できた対外経済支援も、時代の変化とともに、国際安全保障の分野でもその役割が期待されている。21世紀型の国際協力がいかにあるべきか、日本政治の変化を含め、テキストを基礎に履修者で議論を深めたい。

## ◆ 平和研究

加藤 朗

平和とは何かについて、神の平和、心の平和、地の平和そして体の平和に分け、それぞれの思想の歴史的発展過程を古典講読を通じて振り返り、個々の思想が現在どのように実践されているかを分析し、未来の平和に向けて我々が何をなすべきかを考える。

## ◆ 紛争研究

加藤 朗

紛争とは何かについて理論的に研究する。とりわけ9.11同時多発テロ後に「新しい戦争」と呼ばれる、これまでとは異なった紛争形態が表れた。「新しい戦争」とは何かを考察し、「新しい戦争」が生み出した「新しい世界」、「新しい政治」そして「新しい安全保障」や「新しい平和」について考察する。その上で、21世

紀の新たな国際協力のあり方や方法について考える。

## ◆ 地球市民社会論

牧田 東一

はじめに、地球市民社会（主としてNGO）をめぐる理論を教員が紹介する。市民社会論から始めて、地球市民社会をめぐる理論をグローバルガバナンスの視点から述べたい。そののちに、受講生には主としてアジア等の非西欧社会の国々の市民社会やNGOについて述べた英文や和文の論考を読んでもらい、発表してもらう。討論を通じて、西欧に発したNGOや市民社会が果たして、非西欧社会ではどのようなになっているのかを理解し、それによって地球市民社会の可能性を批判的に理解することを目的としている。

## ◆ 平和構築論

橋本 敬市

1990年代以降、多くの紛争が途上国で発生し、国際社会はその対応として平和構築・紛争予防のための活動を続けてきた。本講義では、旧ユーゴスラヴィア諸国、アフガニスタン、南スーダン、ネパール、ミャンマー等における活動を事例として取り上げつつ、平和構築支援の歴史の変遷と概要、現場における実態を検証する。最近の議論として、平和と民主化の関係、「脆弱国家」論といったテーマも取り上げる。また、国際社会の取組については、憲法策定・法整備等の制度構築支援、民主制度の定着支援からコミュニティー開発まで幅広い課題を包括的に取り上げ、紛争後の国家建設プロセスにおける国際協力の方向性を考える。

## ◆ 人間開発論

牧田 東一

この科目は、国連開発計画が提唱し、普及している人間開発について学ぶものである。開発援助において頻出する専門用語の理解、また開発援助における主要な概念を深く理解することを目的としている。具体的には、国連開発計画が毎年発行している人間開発報告書Human Development Reportを受講生が読み、レジュメにまとめて発表し、それを受講生と教員とで話し合っ理解を深めるという方法をとる。毎回、報告書の該当箇所を読み、まとめる作業が必要である。受講生の語学力に応じて、可能であれば、英語の報告書をテキストとする。

## ◆ 社会開発とジェンダー

鷹木 恵子

この授業では、国際開発学の系譜を辿りながら、経済開発から社会開発、人間開発へとパラダイムが変化してきた歴史的過程を跡づけ、理論的枠組みを整理した後、社会開発の特にジェンダーに関する問題を取り上げて検討する。2015年までのMDGsの達成状況を踏まえ、またポスト2015年持続可能な開発目標SDGsを見据え、貧困削減、女性労働、民主化、開発と宗教などについて、ジェンダーの視点から考察する。履修生の関心も考慮してテーマを取り上げ、文献購読を通して専門知識や理論・分析手法の鍛錬に努めたい。

## ◆ アジア開発政策

窪田 新一

アジアの開発政策を中国内モンゴル自治区、モンゴル国の開発を総合的に概観する。清朝に服属する際の特異な歴史的背景、地理的条件、及び80年代、90年代以降のそれぞれの外国投資状況、牧畜業促進の特徴、農業開発、商業・貿易促進の方向性について講義する。さらに、社会主義経済から市場経済への移行期から資源輸出国に移りつつあるモンゴル国経済の改革に関して、日本の援助がどのように関わってきたかを紹介し、日本の援助への評価を学生諸君とともに実施する。尚、講義は以下の項目をサブテーマとして行い、講義の最後に学生諸君の援助評価を目指す。

1. 中国内モンゴル自治区、モンゴル国の地理的条件、近代以降の歴史的背景
2. 中国内モンゴル自治区の経済概況
3. モンゴル国の経済概況
4. 中国内モンゴル自治区、モンゴル人民共和国時代の開発の歴史と現在の開発状況
5. 遊牧と牧畜業開発の基本開発政策

国際協力専攻

6. 緑化と環境問題
7. 中国の農業政策
8. 対中国、対モンゴルODAの評価について
9. 遊牧と牧畜業改革及び農地開拓の基本政策
10. 土地法施行の影響と資源ナショナリズム

## ◆ 児童と開発

齋藤 百合子

子どもをめぐる状況は世界的に急激に変化している。本講義は、まず子ども（思春期の若者を含む）とは何かを、子どもと家族・社会、子どもの権利条約、国籍・ジェンダー・発達段階・民族など差異の中の子どもの概観する。次に、紛争・難民、移動・人身取引、自然災害、貧困などグローバルな課題において子どもが置かれた状況とその問題解決に向けた国際協力の可能性について、文献資料講読や事例研究、議論を通して理解を深め、問題解決に向けた方法を探る。

## ◆ 人間と人生福祉論

福田 潤

福祉とは限られた人、限られた期間にだけ求められるのではなく、人の生涯にわたりその幸せを支援するためにある。ならば、人の幸せとは何か、現代社会においていかにそれは実現しうるのか。自立と共生をキーワードに、人が幸いのうちに生涯を過ごすために、いま何が求められているのか、ともに探りたい。

## ◆ 国際ケアサービス論

福田 潤

欧米での高齢者ケアサービスをヒントに、これからの日本における新たなケアサービスを構想することを目指します。日本企業によるケアサービスが、アジア地域においても展開を始めている点も視野に入れ、これからの日本企業によるケアビジネス像を探ります。

## ◆ 国際福祉と開発

福田 潤

世界のどの国も経験したことのない速さで進む日本の高齢化のなかで、福祉事業にはどのような課題とその解決策があるのを探ります。欧米での実践や、日本のビジネスでの経験をふまえ、コミュニティの形成や、健康増進・介護予防という視点から、元気に生涯を過ごすために何が求められているのか、探っていきます。

## ◆ 教育政策論

山岸 直司

この科目では、教育政策の背景となる思想や政策の展開について、特に高等教育との関係に注意を払って学習する。各回の授業は、事前に定められたリーディング課題の報告を基に、講義や討議によって構成される。授業に臨むに当たっては、報告者はもちろん、報告者以外の全ての学生もリーディング課題を完了させ、討議において自分なりの意見を発言できるようにすることが求められる。テキストには英語の文献を用い、グローバル化した世界を理解するための英語力の向上も目標とする。

## ◆ 国際難民法

佐藤 以久子

難民は、出身国から迫害を受けかつ保護を受けられずに国内外への移動を強いられた人であり、ゆえに、国際社会が、出身国に変わり、協力して難民を保護することが不可欠である。授業では、難民の保護に関する国際法の基本的なルールや国際機関等の支援制度及び活動を紹介し、具体的には、1) 難民とはだれか、2) 庇護、3) 国際機関による保護支援活動、4) 一時保護（難民キャンプ）、5) 国内避難民への保護、6) 多様な課題（紛争、環境、保健衛生）を取上げる。

## ◆ 国際人権法

佐藤 以久子

人権問題には、日常生活のごく身近な問題から紛争や戦争に至るような重大な国際問題があり、また、人

権問題に対するアプローチは、道徳的で倫理的或いは法や制度的なものがあり幅広い。授業では、国際人権条約に基づく国際基準を法として、人権に関する国際社会のルールとは何か、また、そうしたルールを遵守させる履行監視制度について、日本国内の身近な人権問題から国際社会における重大な人権侵害の事例を取上げて学ぶ。

## ◆ 人の移動と政治

阿部 温子

近年注目の度合いを高めている人の移動、移民問題は、グローバル化する社会の一側面であり、また近代に形成されてきた国民国家システムを前提とする諸種の制度に対する挑戦となっている。本講義では国境を越えて移動する人々によって明らかにされる、自由主義、民主主義といった普遍的価値を標榜する国民国家が抱える矛盾や限界について考察する。具体的な事例として特にヨーロッパ諸国と日本における移民問題を取り上げながら、市民権や統合などの概念について検討する。

## ◆ 多文化社会論

宣 元錫

1980年代以降、日本に多くの新来外国人が流入して以来、日本社会は多民族多文化化が急速に進展している。そして移住民の流入は日本社会にさまざまなインパクトを与えつつある。本授業では多民族多文化化している日本社会の現状を踏まえ、その現状をどのように理解し、受け止めるのかという課題について、理論的・実証的に検討する。

授業は次の3段階に構成される。第1段階では講師により、国境を越える移動の大半を占める労働者の移動を中心に、人の移動に関する理論について講義を行う。第2段階では日本の現状について参考文献を用いて理解を深める。ところが、多文化社会の具体的な実情は多岐にわたっているためにそのすべてについて検討することは不可能に近い。従って、具体的にどのような現象や側面を取り上げるかは受講生の興味関心を聞いて決めたい。そして第3段階では受講生が本授業で得た知見を用いてご自身の専攻や論文のテーマと関連した報告をおこなう。本授業を受動的な立場で受け入れるだけでなく、多文化社会に関する理解を深めご自身の研究への活用・応用を試みる。

## ◆ 地球環境論

坪田 幸政

環境汚染に対する理解を深め、人間活動の影響を評価し、持続可能な社会について、地球人として自ら判断・行動できるようになる。地球環境問題とその対策に関して、国際環境法を基礎として理解を深める。具体的なテーマとしては、資源、大気汚染、有害廃棄物、絶滅危惧種、越境河川、森林生態系、国際公共財を扱う。教科書としては、米国大気研究センターのWEBで公開されているモジュールを使う。

<http://www.ucar.edu/communications/gcip/m3elaw/m3pdf.pdf>

## ◆ 廃棄物環境論

藤倉 まなみ

廃棄物を生み出さない社会はない。家庭ごみ、大学などの事業所ごみ、工場、建設業、農林水産業からの産業廃棄物などをいかに適正処理するかは全ての国において課題である。また、国境を越える有害廃棄物やリサイクル物の移動は新たな南北問題を引き起こしている。天然資源の消費を抑制し、資源を循環的に利用する循環型社会の形成が求められている。本講義では、廃棄物処理の歴史的経過、廃棄物管理政策の諸原則、廃棄物処理やリサイクルの政策手法、不法投棄の原因と対策、国際的な動向を学び、循環型社会の形成に取り組む視点を得る。

## ◆ 環境評価手法

片谷 教孝

国内外を問わず、環境問題は人類の生存にも関わる重要な問題です。環境問題を正しく理解するためには、さまざまな測定データを用いて、環境を評価する技術が必要となります。その主要な手法となるのが統計学的なデータ解析技術です。この科目では、まず環境を評価するためのさまざまな手法について学び、次いで

国際協力専攻

統計学の基礎的な事項を学びます。その上で、実際の環境測定データや社会データを用いた環境評価の演習を行い、実践的な技術を身につけることを目標とします。もちろんこの技術は、環境問題以外のテーマにも応用可能です。

## ◆ 環境モデリング

坪田 幸政

環境モデリングの中心となるモデルは、実際の社会を簡単に表現したものであり、情報を伝え、仮説を生成・検証、未来に何が起こるかを予測することに利用できる。このコースでは、はじめに環境モデリングの方法について概観する。次にモデルとは何かを考え、概念モデルとコンピュータモデルを理解し、実社会での利用例を考察する。そして、モデルの構成要素と利用法を学び、最後にモデルの構築について体験する。環境分野における環境モデリングの手法を習得し、各自の研究に活用できるようになることを目標とする。

<http://www.ucar.edu/communications/gcip/ml3sbsmodel/ml3pdf.pdf>

## ◆ 環境経済学

片山 博文

現在、化石燃料に依拠した大量消費型の市場経済の限界がさまざまな形で現れているが、経済の規模やエントロピー問題を無視した既存の経済学も、現代の環境問題を扱う上での理論的妥当性を問われている。本科目では、ジョージスカーレーゲン、ボールディング、ハーマン・デイリーなど、経済過程の熱力学的側面に注目する「エコロジー経済学」を取り上げ、その内容を検討する。

## ◆ 環境政策論

藤倉 まなみ

日本や世界の環境政策は、公害問題への取組から地球環境問題への取組、循環型社会の形成、生物多様性の保全へと、問題の複雑化に応じその理念や原則を発展させ、各種政策手法を適用して進められてきた。本講義では、環境政策の諸原則、手法、国内外の具体例を学び、複雑化する環境問題に取り組む政策的視点を得る。

## ◆ 国際協力実習Ⅱ

井上 真

JICA（国際協力機構）などが発展途上国の現場で使っているPCM手法を現役のコンサルタントから学ぶ。プロジェクトの計画や運営管理をロジカルに行う手法であり、国際協力以外のプロジェクトでも活用可能な手法である。

座学はあまりなく、ディスカッションなどの演習がメインである。受講生は架空の事例を用いてプロジェクトの計画やモニタリングを疑似体験しながら手法を学ぶ。

## ◆ 国際協力インターンシップⅠ

滝澤 美佐子

本科目は、学生が国内外の機関（国際機関、政府機関、民間団体など）で自身の研究目的に沿うインターンシップを行うことで、実務を通して生じている諸問題を理解し、対策の内容や課題を把握することを目的としている。

インターンシップ先は、本科目履修希望の学生が探すことを基本とするが、指導教員または本科目担当教員のアドバイスを求めることを勧めたい。実施時期は、学期中または休暇中、いずれも可能である。実習時間は、160時間以上とする。

## ◆ 国際協力インターンシップⅡ

滝澤 美佐子

本科目は、学生が国内外の機関（国際機関、政府機関、民間団体など）で自身の研究目的に沿うインターンシップを行うことで、実務を通して生じている諸問題を理解し、対策の内容や課題を把握することを目的としている。

インターンシップ先は、本科目履修希望の学生が探すことを基本とするが、指導教員または担当教員のア

ドバイスを得ることを勧めたい。実施時期は、学期中または休暇中、いずれも可能である。国際協力インターンシップⅠを履修した（あるいは国際協力インターンシップⅠを履修している）学生が受講でき、実習時間は160時間以上とする。

### ◆ 国際協力インターンシップⅢ

滝澤 美佐子

本科目は、学生が国内外の機関（国際機関、政府機関、民間団体など）で自身の研究目的に沿うインターンシップを行うことで、実務を通して生じている諸問題を理解し、対策の内容や課題を把握することを目的としている。

インターンシップ先は、本科目履修希望の学生が探すことを基本とするが、指導教員または担当教員のアドバイスを得ることを勧めたい。実施時期は、学期中または休暇中、いずれも可能である。国際協力インターンシップⅠ、Ⅱを履修した（あるいは国際協力インターンシップⅠ、Ⅱ、あるいはⅡを履修している）学生が受講でき、実習時間は160時間以上とする。



経営学研究科

---

経 営 学 専 攻

## ◆ 経営学説特論

境 睦 他

高度に発展した近代の産業社会は、加速度的に進化した産業技術とその担い手である企業の経営革新によって発展的に形成されてきた。企業は、産業社会の中核的担い手として、規模の拡大と共に経営の思想と手法を発展・高度化させてきたのである。そこには常に経営問題に立ち向かった経営理論の開発・蓄積がある。この「経営学説特論」では、そうした経営理論の歴史的経緯と内容を理解することで、新しい時代の理論構築に向けた知的基盤を提供する。

## ◆ 経営政策特論

宮下 幸一

近代の経済活動を支えているのは株式会社制度である。株式会社は20世紀に入って急速に発展し、産業社会の基盤を形成している。それはまた多くの関係者（ステークホルダー）との係りによって支えられている。株式会社がいかに成立し、どのような機能を果たし、いかなる責任を果たすべきなのかは、株式会社存立の基本に係る問題である。この「経営政策特論」は、今日の企業が抱える諸問題を理解し、そうした問題に取り組む先駆的企業の経営行動を通して、企業経営の諸課題に接近する。

## ◆ 学術論文の書き方

野田 秀三 他

修士論文又は研究成果報告をまとめるにあたって、論文の書き方の基本的なことを学習していることは重要である。論文の書き方について、先行研究の調査方法、論文作成上の問題意識、論文の構成と形式、文献引用の基本ルール、論文の研究テーマ、資料の収集、本学修士論文事例分析、公表論文の事例研究等について講義する。

## ◆ 経営管理研究

坂本 恒夫

産業構造および経営戦略などを念頭に置きながら、経営管理の仕組みおよび経営者の意思決定について解説します。また、労務管理、マーケティングそして財務管理などの内容を説明した後、その相互関連性について勉強します。

とりわけ、経営者のリーダーシップを考慮に入れて、各種企業の事例を取り上げながら、その特徴と背景、そして組織と環境の適応性を学びます。

## ◆ 経営組織研究

齋藤 泰浩

組織の分析レベルは4つあり（Daft, 2001）、どの分析レベルに焦点を当てるかで組織論はおおまかにミクロ組織論とマクロ組織論とに分かれる。管理機能の理論化は組織の理解なくして成立し得ないことから取り組まれてきた経営管理と組織論を融合する試み（たとえば野中, 1983）に基づいて展開した「経営管理研究」でモチベーション論やリーダーシップ論（ミクロ組織論）をすでに取り上げた。そこで、本講義ではマクロ組織論、すなわち組織レベルとグループ・部門レベルに焦点を当てることにする。

## ◆ 経営戦略研究

土屋 勉男

企業は日々刻々と変動する状況の変化に適応するだけでなく、持続的成長のための「新たな競争優位」の獲得を目指して、激しい競争を展開している。経営戦略論は他社に対し競争優位を獲得するための指針となる実践的な理論、方法論である。本科目では、まず経営戦略論の系譜を体系的に学習すると共に、代表的な理論、方法論を解説する。また最新の経営戦略論の一つである「ダイナミック・ケイパビリティ戦略」論を中心に、理論フレーム、分析方法、強み等を解説すると共に、「中堅企業の成長戦略」の事例をもとに研究して実践的な使い方を学習する。

## ◆ 国際経営研究

齋藤 泰浩

多くの米国企業が多国籍企業に発展し、本格的に国際経営を展開するようになったのは1960年代のことである。その後、欧州企業、日本企業、さらにはアジアの企業も多国籍化し、国際経営が世界の多くの企業の中心的な活動になるにつれ、その学問的な研究も急速に進展してきた。では国際経営とは何か。

「国際経営という側面は、国内だけで事業活動を行なっている企業の伝統的な職能分野の二次元的な広がりを超えた、もうひとつの次元に位置するものである」(Fayerweather, 1969: 邦訳p.6)

「国内的経営システムは、それよりはるかに大きい、国際的経営システムの中の単なる一特殊ケースと見なすことさえできる」(Robinson, 1984: 邦訳p.1)

国内経営を基底としながらも国際経営を異次元のものとして把握するのか、それとも国内経営を国際経営の部分ケースとして見るのかは論者によって分かれるところだが、国際経営とは国境を越えて国際的に経営資源を移転させるプロセスといえる。本講義の狙いは、60年あまりの間に進展してきた国際経営の理論研究を理解することにある。

国際経営の生成・発展母体を多国籍企業と考えれば、国際経営研究は多国籍企業の経営活動を研究対象とする学問領域といえる。企業はなぜ多国籍化するのか。海外市場にいかにかに参入するのか。世界中に散らばった海外子会社をどのように組織化し管理するのか。インフラや発展段階の異なる国々に販売拠点、生産拠点ならびに研究開発拠点をいかに配置し、そしてそれらをいかに連結するのか。これら国際経営の固有の問題について取り上げる。できるだけ新しい情報を盛り込みながら、理論のみならず多国籍企業の経営活動の実態についても触れていく予定である。

取り上げるトピック：多国籍企業の理論、多国籍企業の戦略、多国籍企業の組織

## ◆ 経営情報管理研究

坂田 淳一

現代経営における4つ目の“経営資源”と言われる情報を対象にして、経営において、情報をいかに有用すれば、競合他社に対する競争優位を築くことができるのか、講義では、この命題を修士生の皆さんと検討する内容になっている。競争優位を得ることが可能となる、戦略策定のための一助となる基礎的知見の獲得を狙った講義である。

## ◆ 人的資源管理研究

董 光哲

本研究は、人的資源管理の理論的知識を中心に、近年の動向、直面する課題、その方向性について検討する。企業は、ヒト、モノ、カネ、情報の経営資源を活かして企業の発展と成長を図る。その中で、ヒトという経営資源は企業の存続・成長に極めて重要である。本研究では、主に人的資源管理の概念と理論的背景、経営戦略と人的資源管理の関連性、日本企業の人的資源管理の特徴について取り上げる。

## ◆ 国際人材開発研究

董 光哲

経済のグローバル化に伴って、企業の海外進出も活発に行われている。海外に進出する際に、企業は自らの競争優位性を海外子会社への移転を図る。しかし、人的資源管理の国際移転は簡単ではない。社会制度、経済発展段階、国民性、風土などにより各国の人的資源管理はそれぞれ異なる。本研究では、グローバル人材開発、国際人的資源管理の類型等について、体系的・理論的に取り上げた上で、人的資源管理の国際移転に関する諸問題を提起する。また、日本企業、中国企業、アメリカ企業におけるモチベーション管理を比較分析する。

## ◆ 財務管理研究

坂本 恒夫

株式会社の資金調達と運用について勉強します。特に、銀行との関係、証券市場との関係を重視して、財務のダイナミズムについて研究します。M&A、証券化、デリバティブなどの新動向についても解説します。

経営学専攻

キャッシュフロー経営およびEVA経営の株主価値経営時代の前提になる会計学、経営学の関連領域も学習していきます。

## ◆ 国際財務研究

境 睦

国際財務は、近年目覚ましい発展によって、企業の国際化を支える柱に成長し、大きな注目を浴びている。国際財務の大きな役割は国際金融市場からの資金調達・運用であるが、為替・資本取引の自由化、企業の国際化、セキュリティゼーションのさらなる進展により、その重要性はさらに高まっており、企業価値に大きな影響を及ぼすようになってきている。そこで本講義では、国際財務に関する基礎理論の習得を目標としながら、現実のケースも参照することにより理解を深める。

## ◆ マーケティング研究

宮本 文幸

感性マーケティング、e口コミ、物語広告、オムニチャネルなどの最先端のマーケティング研究や、皆さん自身が興味を感じる書籍・研究論文等に直接触れ、その目的や意義・課題などについて皆で考え議論します。このプロセスを通じて、これからのマーケティングが抱える課題やテーマを知り、理論的な理解を深めるとともに、マーケティング分野の研究論文の読み方や研究を進める基本的な方法を学びます。また皆さんが自分自身の興味や好奇心に気づくことで、修士論文のテーマ探索や研究計画づくりなどにつなげたいと考えます。

## ◆ 企業と法

齋藤 隆夫

ほとんどの企業の法的形態は株式会社であり、会社の所有者である株主が株主総会をとおして選任した取締役が経営を担当する。今日の会社は、活動の社会的影響が大きいことから様々なところに法が介入する。講義は、企業経営にとって不可欠な株式会社の法的仕組みと主な問題点を中心に、事例を交えて進めていく。

## ◆ ベンチャー企業経営論

鈴木 勝博

ベンチャー企業では、通常の企業とは異なる特有の経営課題が存在する。信用力がない状況において、限られたリソースを駆使しながら新たな市場を開拓し、複数のステークホルダーの利害関係を調整しながら、着実な成長へのパスを描かなければならない。関連するイノベーション創出手法や、近年発展してきたベンチャー支援エコシステムにも触れながら、創業期に特有な経営の方法論を学ぶ。

## ◆ 国際マーケティング研究

宮本 文幸

少子高齢化で縮小する国内市場。AIやIoTなどの技術の進展によって世界中の情報コミュニケーションや事業構造の変革が加速する現代社会。私たちにとって、グローバルな視点に立ったマーケティングは必須となっています。この授業では、国際マーケティングに携わる様々な企業の事例(新興国に進出する企業、世界中に事業を広げるグローバル企業など)を採り上げ、当事者である実務家にヒアリングをしたり、自ら興味ある事例の情報収集を行うとともに、皆で考え議論します。このプロセスを通じてグローバルな視点を養い、国際マーケティングの課題や方法論などについて学びます。

## ◆ 経営史研究

林 拓也

私たちは将来に対しどのような見通しを持ち、どの様に行動して行くべきでしょうか。私たちの社会の多くの部分が経済やそれを支える企業活動から成り立っていると考えるならば、歴史的な視点から経営システムの「過去→現在」というダイナミズムを知り、そこから未来を予測することが必要です。この問題を解くカギを考えるのが、企業の活動を歴史的に分析する経営史という学問です。この講義では経営史の考え方をベースに、ある企業や企業家に注目したケーススタディの訓練を行っていきます。

## ◆ 比較経営史研究

林 拓也

私たちは将来に対しどの様な見通しを持ち、どの様に行動して行くべきでしょうか。私たちの社会の多くの部分が経済やそれを支える企業活動から成り立っていると考えるならば、歴史的な視点から経営システムの「過去→現在」というダイナミズムを知り、そこから未来を予測することが必要です。この問題を解くカギを考えるのが、企業の活動を歴史的に分析する経営史という学問です。この講義では、日本と外国における企業や企業家の比較を行いながら、ケーススタディの訓練を行っていく。

## ◆ 企業会計研究

野田 秀三

企業会計の国際化のなかで、わが国の企業会計が国際会計基準に歩みよる過程で公表された意見書、会計基準をとりあげ検討する。取り上げる項目は、国際会計基準への対応への意見書、連結財務諸表、キャッシュ・フロー、金融商品、研究開発、純資産、株主資本等変動計算書、工事契約、リース、包括利益、等である。

## ◆ 国際企業研究

土屋 勉男

ビジネスの世界では、日本・米国・中国・アジア新興国の間で激しい競争が展開されている。本科目ではグローバル化が高度に進んだ「自動車産業」に焦点を当て、グローバル経営、競争優位の戦略を研究する。主要な課題として、環境変動の潮流、脅威と機会、グローバル化の要因、エコカー開発、成長戦略ベクトル、M&A・合併・アライアンス戦略などを取り上げており、グローバル市場の競争優位の構造を研究する。「トヨタ・ホンダ・日産」の日本企業、「VW・GM」の欧米企業、「現代・上海・奇瑞」のアジア企業の特長やグローバル経営の方法等も併せて学習する。

## ◆ アジア企業研究

金山 権

本授業は主に、日本、中国、韓国、台湾などのアジア企業経営を展開しながら当該国の企業経営の共通性と異質性の国際比較を通して、より体系的にその知識を身につけ、理解し学習、研究を推進することをねらいにしている。

講義とともに受講生の討議、各自が設定した研究テーマ、または修論にリンクした発表などを取り入れバランスをとりながら総合する。

## ◆ 異文化経営研究

馬越 恵美子

ビジネスがグローバル化する今日、企業の強みは世界市場でいかに力を発揮できるかにある。グローバルな事業展開を行う企業は、様々な文化と遭遇するため、多様な文化的背景を持つ社員をいかに活用するかが、大きな課題となっている。この科目では、異文化経営論とダイバーシティ・マネジメントを理論と事例の両面から学習する。授業は講義のほか、学生による発表と討論を積極的に行うため、意欲的な学生を歓迎する。

## ◆ 欧米企業研究

馬越 恵美子

本研究では、欧米企業をはじめ世界規模の企業において展開されるグローバルな経営と多様な価値観の人々が協働する企業について、学習する。21世紀の開かれた社会における仕事のあり方とはどのようなものであるか、日本企業がグローバル企業として発展するにはどうしたらよいか、等に関して探求し理解を深める。今後、世界を視野に活躍することを希望する学生、学習意欲の旺盛な学生を歓迎する。

## ◆ 国際証券研究

平田 潤

履修者は、大学レベルの金融論・証券論の知識が前提。指定されたテキスト（あるいはケース・スタディ）を分担（20～30ページ）して、まとめ、自分の問題意識とあわせて、プレゼン（30分から60分）を行う。ほかの院生は、事前にテキストを読破し、必ず質問を行う。すべての履修者がプレゼン・質疑応答を行うこと

経営学専攻

で、理解を深める。

## ◆ 国際金融研究

平田 潤

履修者は、大学レベルの国際金融論の知識が前提。指定されたテキスト（邦文あるいは英文）を分担（20～30ページ）して、まとめ、自分の問題意識とあわせて、プレゼン（30分から60分）を行う。ほかの院生は、事前にテキストを読破し、必ず質問を行う。すべての履修者がプレゼン・質疑応答を行うことで、理解を深める。

## ◆ 中国経営行動研究

金山 権

本講義は、現代中国における経営行動とその国際（日、米などの国を主とする）比較を中心に行う。主に中国企業およびその経営管理に関する体系的な知識を経営学の立場から提供し、日本、米国などの国を中心とする国際比較を行い、より体系的にその知識を身につけることをねらいにしている。授業の選択に関しては、受講生にとっては自分の学習目的、研究計画などに基づいて自由であるが、中国経営システム研究と中国企業行動研究の関連性などにより、両方とも履修することが望ましい。

## ◆ 日本的経営研究

坂本 恒夫

集团的、依存的経営である日本企業の特質について勉強します。株式の持ち合い、メインバンク制など諸外国に見られない経営手法について具体的に説明します。

さらに、バブル崩壊およびリーマンショック以降の経営特質であるESG経営、SDGs経営についてとりわけ詳細に解説します。

また、日本企業の海外戦略に見られるODSについても紹介します。

## ◆ 観光振興研究

渡邊 康洋

我が国でも、21世紀に入り観光の持つ社会的、経済的効用が認められるようになり少子高齢化の対策として「観光振興」が重要施策の一つに数えられるようになった。本講義では、そのような観光の効果を再確認した後に、観光の「振興」活動を行う組織（行政、公的機関、民間機関など）ごとの作用や限界、問題点について検証し、望ましい観光振興のあり方について考察する。観光の効果は、社会、経済や文化、あるいは観光者の立場など視点によって性格が異なることに特に留意し、その上で、振興活動の研究を、理論と実例を検討しながら進めて行く。

The Japanese society did not approve of the social and economic impact of tourism until the 21st century. The Government then has come to enter the word “tourism promotion” into its policies. Since then, the nation’s tourism promotion has gone through various trials and errors, but now tourism is expected to be one of the most powerful engines to counter the problem of aging and decreasing population. The lecture first reviews such impacts of the tourism, i.e., who benefits what, followed by study of abilities, limits and the problems of the promoting bodies. Students will learn the forms of the effective tourism promotion through study of theory and case report.

## ◆ 集客ビジネス研究

山口 有次

スポーツ施設、趣味・娯楽施設、観光・行楽施設、複合商業施設などの集客ビジネスにおいて、ターゲットとなる「人」の「行動観察」や「顧客データ分析」などを踏まえながら、集客技術を探求する。具体的には、市場分析、立地分析、競合分析、顧客行動観察、スタッフ行動分析、人材育成プログラムなどのビジネスケースに基づき、課題設定、グループでの検討・データ収集・整理・発表、総括の流れで進行する。

## ◆ 環境 ISO 研究

高橋 義郎

企業の社会的責任（CSR）がますます重視される事業経営において、環境経営（戦略）は避けて通れない重要な経営課題である。本研究では、ビジネスのグローバル化の観点から環境マネジメントシステムの国際標準規格である ISO 14001 をベースにして、製造業からサービス業までの幅広い事例研究や演習を中心に、経営の視点で環境マネジメントシステムの国際標準を理解し、独自のフレームワークを使って経営に役立つ環境経営（戦略）の必要性と活用方法を体得する。将来の起業家や企業幹部を目指す学生諸君の履修を歓迎する。

## ◆ ISO 総論

高橋 義郎

企業を取り巻くビジネスのグローバル化が進む中で、経営に資するマネジメントシステムの国際標準である ISO マネジメントシステムの果たす役割と意義は大きい。本科目では製造業からサービス業までの幅広い事例研究と演習を中心に、ISO マネジメントシステムの全体像、狙い、特徴などを理解し、常に変化するビジネス環境に応じて進化する経営のあり方についてバランススコアカード（BSC：経営戦略及び目標策定）を使って分析と研究を行う。将来の起業家や企業幹部を目指す学生諸君の履修を歓迎する。

## ◆ 経営品質研究

高橋 義郎

高い競争力を持続し続けている企業群には、共通した経営の質を高める仕組みと取り組みがある。本科目では、国際標準規格の ISO 9001（品質マネジメントシステム）にバランススコアカード（経営戦略目標管理）を組み合わせて経営品質を高める手法を、大企業・中小企業や製造業・サービス業などの幅広い事例研究や演習を通じて理解し、更に経営品質賞のフレームワークを活用した持続可能な成長や顧客満足度を高める経営品質向上計画や企業経営の方法論を学習することを目的としている。

## ◆ 経営システム研究

杉山 大輔

事業環境が経済のサービス化、デジタル化等により大きく変化している。こうした背景下では技術移転のスピードが加速しコモディティ化が早まる。本講義では、こうした製品・サービスのコモディティ化を回避し、持続的な競争力確保と事業成長を確保するためにどのような知を活用して、いかにイノベーションを推進していくか、を論じる。そのためにどのようなステークホルダーが、どのような場を活用し、どのような知を用いた活動を推進していけばよいか、等、経営システムの視点で方法論と実践方法を学習する。

## ◆ ものづくり経営研究

杉山 大輔

経営環境が大きく変化し、グローバル化・サービス化・デジタル化が進む中では、コモディティ化の進展が早まり、製造業を始めとする事業の重要成功要因も変化しつつある。成功を収めるビジネスモデルも長期に持続性を維持することが難しく、常に新たな要請に応じた変革が求められる。こうした環境下ではビジネスモデルの変革や新たなビジネスモデルの探索が必要である。本講義では、ものづくり経営を中心にさまざまなモデリング手法を学び、事例の解析ないしワークショップを通じ理論と実践の橋渡しを行う。

## ◆ リスクマネジメント研究

高橋 義郎

事業活動では経営目標達成を阻害する多くの要因があり、それらの阻害要因を明らかにしてリスクを可能な限り少なくする仕組みづくりと実行が持続的経営を目指すうえで不可欠である。本科目では、ISO 31000（リスクマネジメントの原則と指針）をベースに、大企業・中小企業や製造業・サービス業などの事例研究と演習を中心に、独自のリスク分析のフレームワークを使って経営や現場の視点でリスクマネジメントを理解し、経営戦略目標達成に必要なリスク管理手法、事業継続計画（BCP）等の活用方法を体得を目的としている。

経営学専攻

## ◆ CSR経営研究

生田 孝史

この授業では、CSR（企業の社会的責任）経営に関する基本的な知識を学習する。企業が持続的に存続・成長していくためには、社会との良好な関係構築は不可欠である。財務パフォーマンスだけではなく、環境問題や様々な社会課題に配慮した経営の実践の重要性が増している。講義では、ステイクホルダー（利害関係者）と企業との関係を軸に、リスク管理やビジネス戦略、評価手法の考え方について詳しく説明する。また、グローバル視点から様々な最新の事例を取り上げ、ディスカッションを通じて、企業に求められているCSR経営のあり方への理解を深める。

## ◆ 国際標準化研究

原田 節雄

国際標準化？ 馴染みのない言葉かもしれない。しかし、ISO 9001（品質管理システム標準）やISO 14001（環境管理システム標準）という言葉を知る人は多いことだろう。標準にはISO/IEC/ITUなどの公的標準化機関で作成されるものと、民間企業の合意で作成されるものがある。本講義では、国際標準化の世界を広く深く概観し、その知識を企業の国際ビジネス戦略に活かす方法を学ぶ。また、知識重点の座学とは別に、ロールプレイをとおして、国際会議の方法やビジネスマナーなど、国際ビジネスの場で求められる国際人としての教養と品格を身につけることも目指す。なお、本講義の受講者には、秋季の「知財マネジメント研究」の受講を推奨する。

## ◆ 知財マネジメント研究

原田 節雄

いわゆる知的財産には、特許、著作権、意匠など、いろいろな種類がある。本講義では、知財権一般について広く浅く解説した上で、特許権ビジネス（特許と標準の関係）に重点を置いて、企業の国際ビジネスに即した、知財の権利化と活用の実際を学ぶ。また、企業ビジネスにおける知財管理の学習という知識重点の座学とは別に、社会に出しても恥ずかしくない、国際的に通用する企業人材を育成する。具体的には、ロールプレイをとおして、知財権や標準化などの国際ビジネスに欠かせない、企業や個人に求められる「交渉、会議、闘争」の実践的な技術を身につけることも目指す。なお、本講義の受講者には、春季の「国際標準化研究」の受講を推奨する。

## ◆ 技術経営（MOT）研究

井上 隆一郎

不断の研究開発を通じた技術進歩、技術開発は企業成長の基本条件であり、現代企業にはその深耕が強く求められているところである。しかし、技術開発は長期的な視野に立って取り組む必要があると同時に、短期的な成果を期待することが難しい。

したがって、研究開発、技術開発には、その成果に立ちする展望を踏まえた優れたマネジメントが求められる。すなわち市場・顧客シーズ、また技術シーズの長期的動向を確実に把握していく技術経営（MOT）が経営の中核に位置づけられることが必須である。

本講義では、現代経営に不可欠な技術経営（MOT）を、イノベーションのマネジメントという視点で学んでいく。具体的には、その定義、プロセスおよびパターン、そして企業競争力への影響、研究・技術開発のマネジメント、新製品開発のマネジメント等を学ぶ。

この授業では、多くの事例を取り上げ、討議することを通じて、理論と実践を結びつけるスキルの体得を学ぶ予定である。

## ◆ 特殊講義Ⅱ（経営とマーケティング）

山田 脩二

本授業の内容は次の3章からなる。

### 第1章 「事業経営論」

○事業経営者の視点に立ち、組織全体で共有すべき基本認識と事業経営者として理解すべきマネジメント

の要諦及び実践的な行動原則を学ぶ。

○企業成長における経営者の役割の重要性、及び経営者の資質について理解を深める。

## 第2章 「成長戦略論」

○イノベーションの特質を理解するとともに、企業成長戦略の中核となる事業戦略・製品戦略に焦点をあて、それを検討する上での有効な戦略フレームを学ぶ。

○マーケティング・マネジメント戦略をベースに、マーケティングにおける製品戦略、製品開発を学ぶ。そこでは需要創造・拡大と競争対抗の両側面から戦略をとらえる。

## 第3章 「新製品開発論」

○マーケティング視点からの実践的な新製品開発を学ぶ。新製品開発のプロセスにおける分析・検討・意思決定事項及び製品マネジメントシステムの要諦を学ぶ。

○マーケティング担当者が作成する「新製品企画書」を理解する。

尚、全体を通して実際の企業や商品を事例として取り上げる。

## ◆ 特殊講義Ⅲ（環境不動産とESG投資研究）

堀江 隆一

気候変動対策が国際的な重要課題となる中、「環境不動産」および環境・社会・ガバナンス（ESG）に配慮した「ESG投資」が、問題解決の切り口として注目されています。本授業では、環境不動産とは何か、ESG投資の潮流と環境不動産はどのように関係しているか、中国などが環境不動産の普及を今後図っていく前例として欧米・日本などではどのような施策を展開しているか、などにつき、最新の事例・研究成果を使って学習していきます。授業の到達目標は以下のとおりです。

- ①環境や社会に配慮した「環境不動産」とは何か、および国内外においてなぜ環境不動産が重要とされているかを理解する。
- ②ESG投資とは何かを理解した上で、不動産投資においてESG配慮が不動産価値や投資収益の維持・向上にどのように貢献するかを考察する。
- ③欧米・日本などにおいて展開されている環境不動産に関わる施策の最新動向を把握し、中国を始めとするアジアなどに今後必要となる施策を展望する。

本講義では環境不動産やESG投資に関する事例研究が中心になりますが、不動産投資理論に環境価値がどのように組み込まれるかについても理解していきます。授業形態は、講義に加えて学生による発表・討議を取り入れる予定です。

## ◆ 特殊講義Ⅳ（コーポレート・ガバナンスと経営者報酬）

阿部 直彦

経営者の評価・報酬は、コーポレート・ガバナンスにおける主要課題の一つである。経営者（エージェント）は、必ずしも株主（プリンシパル）の期待する株主価値最大化の行動をとらず、時として自己利益の最大化のみを追求する可能性があり、日本企業の低業績の問題の原因とも指摘されている。本講義では、ガバナンスにおける経営者の評価・報酬の課題について、どのような契約を結べば、の二者間に存在するエージェンシー問題を解決することが可能なのかを、日本に限らず欧米の事例を参考にしつつ検証していく。



言語教育研究科

---

日本語教育専攻、英語教育専攻

## ◆ 言語学

青山 文啓

ここでは、教室内でことばを教えるのに最低限必要と思われる知識についていっしょに考えたいと思います。例えば、単語と文との識別、単語を構成する音韻と、単語が連鎖してできあがった文全体にかぶさるピッチ、話しことばにおいてメッセージに随伴する表情やしぐさ、あるいはいろいろな言語の盛衰や勢力範囲に関する知識などがそこに含まれます。

## ◆ 社会言語学

宮副ウオン 裕子

マクロとミクロの社会言語学にかかわる理論を学び、ことばと社会のかかわりをクリティカルに観察・記述し・分析・考察する。講義で扱うテーマには、言語接触、言語管理、言語変種、言語の実際使用、接触場面の言語行動、二言語・多言語使用者の実態やアイデンティティ、バイリンガリズム、マルチリンガリズム、複言語・複文化主義、二（多）言語併用、インターアクションの社会言語学、メディア・リテラシーなどが挙げられる。社会言語学的な理論をクリティカルに考察し、言語教育現場への応用・実践方法を討論する。

## ◆ 言語習得研究

宮副ウオン 裕子

- 1) 人はどのように第1言語（母語）、第2言語、外国語、継承語を学習・習得・喪失しているのかを、「言語習得（学習）」および「言語の社会化」の理論と実践の両面から考察する。
- 2) 自らの言語学習史（LLH：Language Learning History）を記述する。
- 3) 「ヴァーチャル映画討論会活動」に参加し、〈ブレンディド・ラーニング〉を実体験する。
- 4) 「実際使用場面の言語データ」を分析しレポートを執筆する。
- 5) 社会的文脈に根差した言語の学習・習得を、いかに言語教育現場へ応用・実践するか討論する。

## ◆ 相互行為研究

池田 智子

近年、人と人の相互行為の研究において重要性が認識されているマルチモダリティに着目した研究の動向を知り、相互行為を言語だけではなく身体行為、モノなども含めた全体として捉えることを学ぶ。社会心理学、コミュニケーション学における、いわゆる「非言語コミュニケーション」研究のアプローチも概観するが、重点を置くのは記述的・質的研究である。収集したビデオデータを利用し、今まで何気なく見過ごしていた現象に気づき、それをトランスクリプトとして記述し、相互行為の観点から考察できるようになることを目指す。

## ◆ 言語教育研究の統計的方法

野口 裕之

言語教育に関する実証的研究論文や大規模言語テストの分析などで扱われている統計的方法の基礎的な部分について講義します。

具体的には、統計的記述の基礎（平均・標準偏差・標準化・相関係数など）と統計的推測の基本部分（推測の考え方・t検定など・分散分析の初歩）に加えて項目分析・妥当性・信頼性などについて取り上げます。いろいろな統計的方法の計算ができるようになることも大切ではありますが、この授業では、統計的な方法に共通する考え方や意味が理解できるようになることを目的とします。若干の計算演習も行なう予定ですが、PCによる実習は実施しません。

ただし、受講生の予備知識の程度や関心に応じて実際に取り上げる内容や深さは柔軟に対応する予定です。高校の数学が得意でなくても問題ありませんし、可能な限り数式を使わないで解説しますが、全く使わないで統計的方法を解説する、理解するというのは難しいです。数式を見るのも嫌だという方には向きませんので受講に際してはその点に注意して下さい。

## ◆ 言語教育研究の質的方法

八木 真奈美

近年注目を集める質的研究方法の理論と方法を学びます。まず、質的研究とはどのような研究方法か、量的研究との違いは何かなど、よく聞かれる質的研究の疑問についてパラダイム、認識論、客観性などの観点から議論していきます。次に、いくつかの代表的な研究調査方法を概観した上で、研究のデザインについて、リサーチクエスチョン、調査方法、理論的枠組み、妥当性がどのように関わり、展開されていくかを学びます。また、インタビュー・フィールドノートなどのデータ収集方法、データの分析方法を実際に体験します。

## ◆ 異言語習得論

佐野 富士子

異言語（第二言語）が習得されるプロセスを解明するための理論が様々あるが、外国語学習環境でいかに異言語の習得が起こるかを主軸にした探求を概説する。主なトピックは学習の個人差をもたらす内的要因、外的要因の主なもの（動機づけ、インプット、アウトプット、インタラクション、様々な教室内活動等）で、それぞれの要因がどのように相互に関連しながら学習成果に影響するか第二言語習得論の枠組みの中で考察し、教室における異言語学習と異言語指導にどのように応用できるか検討する。

第二言語習得研究の領域が概観できたら、履修生各自の着任先の状況により、そこで応用を検討したいトピックを取り上げて、アクティブに探求した結果を発表する機会を設ける。使用言語は日本語または英語とする。

## ◆ 日本語教育政策研究

山本 忠行

言語は道具としての性格を持っているため、その教育は政治や社会情勢と深い関わりを持っています。明治時代の「国語」の整備が日本の発展に大きく寄与する一方で、日清戦争以後に植民地や占領地で行われた日本語教育は、アジア諸国の人々の心に深い傷を残した面があります。日本語教育に携わる者は、こうした歴史を正しく認識しておくことが求められます。また、現在の日本語教育は留学生政策や外国人受け入れ政策と密接なつながりがあります。諸外国の言語政策と比較しながら、日本語教育はどうあるべきかを考えていきます。

## ◆ 日本語教育評価研究

宮副ウオン 裕子

日本語教育にかかわる評価を広義にとらえる観点から、日本語教育におけるさまざまな評価(assessment)の方法、言語プログラム評価(program evaluation)、ワークロード評価、言語監査などについて理論と実践の両面から考察する。言語テストの理論と実践、大規模公開言語テストと波及効果、CEFRおよびJFスタンダードのCDS、パフォーマンス評価、形成的評価、ダイナミック・アセスメント、バンドスケール評価などをクリティカルに考察し、言語教育現場への応用・実践方法を討論する。

## ◆ 日本語教材研究

齋藤 伸子

まず、リソースが言語習得上果たす役割を、实例を見ながら検討し、リソースと教材について各自が自分なりの見解を持てるようにする。次に、聞く、話す、読む、書くなどの技能別に教材をとりあげ、代表的教材からいくつか選んで分析し、教育活動の中での具体的な使い方の例およびその開発のプロセスをまとめる。

さらに、グループで特定の学習者グループを想定し、コミュニケーション観や日本語教授法の理念が変化する中で提案できる多様な教材・リソースとその生かし方を、実践場面を考えながら検討して発表し、共有する。

## ◆ マルチメディア日本語教育研究

磯野 英治

本講義では、日本語教育における教授法や談話研究の基礎的な内容と、日本国内外のe-Learning・m-Learningの状況を学び、その応用としてマルチメディア教材の制作を行う。日本語教育でマルチメディアがどのように活用され、今後どのような可能性があるのかを検討していく。

日本語教育とマルチメディアに関連する基礎的な知識を身につけ、簡易的な教材作成ができるようになることを目的とするため、受講に必要なICTの技能は、パソコンの操作にある程度慣れておりワードやエクセルの基礎的な知識があれば問題ない。

## ◆ 年少者日本語教育研究

林 安希子

年少者の母語教育、継承語教育、バイリンガル教育に関する総合的理解を得る事を目的とする。国際化の中、親の移動とともに母語が話されている地域を離れて来日する外国人児童生徒も少なくなく、国際結婚の増加、外国語学習年齢の低年齢化が進行しているなど、多言語・多文化状況下にある年少者は増加の一途をたどっている。年少者の人間的成長・言語発達への理解を深め、複数文化下にある年少者の言語能力を捉える実践力を持てるようになることを目指す。

## ◆ 日本語教育実習

川田 麻記

本講義は、将来、日本語教師として教壇に立つ人材の育成を視野に入れ、第二言語(または外国語)としての日本語の教え方を様々な角度から実践的・経験的に修得することを目的とする。具体的には、まず、日本語を教える上で必要な教授法・アプローチ、教材研究の仕方、教案の書き方等を、講義・実践から学ぶ。

特に、日本語教育の特徴が最も顕著に現れる「初級日本語」の文法項目に焦点を当て、部分的な模擬授業を繰り返し行うことで、初級日本語を教える際に必要な基礎力を身につける。

学期末には、実際の学習者を対象とした教壇実習を複数回行うが、実習を通してコースデザインや教室運営についても実践的に学ぶ。最終的には、実際の日本語教育の現場で必要とされていることを自立的に探求し、自身の授業にいかに関与させるかを考え、実践していく力を習慣的に身につけられるようにする。

教壇実習では、特に以下の三つの側面における学びを重視する。

- ① 認知面 : 指導内容に関すること (項目分析、教案作成、教材・教具作成など)
- ② 情意面 : 伝え方に関わること (分かり易い伝え方、学習者とのインターアクション等)
- ③ 自己研修: 実習授業を振り返ってその結果を次の授業に反映させること

## ◆ 日本語音声研究

小河原 義朗

本講義では、まず日本語教育の観点から日本語音声学の基礎について、分節音と超分節音の両面から理解を深める。次に、それに伴って発展してきたこれまでの日本語音声教育の実践と研究の変遷を辿りながら、音声教育の方法論と教材について分析する。そして、そこから見えてくる課題を検討し、コミュニケーションにおける音声の役割について考えることによって、日本語音声教育を捉え直し、これからの音声教育について考える。

## ◆ 日本語語彙研究と表記

加藤 祥

日本語の語彙と表記をとりあげる。既存のコーパスをはじめとする調査対象データの分析が、各自でできるようになることを目指す。分析手法や解析結果を見ながら、目的に応じた適切な語彙研究の方法を考えた。また、表記の取り扱いをはじめ、調査に際して考慮すべき点を議論する。講義外の自主的な研究実践として、解析や分析作業を行うためのPC等環境 (Webブラウザ・表計算ソフトなど) を利用できることが望ましい。

## ◆ 日本語文法研究

青山 文啓

「文法」にはふたつの意味が区別されます。私たちの頭の中にある文法と、書かれた文法です。後者があって、文字を使うようになってはじめて、前者は意識されるようになりました。ここでは単語と表記、辞書と文法書、単語が連鎖した場合に見られる文の構造、文法とテキスト、話す場合と書く場合に見られる「文法」の違いについて考えます。

## ◆ 日本語文章研究

加藤 祥

本講義では、計量的な調査や各種の文脈分析を試み、日本語の文章を多角的に考察する。文章特徴の研究方法を目的に応じて考えながら、日本語文章の言語的な調査と分析が各自でできるようになることを目指す。基礎的な日本語文法論を理解していること、調査や分析作業を行うためのPC操作 (Webブラウザ・表計算ソフトなど) に取り組めることが望ましい。

## ◆ 日本語教育特殊講義

増田 恭子

言語学習とは意思疎通に必要な言葉や文化の背後にある概念構造を学ぶという言語的視点がある。このコースではこのような視点に立つ社会文化的理論・認知言語学に基づく第二言語習得研究を中心に取り上げ、コミュニケーションな日本語教育で重要な学習活動についての研究論文を読み進め理解を深める。コースの後半は日本語教育の現場 (教室) でのインターアクションの観察・分析を行い、実践研究をする。評価は中間・期末レポートと発表。

日本語教育専攻

This course will first focus on the most prevalent theories of first and second language acquisition. Then we will develop a framework for analyzing the various English language teaching approaches that have been popular in the 20th and 21st centuries—from the Grammar Translation Method, to Task-Based language Teaching, and more recently, Content-Based Instruction. We will also include discussion of some of the major ‘alternative’ approaches such as Suggestopedia and The Silent Way, that have developed along the way.

We will consider each approach in a systematic manner by using a questioning process that attempts to analyze its underlying theories of language and language learning, its fundamental goals, its educational principles, and the classroom techniques and roles adopted by the teachers and students engaged in the method.

By the end of the semester, the students should have a clear understanding of how English Language Teaching has evolved to its current state. Moreover, students will develop a usable set of tools they can use to analyze any teaching model or method they encounter in their professional life.

This course offers students a general, well-balanced introduction to the various issues, principles, approaches and teaching practices related to English language education. We will begin by exploring the role of English as a lingua franca in the world today and then consider the role of English education in Japan.

We will then divide the semester into three modules of study: Who (learner and teacher variables);

What (the language systems: grammar, vocabulary, phonology); How (approaches to developing students’ language skills).

By the end of the semester, the students will have a fairly complete picture of both the principles and practices that English language education involves.

The focus of this course is to answer the question, ‘How does a language educator plan, design and implement a well-balanced, relevant language course from scratch?’ We will answer this question systematically through a variety of means, including lecture, discussion, projects and individual tasks. Although the course design principles are relevant to any language education program, we will focus on English language courses.

The goals for this course include the following: 1) Give students an understanding of the inter-dependent components involved in the process of designing a language course. 2) Equip students with the set of tools necessary to construct a well-balanced, coherent language course that is appropriate for any specified learning context. 3) Provide students with a framework to balance the theoretical and practical issues related to course design.

## ◆ 英文法論

小池 一夫

現代英語の特性を真に理解し、それが明確かつ正確に説明することができるようになるためには、言語要素の表面を単に撫でるような知識のみでは必ずしも十分とは言えない。英語を形成する仕組みと体系について理解を深めることが大切である。

本授業では、英語の本質を十分に理解し、正確な英文法の知識（＝英語文法力）を備えて、的確に英文法を指導すること（＝英語文法教育）ができる教員の養成を目指すとともに、英語学の研究方法についても指導したい。また、英語母語話者の発想と言語構造との関連性についても深く検討する。

## ◆ 英語音声学

山岡 洋

本講義では、英語の音声についてその音韻構造を理論的に学んでゆく。「英語音韻論」とは「英語が音聲的にどのような体系・構造を成しているか」を解明する学問であるが、本講義ではできるだけ理論と実践とのギャップを埋め、普段の生活に身近な題材をもとに、特に日本語との比較を意識しながら英語の音韻体系について考えてゆく。授業は、受講生の発表による形式で進めていく。

## ◆ 英語学特論

山岡 洋

この講義では、英語学の中でも、特に現代英語の文法・語法に焦点を当て、ムード・テンス・アスペクト・ヴォイスなどの動詞に関わる文法範疇やそれに対応する意味範疇など、また名詞・形容詞・副詞・前置詞などの他の品詞に関わる文法範疇・意味範疇・談話範疇などを原則として発表形式で学んでいく。

## ◆ 英語史

小池 一夫

英語の歴史はおよそ1500年に及ぶ。その間、時間の経過に伴って英語それ自体に生じた言語変化に加えて、他言語との接触に起因する言語変化が合わさって、言語上大きな変化を遂げた。本授業では、主に内面的な言語変化という観点から英語の歴史の変遷について論じる。各時代の英語を資料として、その解析、分析、対比の作業を行うことによって、総合的言語の特徴を表す古英語から分析的言語の特徴を表す現代英語へと変遷した英語について、いくつかの言語現象を選んで詳細に考察を行う。随時、英語史の研究法について言及する。

## ◆ 英語表現演習

WILBY, Christine Mary

With speakers around the world now communicating in English as a lingua franca, English expression must be widened from a narrow focus on native English varieties to include the peculiarities of other varieties of English. The aim of this course is to study and practice a diversity of expressions in the English language. The course will look at the characteristics of native English, and then to what constitutes a variety of English, with special emphasis being placed on the characteristics of Japanese English, and to any other variety of English represented in the class. Throughout the course, students will be encouraged to apply this knowledge, by way of English expression exercises, to expand both their personal command of English and their command of expressions for the English classroom and academic environments.

This course will be given in English at the intermediate level.

## ◆ イギリス文学演習

原田 美知子

イギリスの文芸誌『グラント』を読みます。Sarah Waters, Dan Rhodes, David Mitchell, Ben Rice, Zadie Smith等、現在英語圏文学界で活躍している作家が、若手小説家としてデビューした記念すべき81号をテキストに、英語教師に必要な速読力と、正確な読解力を身につけることを目的とします。

英語教育専攻



## 心理学研究科

---

### 臨床心理学専攻、健康心理学専攻

---

## ◆ ヒューマンケア心理学特論

長田 久雄

本講義は、広義の心理臨床領域におけるヒューマン・ケアの理論と技法について理解することを目的としている。ターミナル・ケアも含む各発達段階における疾病や障害のある人のケアには、健康心理学および臨床心理学的取り組みが不可欠である。また、ヒューマン・ケアの実践においては、被援助者と援助者に加えてその関係についての理解も必要である。これらを基本的視座として、ヒューマン・ケア心理学について考究する。授業形式としては、講義と受講者の興味のあるテーマに関する発表・討議を行う。

---

## ◆ 健康科学特論

宮崎 光次 他

運動やスポーツをはじめとする日常生活全般の身体活動が、人間の健康にどのような意義を持ち、さらに、スポーツパフォーマンス向上をもたらすのかについて、コーチング、応用健康科学ならびに哲学の立場から学ぶ。授業は、「スポーツコーチング」「身体活動科学」「発育発達学」「人間学的身体論」「スポーツ哲学」等をキーワードとし、3名の教員によるオムニバス形式で展開される。上記各分野の専門性をもって、幅広く健康科学について探求する。

---

## ◆ 地域福祉特論

野村 知子

人々のつながりはソーシャルキャピタルといわれ、つながりが強い地域ほど、健康で安全な地域といわれている。地域でのケア、地域の支え合いが求められている現代において、ただ住んでいるだけではなく、地域の人々のつながりによって作り上げられるコミュニティが求められている。このように至った歴史的な経緯、理論、海外の取り組み、提供主体等について学ぶ。さらに、地域ケアの推進方法、地域の支え合いづくりについて、実践事例を通して理解を深める。

---

## ◆ 生命倫理学特論

長島 隆

「倫理学の時代」と言われる。私たちの生活の場である「社会的行動連関」が、激動の中にあり、行動の正当性そのものが問われ、急激な変動に対応するには、固定的で、安定的な法よりも、社会倫理のレベルでこの正当性を問題にすることがより妥当するからである。本講義では、まずなぜ倫理学が問題になるのかを確認する。特に臨床心理など、直接クライアントの親密な情報に接することが多いことから、「情報倫理」の問題を中心にして、「医療情報」、「個人情報保護」を問題にする。

---

## ◆ 児童福祉特論

小泉 広子

現代日本における子どもや子どもを育てる家庭をめぐるさまざまな課題について、子どもの権利の観点から、問題を分析する力をつける。

子どもの権利に関する条約の理解をもとに、児童虐待、いじめ、子どもの貧困、社会的養護などの問題について、現状を理解し、必要な解決策や支援を考える。

## ◆ 臨床心理学特論 I

井上 直子

本講義は、人間の心の働きを理解・援助するために発展してきた「臨床心理学」の理論・知識に触れながら、それを実践に生かすための理解を目指す。とりわけ説明概念を豊富に持つ、力動論/精神分析理論を軸にして、どのような援助においても役立つ援助関係で起きる現象の本質を理解する。そして、積極的に心について理解し、心理療法/カウンセリングにおいて働きかけることができるような態度と力を身につけることを目標とする。

## ◆ 臨床心理学特論 II

種市 康太郎

臨床心理学特論 II では、臨床心理的地域援助（コミュニティ心理学）、職業倫理の問題、臨床心理士と関係が深い法律の問題について扱う。最後に、翌年度の実習に向けた準備として、あらためて臨床心理学的援助における基本的態度を振り返り、最後にスーパービジョンについて議論する。

## ◆ 臨床心理面接特論 I

種市 康太郎

心理支援に関する理論と実践について説明し、理解を深めるための実践的な学習を行う。具体的には、1. 力動論に基づく心理療法の理論と方法、2. 行動論・認知論に基づく心理療法の理論と方法、3. その他の心理療法の理論と方法、4. 心理に関する相談、助言、指導等への上記1～3の応用、5. 心理に関する支援を要する者の特性や状況に応じた適切な支援方法の選択・調整、である。

## ◆ 臨床心理面接特論 II

井上 直子

臨床心理学的援助を臨床家が能動的に提供し、クライアントが主体的に活用するために欠かせない過程であるインテーク面接。そこには臨床心理学的援助で果たすべきことのエッセンスが詰まっている。本講義では、特に精神分析的ケースフォーミュレーションに焦点を当て、テキストを読んでいることを前提とした討論により、そのエッセンスを学ぶ。当然ながら、臨床家としての在り方を訓練する場として、積極的な受講態度を要求する。

## ◆ 臨床心理査定演習 I

池田 美樹

臨床心理学の専門家として必要な心理査定の知識・技術の基礎を演習形式で習得する。初めに、心理査定に関わる倫理的問題、心理査定の有効性と限界、テストの信頼性と妥当性について学ぶ。次に、各種心理検査を取り上げ、受講生一人一人が検査者、被検査者を体験し、結果の整理から総合所見の作成までを行う。臨床現場において、実際に役に立つ心理査定の知識と技術を習得することを目標とする。

## ◆ 臨床心理査定演習 II

小関 俊祐

臨床活動の中で行うべき査定法としての中心となる心理テストについて学ぶ。特に施行、理解、解釈の難しい投影法テストや知能テストについて解説し実践的に身につけるよう指導する。臨床心理査定演習 II では、知能検査（WISC、WAIS など）、行動的アセスメント（行動観察など）、PFスタディなどを扱う予定である。

## ◆ 臨床心理基礎実習 I

井上 直子

臨床心理学的援助において、クライアントの発言にどのように応答するかはアプローチの如何に関わらず重要である。マニュアル的な発想ではなく、現時点でのクライアント理解を基盤に、相手の発言内容をどのように受け止め、クライアント感情と自分自身の感情をどのように体験し、そしてどのように応答を組み立てるか、をグループで検討し学び合う。その過程で自己課題や自己資源の発見、そして応答可能性の広がりをつかむことを目指す。

## ◆ 臨床心理基礎実習Ⅱ

山口 一

医療場面において、初診で訪れたクライアントのインテーク場面を想定して、クライアントをどう扱えばよいのか、疾患を見極めるためにどういう質問や観察をすれば良いのか、今後の診療へどうつなぐか等を、ロールプレイを通じて学習する。参加者は各精神疾患の特徴を把握した上で参加されたい。毎回、取り組んだ成果については簡単なレポートを次回に提出する。

## ◆ 臨床心理実習

山口 一 他

臨床心理センターでの内部実習と、精神科医療、児童臨床、産業領域、福祉領域などの学外施設にて行われる外部実習により、心理臨床家として必要とされる態度と技術を身に付ける。これらを踏まえて、学びを確かなものにするための実習報告、臨床実践において重要なテーマについてのグループディスカッション、およびグループ事例検討を行う。

## ◆ 臨床心理実習スーパービジョン

井上 直子 他

臨床心理実習に関連して、個別指導に力点を置き、臨床家として必要な姿勢、倫理、ケースの見立て、対処、自己課題への洞察などについて、実践を通して理解を深めることを目的とする。具体的には以下の内容を含む。

- ①臨床心理実習での担当ケースの詳細な個別SV。
- ②集団事例検討会でケース提示を行う担当者への個別指導  
(ケース選択の仕方、プレゼンテーションの仕方、ケース理解、ケースに即した自己課題の理解など)。
- ③内部および外部実習での体験内容を総合的に検討したうえでの、臨床家として必要な姿勢や倫理に関する個別指導。

## ◆ 心理学研究法特論

長田 久雄・林 葉子

心理学研究科修士課程において研究を行うための実証的な研究方法について講義する。実験デザイン、質問紙調査、標本抽出などの基礎知識を確認し、それらを前提として、より発展的で応用的な量的研究方法を取り上げて検討する。後半では、現代社会における人々の多様で、複雑な様相を解釈するための新しい手法として注目されている質的研究について学習する。本講義では、質的研究の意味と意義を理解したうえで、質的研究の手法の様々なアプローチを概観する。質的研究手法のうち、グラウンデッド・セオリー・アプローチを用いて、質的データの分析を体験し、質的研究の理解を深める。

## ◆ 心理統計法特論

杉澤 秀博

講義では、心理学における統計解析の必要性、意義、基礎的な知識を学習する。統計学になじみの薄い学生でも、簡単な統計解析を行うことができるようになることを目標とする。そのため、統計解析の理論や数式の説明を抽象的に行うのではなく、実際のデータを用いて集計・解析を進めていく中で、論文の作成に役立つ統計解析の知識や技術の習得をめざす。データの分析の際に用いる統計ソフトとしては、汎用されている統計パッケージであるSPSSを使用する。

## ◆ 発達心理学特論

小山 真弓

まず授業初盤では、発達心理学と臨床心理学の歴史と現状について概説し、臨床心理学における発達理論の在り方の模索について述べる。次にD. スターンの発達理論を紹介する。その補助教材としてビデオによる母子相互交渉を観察しながら、発達論的視点に立ち実際の具体的現象を理解する。

後半では、ライフサイクルに応じた発達課題について学ぶ。あらかじめ定めた発達区分に従い、それぞれの時期の発達課題、臨床的テーマについて知るとともにそこから得られた援助の方針や具体的援助によりど

のような臨床的展開が起こって行くか、事例を通して学びを深めることを目指す。

## ◆ 学習心理学特論

坂本 正裕

学習心理学は、実験データに基づいた心理療法の基礎となっており、その理論体系を支えるために駆使されてきた実験的手法の巧みさは他の追随を許さないものがある。現在では、学習心理学の行動的な成果が様々な応用場面に適用される一方で、学習や記憶の神経メカニズムの研究が盛んになってきており、様々な学習のタイプとそれに関与する脳部位の活動や役割が明らかになってきた。そこで、本講義では最初に学習心理学の実験の意義や理論的發展を歴史的に概観し、現在の心理学の諸分野にどのような影響を及ぼしているかを論ずる。次に、学習と記憶に関わるシナプスの可塑性や中枢機構について概説し、様々な臨床症状において学習や記憶のメカニズムがどのように関わっているかを学ぶことを目的とする。

## ◆ 犯罪心理学特論

藤野 京子

まず、非行少年や犯罪者への処遇に対するスタンスについて検討します。続いて、非行少年や犯罪者に対するアセスメントについて、模擬事例を通じて学びます。その中で、SCTや描画などの投映法を含めた心理検査の解釈に触れます。また、アセスメントの結果を踏まえてどのように処遇計画をたてるかを体験学習します。加えて、非行少年や犯罪者に行われている処遇のいくつかを紹介すると共に、関連施設への参観も行います。これらを通じて非行・犯罪関連の心理臨床と、他の領域の心理臨床との同異について考察します。

## ◆ 家族心理学特論

ジェイムス朋子

家族は人が最初に出会う集団である。そこでの集団力動体験は、人生を通じて、人の成長にもまた病理にも大きく影響を与える。この授業では、家族心理学の基礎理論を主にシステム論によるアプローチから理解した上で、集団力学論、精神分析理論の基礎理論も加え、家族という集団を多角的に理解することを狙う。家族療法や夫婦療法の事例も用い、事例の検討を通じた実際的な理解を進め、簡単な演習も交えて、家族に対する援助法についての理論と技法の基礎についても学ぶ。

## ◆ 精神医学特論

山口 一

臨床心理学／健康心理学の現場を志す者にとって、必要かくべからざる学問である精神医学について、基本的事項を確認し実際の精神科臨床がどのように展開されるのかを知る。また、その際に心理的な検査や治療法がどのように行われているのかを理解する。このような試みを通じて実際の臨床現場に立つ際の準備が整うことを目的とする。

## ◆ 学校臨床心理学特論

石田 多枝子

学校臨床心理学では、課題を抱えた児童・生徒への援助方法とともに、学校生活をおくるすべての児童・生徒の成長・発達への援助のあり方や、教師への支援、学校への支援を考える。児童・生徒本人、家庭、学校、地域の4つの視点からのアセスメントを通してどのような働きかけができるかを学ぶ。スクールカウンセラーとしての役割と活動を踏まえたうえで、学校の状況やニーズに即した援助を行うことを考えていく。プレゼンテーションやグループ討議、演習を通してスクールカウンセラーとしての力を養っていく。

## ◆ 産業臨床心理学特論

種市 康太郎

産業分野での臨床心理活動について解説する。まず、企業従業員のメンタルヘルスの現状、ストレス対策の意義と重要性について延べ、次に、労働安全衛生法を中心とする近年の労働法の改正の状況、特に最近導入されたストレスチェック制度について解説する。次に、職場ストレスのモデル、ストレスによる健康影響の研究を解説する。さらに、産業分野におけるアセスメント、カウンセリング、リファーマの仕方、職場復帰支援の進め方、教育研修、管理職向けのコンサルテーションの進め方について実習も入れて説明する。

臨床心理学専攻

## ◆ 臨床心理技法特論

小山 真弓 他

本授業では、心理技法を幅広く知り知識として理解するものではない。特定の心理技法について取り上げ、座学にとどまらずその実際を体験的に理解することを目指す。取り上げる心理技法は、サイコドラマ、フォーカシング、動作法などである。一つの技法に各々5回の授業回数を宛て、体系的実践的に技法に触れる。クライアントの立場で技法を体験するのみならず、援助者としての技法運用について学ぶことを目指す。

## ◆ 認知行動療法特論

小関俊祐・池田美樹

臨床心理学の一領域である認知行動療法について、認知行動療法の基礎理論、認知行動療法の技法、認知行動療法の適用について学ぶ。特に、行動理論の立場からアセスメントを行い、支援につなげる手続きを修得できるよう、指導する。認知行動療法の事例を紹介しつつ、クライアントに寄与するカウンセリングのポイントについて検討していく予定である。

## ◆ 遊戯療法特論

湯野 貴子

子どもの心理的問題への介入方法として主に選択される遊戯療法（プレイセラピー）について、その定義、歴史、様々な遊戯療法の理論、子どもとの関係形成と表現促進のための技法、アセスメント、子どもとの初回面接などを、講義を聞くにとどまらず、実際のロールプレイ演習とそのフィードバックを通して自分自身の体験からその本質を学ぶことを目標とします。また、言語によらない遊びという非言語表現を促進し理解する関わり方を学ぶことで、大人／子どもに限らない治療の関係形成全般の臨床家としての感覚を養って行くことも目指します。

## ◆ 投影検査法特論

池田 美樹

本特論では、代表的な投影検査法であるロールシャッハテストを扱う。検査実施方法（検査への導入、行動観察、自由反応段階、質問段階、検査終了）、スコアリング、構造分析、継起分析、および質的解釈の基礎を学び、自力でロールシャッハテストを実施するためのスキルの習得を到達目標とする。具体的には、受講生自ら検査を実施し、得られた検査データについて、グループ・スパービジョン形式で事例報告と検討を行い、検査所見作成に至るまでの一連の過程を通じて、投影法検査の理解を深めることを期待している。

## ◆ 心理技法とその応用

種市 康太郎 他

臨床現場で用いられる様々な心理的技法があるが、現在どのような技法がどのような領域で用いられているのが、各領域でどのように用いられているのかを知識として学ぶことを目的としている。その中から自分が学びたい技法を選び身につけるための紹介的な講座である。

10～15の技法について様々な技法を学ぶ。

## ◆ 臨床心理総合特論

福井 博一

臨床心理士になるために必要な基本的知識全般について講義を行う。具体的には、心理学の基礎（生理学的基礎、発達心理学、学習心理学等）、心理査定（MMPI、ロールシャッハ・テスト、ウェクスラー法等）、心理療法（精神分析、認知行動療法、クライアント中心療法等）、法律（少年法、DV防止法、児童虐待防止法等）であり、あわせて各種事例を取り上げて解説する。この講義を通じて、受講者が、心理学の基礎はもとより臨床心理学を広く見直し、臨床心理士になるための学習の動機づけを高めていただきたいと思います。

## ◆ 健康心理の理論と実践

石川 利江 他

健康心理学は心理学の分野としては比較的后発で、30年ほどの歴史をもつ。ストレス負荷の高い高度情報社会において、心身の健康を維持増進するための問題の解明と対処方法の検討をめざしており、社会的ニーズに根差している。生理心理学、社会心理学、発達心理学、人格心理学などの先行分野と関連した複合的な分野といえる。本講は、専任教員によるオムニバス科目として構成されており、健康心理学の専門的な理解を深める導入として位置づけられている。健康心理学の基本的な理論とその活用について検討を行う。

## ◆ 健康心理学特論

石川 利江

本講義では、健康心理学に関する知識と実践の方法を学ぶことを目的としている。健康心理学全般に関する知識を確実なものとするために、健康心理学全般に関する知識の整理するとともに、最新の研究論文資料などを用いた各自の発表とディスカッションを行う。さらに、健康心理学における実践スキルについて体験的理解を深め、健康心理学の実践にどのように生かせるかについて検討する機会を提供したい。

## ◆ 健康心理学研究法演習 I

久保 義郎

心理学では多くの研究が統計学の恩恵を受けて発展してきた。特に健康心理学ではその傾向は顕著である。したがって、研究論文や専門書を読んだり、研究計画を立案する際に統計学の知識は必須と言えよう。

本演習では、統計学の基礎的な知識と手法を学び、「健康心理学研究法演習 II」の授業内容を理解できるレベルに達することを目標とする。

極めて基礎的な内容を取り扱うので、学部等で既に統計法を学んでいる場合は、「健康心理学研究法演習 II」から学習することを推奨する。

## ◆ 健康心理学研究法演習 II

鈴木 平

心理学の研究のためには、統計の知識・技術は必要不可欠のものである。統計を理解できないと論文や専門書を読むことができないし、研究をすすめることもできなくなるかもしれない。本講義では、学士課程で学んだ心理統計や「健康心理学研究法演習 I」で学んだ基礎知識をもとに、研究で使える心理統計の実践的な技法について学ぶこととする。本演習を通して、心理学で扱う現象に対し、科学的に探求する力を養ってもらいたい。ほぼ毎回PCと統計のソフトウェアを使用して、データの解析を行う。

## ◆ 生涯発達と健康教育特論

石川 利江 他

WHO（世界保健機関）によれば、健康とは病気でないとか弱っていないということではなく、肉体的にも精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることとされる。

しかし、ライフステージごとに生じてくる課題やニーズは異なっており、したがって健康教育もそれぞれのライフステージに合ったものが求められる。

本講では、心身の健康上の諸問題をライフステージごとに明らかにし、さらにそのステージにおいて有効な健康教育の理論と実践について理解することを目的とする。

## ◆ 健康心理カウンセリング特論

石川利江・井上直子

健康心理カウンセリングは従来の心理療法を基礎として近年新しく誕生した対人援助活動である。力動論に基づく心理療法、行動論・認知論に基づく心理療法、人間中心アプローチなど、従来の基本的な心理療法の理論と方法について学ぶことから始める。そのうえで健康心理学に基づく援助の実践に必要な理論（考え方）と技法（実際）について理解を深める。健康心理カウンセリングを実施していくために必要となるクライアントとの関係性の構築、他職種との協働関係の構築など実践的活動の基本についても学ぶ。また、健康の維持・増進と疾病予防、ヘルスプロモーションの観点で、履修生の興味関心のあるテーマに沿ったカウ

健康心理学専攻

ンセリングに関する論文についてディスカッションを行う。

### ◆ 健康心理アセスメント特論

久保 義郎・池田 美樹

本授業では、健康心理学で用いられるアセスメント法の役割と意義を理解し、様々なアセスメント法に関する知識を深める。授業形式としては、講義とともに受講者の興味のあるアセスメント法に関する発表・討議を行う。受講生は、担当する分野のアセスメント法に関連する先行研究を広く検討した上で、代表的なアセスメントを選択し、その作成過程、内容構成、実施方法、問題点、使用上の留意点などをまとめる。これらを通じ、対象者と目的に即したテストバッテリーの構築と実施に向けて健康心理学アセスメント法の包括的な理解を深める。

### ◆ 健康心理学演習

松田 チャップマン 与理子

健康心理学では人間を全体的ダイナミックな存在としてとらえる。その視点から代表的な理論モデルや方法論について体系的に学び、さまざまな健康問題に対して具体的、実践的にどのようなアプローチを行うことができるのかについて学ぶ。同時に、英語文献を深く読み込む練習を行うことで、グローバルな視点で問題を捉えることができ、自己の研究課題を多角的に検討できるようにする。また、国際学会における研究発表に向けた実践的トレーニングも行う。

### ◆ 健康心理現場実習

石川利江・松田チャップマン与理子

健康心理学に関する理論を実地に検証し、理論や技術の理解を深めて、健康心理学の専門性の特質を修得することを目的とする。学内実習と学外現場実習により構成されている。学内実習では、健康心理アセスメント、健康心理カウンセリング、健康教育プログラムの作成や実施の具体的方法とその展開に必要な技術を学ぶ。学外現場実習では、医療、保健、教育、福祉などの様々な関連分野の連携について理解を深める。また、支援を必要とする利用者側と支援に携わる側のニーズを理解し、働きかけの方法を具体的に研鑽してその能力を高める。

### ◆ ストレス特論

津田 彰

“こころ”と“からだ”と“社会”の枠組みから、ストレスのメカニズムとコーピングに関する基本的な知識を習得し、自分や他者のストレスを適切にコントロールするためのスキルを習得する。

総教育目標 (GIO)

ストレス-コーピングの現象について、生物心理社会的視点から理解するとともに、ストレスマネジメントの知識とスキルを習得し、それを日常生活の中で活用する。

個別行動目標 (SBO)

1. どのような出来事がストレスの原因となり、なぜストレスの体験は個人によって異なるのか、生物心理社会的に理解する。
2. ストレスフルな状況に置かれた生体が示す生物心理社会的反応を理解する。
3. ストレス-コーピング過程における個人差を左右する生物心理社会的要因を理解する。
4. ストレスの悪影響を逃れるために行うストレスマネジメントの多様な視点と方法を学ぶ。

### ◆ ライフスタイル特論

竹中 晃二

本科目では、ネガティブな健康阻害要因の変容だけでなく、積極的な健康づくりを考慮した「総合的」健康行動変容をねらった研究内容を学習する。また、ヒトの健康関連問題を「総合的」に捉える観点とは別に、健康関連問題を「行動」として扱い、行動変容を生じさせることを目的とした介入のために、ヘルスコミュニケーション（行動科学、社会科学、メディア、マーケティングなど）の理論・モデルの解説、およびそれらの具体的適用方法を学ぶ。

健康心理学専攻

## ◆ 疾病と健康心理学

石原 俊一

健康心理学とは、健康の維持と増進、疾病の予防と治療などについての原因と対処の心理学的な究明、及び健康教育やヘルスケアシステム、健康政策の構築などに対する心理学からの貢献をめざす学問である。

健康心理学における疾病とは、必ずしも精神疾患を指すものではなく、むしろ、心疾患、ガン、糖尿病などの生活習慣病を対象とすることが多い。

本講義では、これらの身体的疾患の発症メカニズムを理解した上で、健康心理学的なアプローチについて学ぶ。具体的な目標としては、

- ① ストレスの生理学的メカニズムが理解できる、
- ② 各生活習慣病の発症のメカニズムを理解できる、
- ③ 認知行動療法を中心とした健康心理学的アプローチが理解できる、
- ④ 心臓リハビリテーションにおける健康心理学の重要性が理解できる。

## ◆ 地域リハビリテーション医学特論

岡部 竜吾

リハビリテーションや地域リハビリテーションの概要と実際を講義で学習し、地域医療の現場で実習を行い見学体験する。この過程を通じ、地域リハビリテーションと地域包括保健医療福祉システムを理解し、コミュニティにおける健康心理学の果たす役割を考える。

## ◆ 比較宗教学特論

土居 由美

本講義では、宗教学の方法論を前提とし、世界各地に認められる様々な宗教について、古代から現代までの各時代及び日本を含む世界各地域を視野に入れ、網羅的に学ぶ。

その際、比較という視点を重んじつつ、また諸思想・文化・慣習と諸宗教との密接な結びつき及びそれら相互の関連性について考慮しながら講義を進める。

## ◆ 産業領域の健康心理学特論

松田 チャップマン 与理子

ストレスが蔓延する現代の職場において、勤労者のメンタルヘルス問題の予防・軽減は今後益々重要な課題である。本授業では、現代の産業・就業構造にみられる急速な変化や社会的背景を踏まえ、産業・労働分野に関する理論や知識の習得を深める。また、個人だけでなく組織をターゲットとする一次から三次までの予防的アプローチや、職場を活性化するポジティブ要因の向上を目指す介入などについて学ぶ。さらに、発達障害者・精神障害者の就労支援、ハラスメント、ワークライフバランスやダイバーシティといった今日的な問題とその対応を検討する。

## ◆ 心身医学特論

村上 正人

心理社会的ストレスが増えるにつれ神経症、うつ病などの精神性疾患や、種々の身体症状を呈する心身症などが増加しつつあり、一般社会、職場、学校などにおけるメンタルヘルスが重要視されるようになった。この講義では心身医学、医療心理学の視点より人間の心と身体の関係についての理解を深め、ストレスによるこころと体の反応、ライフスタイルの歪みとストレス、ストレスと各種疾患の関係、さらにその予防と治療、対策について学習する。また医療領域における臨床心理学の役割や将来性を考える機会としたい。夏季に四谷校舎にて集中講義の形で行う。

## ◆ スポーツ健康心理学特論

坂入 洋右・谷木 龍男

心と体の状態をベストなコンディションに調整することは、スポーツに限らず仕事や勉強においても、健康を維持し能力を十分に発揮するために重要なことである。本講義では、スポーツ競技の現場で用いられる

健康心理学専攻

目標設定やセルフトークなどの心理的スキルトレーニングと、自律訓練法や東洋的身体技法を活用した「身心のセルフコントロール」に関する理論と技法を学ぶ。また、スポーツ競技者に限らず一般の人々の能力発揮や健康増進に役立つ研究と実践の方法について、個人差と多変量の問題を考慮した応用科学及び実践のあり方を中心に検討する。

## ◆ 健康心理諸技法

山口 創 他

健康心理学で用いられる介入技法であるカウンセリングは、さまざまな技法がある。臨床心理学で用いられる技法と共通する部分もあれば、健康心理学独自の技法もある。

講義では特に自律訓練法や認知行動療法といった臨床心理学でも用いられる技法だけでなく、タッチング、呼吸法などの心身のwell-beingを維持・増進させるための技法についても取り上げる。

本講義はそれぞれの領域について専門に研究している先生方に、オムニバス形式で3～4回ずつ担当して頂き、それぞれのアプローチ方法の実践的に学ぶ。

## ◆ コーチング心理学特論

石川 利江

コーチング心理学は欧米を中心に近年発展し始めた非常に新しい学問領域であり、本邦における研究報告は少ない。そこで本講義では、エビデンスに基づくコーチングの理論と実践のためにコーチング心理学に関する基本的理論を理解し、積極的に研究・実践が実施されている欧米の現状を中心に検討を行っていく。授業の形式は、講義とともに、担当者が各テーマに関する研究に関する報告をまとめ発表し討議を行うことにする。

## ◆ コーチング心理学演習

石川 利江

教育、医療、産業など多くの分野においてコーチング心理学は高い関心を集めており、学術的基礎に基づいた教育方法の開発が求められている。本演習では、コーチング心理学を実践のための技法および実践に関する諸問題について実戦に向けた様々な観点から検討する。受講者がコーチング心理学の知識と経験を身につけることを目的とし、コーチング心理学を日本社会に適応していくための教育・訓練の方法について検討していく。

## ◆ 実践ヘルスケアシステム論

山田 富美雄

この授業では、健康心理学の実践領域について講義する。

### Part 1 健康づくりの基礎

- 1 ヘルスケアとは何か：QOL、ADL、幸福感、平和、健康心理士の役割
- 2 ヘルスプロモーション：THP、健康増進法、健康教育、健診、リハ、患者教育
- 3 日本のヘルスケアシステム：健康教育、健康増進運動、健康産業、医療サービス
- 4 医療システムの危機と対応：国民皆保険、医師法・保助看法の隙間、治療から予防へ

### Part 2 健康被害リスクとその予防

- 5 健康リスク：三大死因とその克服、予防医学3態（1次・2次・3次）
- 6 がんリスク：発がん物質、喫煙、禁煙治療、ニコチン依存、副流煙予防
- 7 心臓疾患・脳疾患リスク：喫煙、メタボリックシンドローム対策、ストレス、過労
- 8 事故リスク：睡眠・覚醒リズム、睡眠週間、不眠、ナップング、サーカディアンリズム
- 9 職業病リスク：作業環境（振動、騒音、VDT、粉塵）、企業内メンタルヘルス
- 10 自殺リスク：うつ病予防、ストレスマネジメント、運動習慣の形成
- 11 災害リスク：ASD、PTSD、災害ストレスマネジメント、レジリエンス
- 12 認知症リスク：アンチエイジング、運動習慣の重要性、生き甲斐づくり

### Part 3 療養行動へのサポート

健康心理学専攻

- 13 療養支援：糖尿病の克服、血糖値の管理、行動修正
- 14 療養支援：セルフケア、人工臓器、移植医療、再生医療、インフォームドコンセント
- 15 療養支援：コンプライアンスとアドヒアランス、自己意思決定、健康心理カウンセリング

Part 4 コミュニティ・ヘルス

- 16 学校支援：不登校、いじめ、暴力行為、ストレスマネジメント教育
- 17 地域支援：防犯、防災、減災教育、今後の健康心理士の働き場

---

**◆ 青年・成人の健康心理学の諸問題**

松田 チャップマン 与理子

健康心理学で検討する心身の健康上の諸課題は、発達期によって大きく異なる。本授業では、心身の発達や変化が著しい青年期および社会の中核を担う成人期に特有の健康諸課題について理解を深める。同時に、ライフコースアプローチの視点から、生涯を通じた健康・疾病の生物心理社会的リスクの蓄積や連鎖について学ぶ。授業形式は、講義とともに、受講者の興味のあるテーマを選び、そのテーマに関する文献研究をまとめて発表と討議を行う。加えて、こちらで指定する英語文献を受講生が分担してレジュメにまとめ、発表・討議を行う。

---

**◆ 幼児・児童の健康心理学の諸問題**

山口 創

本講では生涯発達の中で、幼児期・児童期に焦点を当てて、この時期の健康心理学の重要課題について検討することを目的とする。ライフステージごとに、健康に影響を与える生物学的、心理学的、社会学的要因は異なり、すなわちリスクやニーズも異なっている。また一方で、健康の概念そのものの変化により、たとえば障害を持ちながらも健康的な生活を実現するニーズも存在する。そこにはいわゆる健常児とは異なる課題がある。この時期の課題の検討と対処方法について多面的に検討する。



# 大学アドミニストレーション研究科

---

## 大学アドミニストレーション専攻(通学課程)

※大学アドミニストレーション専攻（通信教育課程）の講義内容については、別冊の「大学アドミニストレーション専攻（修士課程）通信教育課程 講義案内」を参照すること。

## ◆ 高等教育論

山岸 直司

この科目は本研究科の専門科目への入門編と位置付けられる。学生としてであれ、職員としてであれ、我々が大学と関わることで得た経験は重要であるが、今日の複雑多様な高等教育を個人の経験則だけで理解することはできない。必要とされるのは高等教育に対する総合的な視座である。つまり、「高等教育とは何か」「誰のための高等教育なのか」「教養か専門か」「学位とは何か」等の基本的概念を歴史的・社会的変動などを通して考察し整理することが肝要となる。この科目は、自らの経験を省察し、それを一般化するための機会を提供する。

## ◆ 大学職員論

篠田 道夫

プロフェッショナルとしての大学職員は如何にあるべきか。今日の大学をめぐる厳しい環境、困難な課題に対応し改革を実現するためには、職員はどのような役割を果たすべきか。

従来型の処理的業務を脱却し、現場にいる強みを生かし、実態分析、改革方針の企画立案、決定に持ち込み実践するマネジメント力が求められます。そのための育成システムの構築、大学運営への参加も不可欠です。日本における大学アドミニストレーターの在り方、プロフェッショナルとしての大学職員の企画提案力を具体的に学びます。

## ◆ 高等教育行政・政策と大学経営 I

山本 眞一

高等教育に関する諸事象のうち、行政および政策の側面に着目しつつこれを理解し、さらに大学経営に活用し実行する能力を身に着けることを目的とする。この科目においては、高等教育をめぐる諸環境の変化の中で、高等教育行政がどのような仕組みで運用されているのかを理解し、また各種の高等教育政策がどのような背景・事情によって立案・施行されたかを考察する。、さらに現実の大学経営にどのような影響・効果を与えているのかを考え、現実の大学経営の改善方策を企画・立案する能力を身に着ける。

## ◆ 調査とデータ分析

浦田 広朗

科目名の「調査」は社会調査のことである。高等教育へのアプローチとして、哲学的方法、歴史的方法、比較法などが挙げられるが、社会調査も有力なアプローチである。社会調査は、社会について考えるためのデータを収集することである。数量で表されるデータを収集するものを量的調査、数字には表しにくい文字や音声・映像などで表されるデータを収集するものを質的調査という。この科目では、量的調査と質的調査の双方について、調査方法と収集されたデータの分析方法を学び、高等教育研究において活用できるようにする。

## ◆ 大学におけるICTシステム

尾川 正美

近年の少子高齢化、グローバル化、大学経営の効率化などの要請に応えるべく、大学運営についてICTの利活用が不可欠なものとなってきた。情報基盤を支えるネットワークやメールシステム、大学ホームページ、図書館サービス、教務関連システム、人事関連システム、財務関連システムなど、多くのシステムが利用されている。そのHMI (Human Machine Interface) は日進月歩の進化を遂げ、多様なメディア、多様な操作方法が導入されてきた。また、これらの情報システムの利用者はステークホルダー全体に広がってきており、従来行っていた事務処理内容を近年の活動様式に合わせて高度化するもの、新たな生活様式や業務形態の変化に付随して生まれてきたものなどがあり、いずれも社会情勢や制度の変化に即応して、サービス内容や提供形態を改善して行かなければならない宿命を負っている。

本授業では、大学の運営に必要となってきた様々な情報システムに関して、どのような機能やサービスが求められるようになってきたか、その環境整備や運用はどの様に行われており、それらは本来どうあるべきか、

などについて、研究する。その為に必要な基礎的な技術、現状の課題などを理解し、大学運営システムの将来像について議論する。

## ◆ 高等教育統計分析

藤川 まなみ

この科目では、データを用いて実際に分析を実施することで、量的調査の分析の解説を行う。分析手法の解説では、パラメトリック手法／ノンパラメトリック手法、分散分析、重回帰分析、因子分析等を取り上げる。

大学に限らず、現場での問題点などを数字としてあぶりだすために、多くのアンケート調査が実施されている。調査票の設計段階から参画すれば焦点を絞って数値化できるが、データの分析のみを担当することもあるだろう。その際には、調査票から得られる情報を上手に利用することが求められる。様々な分析手法を学ぶことで、分析が必要な場面に備えることができるだろう。なお、社会統計を理解できる程度の基礎知識があることを前提として授業を行うため、基礎知識を持たずに履修をされる場合は、あらかじめ相談をしてほしい。

## ◆ 第三者評価と自己点検研究

工藤 潤

大学評価は、大学の自主性・自律性に基づく教育研究水準の向上のための取組みを促進させること、大学の教育研究の質が一定基準を満たしていることを保証すること、大学の社会的責任を明確にし、大学が社会の負託にこたえていることを証明すること、を主な目的としている。

そもそも「評価」とはどうあるべきなのか、わが国において大学の評価はどのような歴史的変遷を辿ってきたのか、国の高等教育政策の中で大学評価はどのように捉えられてきたのか、こうした政策は大学にどのような影響を与えたのか、さらに、近年、重要視されている内部質保証とはいかなるもので、そのシステムを構築することはどのような意義があるのか、そのシステムを有効に機能させるためには何が必要か、加えて、諸外国の質保証システムとわが国のそれとはどのような違いがあるのか等について概説するとともに、これらを通じて大学の評価及び質保証の現状と課題、今後のあり方を考える。

授業は、2コマ連続で、隔週開講とする。授業では、講師からの講義だけでなく、ディスカッションや発表を通じて、授業内容の理解をより深めていく。

## ◆ 通信・遠隔教育論

鈴木 克夫

日本の遠隔高等教育には、二つの種類がある。一つは「通学制」の大学におけるICT活用教育であり、もう一つは「通信制」の大学、すなわち「大学通信教育（通信教育課程）」とよばれる教育制度である。この授業の目的は、日本の高等教育におけるICT活用教育について、その法規、技術、実態、運営の各側面から検討を行い、大学にICTを導入・運用するための理論と戦略を見出すこと、および大学通信教育を歴史的、制度的、方法論的に分析することによって、遠隔高等教育の日本的構造を明らかにすることである。

## ◆ グローバリゼーションと教育政策

佐藤 禎一

この講義では、世界の教育政策の動きが我が国の教育政策に及ぼす影響を検証し、これからの我が国の大学が進むべき方向についてのヒントを得ることを目的としています。

そのため、まずは最近の各国の教育政策の動向を概観することとし、次に、世界的な基準として我が国の教育政策に影響を及ぼしているOECDやユネスコ、EUなどの国際機関での動きを精査することとしています。

教育政策は、かつてはそれぞれの国に独自のものでしたが、これからは、世界標準に否応なく左右されていきます。そのような動きを把握する機会や方法を学びます。

## ◆ 高等教育行政・政策と大学経営Ⅱ

山本 眞一

高等教育に関する諸事象のうち、行政および政策の側面に着目しつつこれを理解し、さらに大学経営に応用し実行する能力を身に着けることを目的とする。この科目においては、「高等教育行政・政策と大学経営Ⅰ」で習得した知識にもとづき、我が国および主要諸外国の高等教育制度や政策の動向を考察し、また歴史的事実に基づき、今後の高等教育政策の企画・立案能力および大学経営のための構想力や経営方針の企画・立案能力を身に着ける。

## ◆ 大学行政と社会連携

村田 直樹

今日、大学職員の業務は、産学連携や地域社会との連携、グローバル化への対応、科学技術基本計画等政府の政策など、社会との多様な接点において急速に増大しつつある。本授業においては、大学行政の基本的枠組みを理解した上で、大学行財政の現状と課題を大学外の社会との関係において捉え、大学と外部社会とのより良い関係構築について検討する。授業は、課題文献を事前に通読してくることを前提に、講義と学生による発表及び学生との意見交換を組み合わせる。

## ◆ 大学のカリキュラム

田中 義郎

消費者主義と大学 —大学は未だに伝統的な学位を授与し続けているが、学生はとうの昔に、行動様式において、進学動向において、非伝統化している。大学カリキュラムの事例研究を通して、カリキュラム分析の視点を磨き、同時に、その開発方法の獲得を目指す。カリキュラムはその教育の目的と深く関わるとともにその使命を反映している。専門科目はもちろんだが、特に、“try to learn something about everything and everything about something”という表現に象徴される教養カリキュラムはカレッジ教育の根本テーマである。学びの過程は、良く知っていると同時に良く実行できる人の育成でもある。同時に、我が国の高等教育の発展の過程で比較検討されてきた米英独仏の大学教育の成立、発展、展望をレビューしながら、我が国の大学教育におけるカリキュラムの分析とその視点について議論する。たとえば、必修、選択必修、選択など科目の履修上の特性が殊の外大きな意味を持って学士力の育成に立ちはだかることの重大さが一般によく認識されていない。問題設定技能の開発には特に重きを置く。

## ◆ 私学行政論

大槻 達也

私立大学は、大学数、学生数ともに7割強を占めるなど、我が国高等教育において重要な位置を有する。その私立大学が、人口動態の変動やグローバリゼーションなど激変する環境の中で、寄せられる期待に応え一層の充実を図っていく上で、行政との関わりはどうあるべきかなどについて共に考えていきたい。その際、初等中等教育も視野に入れ、歴史的経緯、法制度、各種データなどを押さえながら、文部科学省以外の政府組織や地方公共団体等も含め、私立学校に関わる行政について可能な限り包括的に検討したい。

## ◆ 大学経営管理論

篠田 道夫

大学組織の基本は、経営組織、教学運営組織、事務組織によって成り立っています。大学の経営管理は、私立大学においては学校法人とその運営責任機関である理事会によって担われ、大学は学長をトップに教授会を中心とする教学組織、事務組織と連携し、統括され運営されます。目指す大学目標を達成するためには、明確な目標と計画に基づく経営管理、戦略的なマネジメントが求められます。法人と大学の一体運営、ガバナンスとマネジメントの一体改革についての理論と実践を学びます。

## ◆ 大学アドミッション

出光 直樹

高等教育ユニバーサル化の時代を迎え、入試広報を担当するスタッフは、単に入学試験とそれに付帯する広報活動を事務的に処理するだけでなく、アドミッションズ・オフィサーとして、各大学のミッションと学

大学アドミニストレーション専攻（通学課程）

生の実態を理解し、適切な入学者選抜・学生募集の仕組みを戦略的に構想し、実行していく役割が求められている。この科目は、我が国の入学者選抜と高大接続をめぐる課題を国際的な視点も踏まえて概観した上で、(1)入試制度、(2)広報活動、(3)学生の視点から見る高大接続、についての課題報告とディスカッションを中心とする授業展開を行い、各受講者の固有の文脈における課題の発見と具体的な解決の道筋を探る。

## ◆ キャリア教育とキャリア支援

渡辺 茂晃

大学における一般的なキャリア教育とキャリア支援の現状を把握し、問題点の抽出をします。さらに、日本の産業・企業・ワークスタイル、求める人材像の変遷などから、社会人として豊かな人生を送るために役立つキャリア教育とは何かを考えていきます。また、「就職」について悩む学生に支援するために、企業情報の見方、最新の採用選考、保護者・留学生対応など、実践的な知識・スキルの習得を目指します。学生アンケートや学生からの相談事例をもとに、学生の目線に立ったキャリア教育とキャリア支援について多面的に考察します。

## ◆ 大学におけるファシリティマネジメント

興津 利継

社会構造が変化し、教育振興基本計画も大きく舵を切り始めている中、大学施設をこれまで通りの施設営繕に任せているだけでは不十分な時代となった。大学資産の過半を占めている不動産資産を有効に活用・運用・管理しながら、変貌しつつある教育・研究に必要なファシリティに再構成するにはファシリティ・マネジメント(FM)に立脚した経営スキルの導入が必要と言える。ここでは、FMが取り扱う内容や関連する業務を体系的に学ぶと共に、題材研究等を通じて、アドミニストレータとしてFM業務を主導するためのスキルアップを目指す。

## ◆ 国際交流プログラムの運営と諸問題

太田 浩

グローバル化の進展と知識集約型経済への移行により、高等教育の需要は一層高まるとともに、先進国のトップ大学を中心に世界的な大競争時代を迎えている。併せて、教育研究活動のボーダレス化が急速に進むことで、大学間の国際的な協働・連携も一層拡大している。これらの動向に合わせるかのように世界的な学生の流動化が加速度的に進行しており、留学生市場の形成と拡大が見られると同時に、グローバル人材育成に対する高等教育への期待と責任はますます高まっている。このような状況下で、国際的な学生の流動化、大学の国際化、大学の国際連携に関する動向と実践的な取組みについて学ぶ意義は大きい。

日本だけでなく、海外の政策的動向を踏まえながら大学(機関)レベルでの戦略や先進的实践例を多面的に検証・考察することにより、各トピックの理解がより深まるような授業としたい。そのためには、受講生と共にディスカッションする機会をできるだけ多く設ける予定である。大学の現場目線での討議を行うことにより、受講生の所属大学で活用できるよう配慮したい。

なお、大学の国際業務に関する経験や知識がなくても、授業に参加できるようにトピックごと基礎的な事項から学べるように工夫する。

## ◆ 大学改革事例研究(ケーススタディ)

篠田 道夫

この科目では、大学の経営管理(マネジメント)の基礎理論を踏まえ、実際の大学改革の事例を学習します。どの大学にも通用する改革手法、経営モデルはありません。大学の目指す目標、成り立ち、置かれた環境、教職員の風土等で千差万別と言えます。自大学の運営システムの現状、問題点を分析し、事例を参考に改革方針を構築します。実際に調査した約100大学の事例を基に、これを使いこなすことでより良いマネジメントを実現する手法を体得し、実践力を身に付けます。

## ◆ 学校法人会計

野田 秀三

学校法人における財務諸表の内容、その作成方法を明らかにし、学校財政の会計に係る専門的な財務的能

力を修得することを授業の目的とする。学校法人会計では、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を作成することが義務付けられている。学校法人の会計報告の内容を詳細に検討し、学校法人会計の特徴を明らかにする。

## ◆ 日本の私立高等教育

田中 義郎

This is a seminar on North East Asia, especially Japanese private higher education. Japanese private higher education is a very large (68.3%) market-driven sector. We look at the development process of such a large driven market sector, and “Why?” This year, we discuss some issues of access, equity, capacity and also equality and mobility in higher education in Japan as well as other North East Asian countries. Those elements within higher education environment that interact in complex ways to affect virtually all other aspects of such institutions. Today, the effectiveness of higher education must be seriously reconsidered. In fact, knowledge with higher education improves the social productivity as a whole. The world still believes that far-reaching effects from so-called universal higher education is quite extensive. Now it is a time for Japan that we must seriously consider “higher education for all” as the public investment from perspectives on the future economic world and the effective society.

## ◆ アジアの高等教育

山岸 直司

本科目は、アジアにおいて近年急速に拡大している高等教育の現状を、各国の事例などをもとに概観する。また、こうしたアジアの高等教育の発展に伴い、日本の高等教育も国際化を進めるなど、さまざまな対応をしている。そこで、文部科学省や個別大学などによる取り組みを中心に、日本の高等教育の国際化についても考えていきたい。

## ◆ グローバリゼーションと日本の高等教育

山岸 直司

The English title of this course is “Globalization and Japanese Higher Education.” The subject provides the students with a base of analyzing and assessing the change of higher education in socio-economic and cultural perspective. The students understand the challenges that Japanese higher education had faced historically and faces today. This course is a part of the Oberlin-Euro Partnership Program (OEPP).

## 老年学研究科

---

## 老 年 学 専 攻 (前期課程)

## ◆ 老年学特論

柴田 博

老年学は、ルネサンス以降、タテ割り化し、要素還元化した学問を統合化する目的で20世紀の初めに誕生した。老年学の特徴は学際性にあるが、これは学問の壁を取り払うことを含意している。老年学は、人間の加齢変化や高齢者集団の問題を科学的に探索することを第一の目的としている。同時に、哲学、文学、宗教などの人文的研究にも同じ比重を置いている。本講は、このような老年学の概念と枠組みに対する理解を深めることを第一の目的としている。さらにそれらを応用し実践に役立たせるためのスキルを開発する手助けをする。

## ◆ 老年医学特論

渡辺 修一郎

老年学を構成する一分野である老年医学は、老化および高齢者の疾病の予防、臨床、ケアなどを主な目的とする医学の一部門である。講義に加え、内外の文献講読、臨床現場の紹介の中で老年医学への理解を深める。老年医学を学ぶ中で、老化および老年病を高齢者だけの問題としてではなく、生まれてから死にいたるまでの発達過程の中の問題としてとらえ、自らのライフスタイル、生き方を探り形づくの一助にすること、また、老年学に関する様々な研究課題に関して、老年医学との関わりを考慮できる力を身につけることも目標となる。

## ◆ 老年心理学特論

長田 久雄

本講義は、老年心理学領域における基本的な主題に関して、背景や考え方を理解し、研究成果を知ることが目的としている。感覚・知覚、記憶、知能、感情、欲求などの基本的な心理機能の加齢変化と高齢者の心理的特徴に関して紹介し、生涯発達視点から、パーソナリティの発達について考察する。また、孤立や孤独というような社会心理的側面についても検討したい。授業は、講義とともに、可能な限り受講者の発表や質疑の機会を作って進めたい。

## ◆ 老年社会福祉学特論

白澤 政和

高齢者に対する社会福祉について理論的に理解することに加えて、その具体化として、高齢者福祉制度と支援方法について学習することにある。支援方法については、ソーシャルワークの方法を理解することであり、個別支援のケアマネジメントと地域支援のネットワークングについての理解を深め、両者関係づけて学ぶことにある。同時に、そうした支援方法と高齢者福祉制度の関係について検討することになる。

## ◆ 老年社会学特論

杉澤 秀博

講義では、個人レベルでの老化とともに社会レベルでの高齢化にかかわる諸問題に対する社会的なアプローチや視点に関する基礎知識の習得とともに、研究成果や論点について学習する。具体的には、①個人レベルで直面する課題として、家族・友人などインフォーマルな社会関係、および就業・ボランティアなど社会貢献活動、②高齢者の生活基盤にかかわる課題として、収入、保健・医療・福祉制度、ソーシャル・キャピタルの問題、③社会レベルにおける課題として、エイジズムと健康格差の問題を取り上げる。

## ◆ 老年ヘルスプロモーション特論

芳賀 博

WHOの提唱するヘルスプロモーションは、①人びとが健康的な生活習慣 (Healthy lifestyle) を身につけるように努力することが重要であり、②そのために個人を取り巻く環境を健康に資するように変えていかなければならないとしている。本講義では、このヘルスプロモーションの理念を学ぶとともに、高齢者の健康とQOLを高めるための活動モデルや評価法について理解を深める。また、近年注目されているアクションリサーチの技法や展開方法についても解説する。

## ◆ 老年保健学特論

新野 直明

高齢者における心身の健康に関わる問題について、基本的知識を学習する。また、それらの問題に関する研究結果、活動報告などから、高齢者の健康を維持、増進する方策を考える。特に高齢者の転倒についてくわしく講義する予定である。また、教科書的な知識の伝達だけでなく、実際の調査、研究の方法、結果などの紹介、あるいは、履修者自身によるレポート発表、外部講師による講義なども実施する予定である。

## ◆ 老年家族社会学特論

藤崎 宏子

個人の一生の歩みをたどる「ライフコース論」と、個人を取り巻く社会関係が及ぼす多様な影響を把握する「ネットワーク論」を縦横の軸としながら、諸個人のエイジングの過程に関する理論的視点を得ることを目標とする。その際、諸個人にとって身近な他者である家族メンバーとの関係、及びジェンダー視点を重視する。

具体的には、次のようなトピックを取り上げる。①ライフコース論の考え方、②社会的ネットワーク論の考え方、③中年期から高齢期への移行、④高齢期における移行、⑤家族及びそのオルタナティブと高齢者の関係の現代的諸相。

講義を中心として、適宜、受講生の報告やディスカッションの形式を取り入れる。

## ◆ 統計解析法特論

杉澤 秀博

講義は、統計学になじみの薄い人でも簡単な統計解析を行うことができるようになることを目標とする。そのために、統計解析の数式の説明を抽象的に行うのではなく、現実の調査データを活用して、データの集計・解析を学生に実際に行ってもらおう。さらに、統計解析の結果を出すだけでなく、その数値のもつ意味を理解してもらおうようにする。データの解析には、汎用されている統計パッケージであるSPSSを活用する。

## ◆ 老年学情報処理法特論

渡辺 修一郎

老年学研究に不可欠の情報処理の技法を修得することを目的とする。適切な情報源からの情報の、収集、生成と加工、適切な分析法・統計学的手法を用いたデータの集約と分析、要約と課題の整理、さらには、対象・社会への結果報告・還元という情報処理過程を遂行する能力を、実習を通じて身につけることを目標とする。情報収集、データ処理、文書作成など情報処理過程にはコンピュータの応用が欠かせないため、各自が研究を遂行するうえで必要な、コンピュータの使用やソフトウェアの利用等に関する技能を習熟することも目標となる。

## ◆ 老年保健学演習

芳賀 博

高齢者の健康やQOLに係る量的研究を中心とする学術論文（和文）の抄読をもとに発表してもらい、当該論文で用いられている対象の選定、調査法、統計的分析と結果の解釈、考察の仕方等について、受講者全員で討議することにより老年保健学領域の論文を読み解く力を身につける。

## ◆ 老年社会学演習

杉澤 秀博

演習では、履修生一人一人に課題設定をしてもらい、その課題に関する文献研究を行ってもらおう。それによって、実証研究の基礎となる文献研究の方法を実践的に習得することを目指している。研究課題は、必ずしも老年社会学にとらわれない。水準の高い修士論文の執筆が可能となるように、修士論文の課題を取り上げてよい。

毎回の演習では、履修生から各自の研究課題についての文献研究の進捗状況、直面する課題について紹介してもらおうとともに、その発表に基づき履修生同士で議論してもらおう。

老年学専攻

## ◆ 老年学文献講読

鈴木 隆雄

老年学領域の欧文文献を精読・講読し、老年学の知見への理解を深め、自らの研究に活用することを目的とする。受講生は老年学領域の標準的なテキストや欧文雑誌から関心のあるパートあるいは論文を選び和訳し、授業にて紹介する。教員と受講者全員で和訳を確認する中で、健全な批判・懐疑精神をもって、読解力、文章力、および、まとめる力を高め、質疑応答・討論の中で、傾聴・自己表現する力を養う。さらには、今後の高齢社会や老年学研究における新たな問題を発見する創造力を身につける。

## ◆ 質的研究法特論

木下 康仁

質的研究法と総称される研究法に関して近年の関心の高まりとその背景を理解し、主要な質的研究法について概観する。その上で、ヒューマンサービス領域で広く関心を持たれているM-GTA（修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ）について深く学習する。

自分の研究にどの質的研究法が適しているのかを判断できるようになることと、M-GTAを理解し実際に活用できるところまでを学習目的とする。

授業はゼミ形式とし、講義、文献検討、データを用いた分析訓練を組み合わせる。すべてにわたってディスカッションへの参加を重視する。

## ◆ 老年ケア特論

白澤 政和

高齢者に対するケアについて、幅広く、かつ深く理解することにある。具体的には、ケアの理念、ケアが必要な実態、ケアの実際についての理解を、理論的に整理しながら学習することである。達成目標は、ケアについての考え方を形成することである。指定した教科書を前もって読み、短時間で内容紹介と自らのコメントが求められる。そのため、広井良典著『ケア学—越境するケアへ』を教科書にし、拙著『「介護保険制度」のあるべき姿』を参考図書として使うことにする。

## ◆ 老年政策科学特論

高田 一夫

高齢社会の諸問題を、社会政策という観点から取り上げます。最初に、なぜ人口高齢化が起きたのか、を説明します。次いで、高齢社会を支える代表的なシステムである公的年金、医療保障、介護システムを議論します。これらはいずれも大きな再分配システムで、今後維持できるかどうか心配されています。しかし、経済構造がサービス経済へと変化しつつある現在、高齢化はむしろ経済を支える要因になるのです。それは、高齢社会は同時に余暇社会でもあるからです。そのロジックを明らかにして、21世紀社会がこれまでとは異なる「個的社会」に向かっていることを明らかにしたいと思います。

## ◆ 死生学特論

古澤 有峰

人間にとって生と死は永遠のテーマであるが、死生の学問的研究が始まったのはまだ比較的近年になってからのことである。この授業では死生学（death and life studies）の観点から死生観、死と文化、生命倫理、臓器移植、尊厳死、リビングウィル、デスエデュケーション、ターミナル・ケア、死の心理等、死にまつわる諸問題を学び、生のあり方を考えたい。授業の最後には、現代社会における死生をめぐる現在進行形の課題についての知見や見識を深め、多様な視点から人間の死生の問題を捉える事で、自分なりの意見をまとめられるようになる事が目標である。

## ◆ 回想心理学特論

長田 由紀子

高齢者にとって昔を思い出し語ることは、単なる老いの繰り返り言ではない。老年期における回想は、人生の最終段階において自分とは何者かを再確認する、重要な作業なのである。私たちは誰でも、自分のたどってきた道筋を見つめ直すことで、自分とは何者かを発見し、これから先の方向性を探ることがある。またそれ

を語ることは、多くの心理的効果をもたらす。本講義では、こうした回想のもたらす心理的な意味について考察し、体験を通して高齢者における回想への理解を深めることを目的とする。また、合わせて高齢者における回想研究について概観し、その可能性について考えてみたい。

## ◆ 老年疫学特論

芳賀 博

疫学的な研究手法は、保健福祉領域における調査研究を科学的にすすめるための有用な一手法として知られている。また、科学的根拠に基づく医療や保健政策（Evidence based medicine, health policy）の展開が求められるようになった今日、疫学的手法を修得することの意義は大きい。本講義では、疫学的研究法の種類とその特徴ならびに、評価指標等について理解を深め、老年学における問題分析のための、あるいは、問題解決のための実証研究に応用できるような力量を養う。

## ◆ 介護保険論

白澤 政和

介護保険制度をもとに以下のことを学習する。①介護保険制度の概要が理解できること、②他の国の介護制度との比較ができること、③介護保険制度のもつ良さや問題点が理解できること、④介護保険制度をどのように変更するかについて自らの考えをもてること。これらについて、自らの問題意識やそれに対する研究意欲を高めてもらうことにある。個々の授業で、こちらが講義し、その後でディスカッションを行なう。

## ◆ 老年ケアマネジメント特論

白澤 政和

ケアマネジメントの概要を理解し、それを介護保険制度に繰り込まれたことでの特殊性を学習することにある。ケアマネジメントについて、生じてきた社会的背景、過程、目的、介護保険制度や障害者領域での特性、ケアマネジメント・システムと地域包括ケア、海外の仕組みといった観点から学習する。個々の授業では、問題的を抽出し、ディスカッションを行なう。高齢者に対するケアマネジメントについての理解を深めると共に、実践能力も高めることにある。

## ◆ 老年発達学特論

高橋 正実

老年学を学ぶにおいて、高齢者やその家族、また種々のサービスを提供する人々や機関と効率よく仕事をするために、生涯発達の理論に精通することが大切である。また、これらの知識は高齢者に関する政策やメディアの取り扱い方に対し、クリティカルな視線で分析できる能力を養うためにも有用である。本授業はエイジングと発達に関する理論について理解・精通することを目的としている。また、実証研究において、研究の動向を左右するという「理論」の果たす役割の重要性を理解することも大切である。ここでは、まず始めに存在論や認識論についての論議を行い、その後、これらメタ理論に関連する生涯発達理論に焦点を当てる。次に、新ピアジェ派やエリクソンの理論など、実際幅広く引用されている数々の実証研究について考察する。

## ◆ 老年臨床心理学特論

長田 久雄

本講義は、老年心理学の基礎知識を基に、老年臨床心理学領域の課題について正しく理解することと、臨床的人間関係に関して学習することを目的としている。人格と適応、認知症、うつ病、自殺、ストレス、カウンセリング、ケースカンファレンス、ケース記録および生きがいなどの臨床心理学的課題に関して、討議も含めて授業を行う。

## ◆ 老年精神医学特論

新野 直明

本授業では、高齢者の精神医学的問題に関する基礎知識を修得し、考える姿勢や方法を養うことを目的・目標とする。そのため、教科書的な知識の伝達だけではなく、実際の調査、研究の方法、結果などの紹介、あるいは、履修者自身によるレポート発表なども実施する予定である。また、外部講師による講義なども実

老年学専攻

施する予定である。

## ◆ 現代社会と老年学

大淵 修一 他

- ・ 現代社会における老年学の応用について教授する。
- ・ 老年学とりハ医学、各担当の専門分野迄と老年学との関連、差異、今後の展望について講義を行う。

## 特別科目

---

## ◆ Academic English A, B, C

WILBY, Christine Mary

This is an academic English course in three levels. It is not a conversation or zero beginner course. Levels 1 and 2 aim to improve academic English skills to enable more efficient access to information in English and to give experience in listening, writing and presenting information. Level 3 aims to improve students' academic English skills to enhance their academic career chances. Emphasis is on preparing proposals and abstracts for conferences and journals and on presenting in public.

## ◆ Academic Japanese A

(春学期)福島智子・(秋学期)梅岡巳香

日本語を母語としない大学院生対象のライティング科目である。論文における文体の特徴を復習し、論文作成で必要となる論理的な文章表現や構成、アカデミック・ライティングのスキルを学ぶ。自律的な書き手となるための実践を重視し、以下を到達目標とする。①書き言葉が正確に使いこなせる。②曖昧さのない明快な文が書ける。③段落内の各文の役割を意識しながら段落が構成できる。④複数の段落を論理的につなげることができる。⑤一般的なテーマにおいて、必要な資料を探して適切に引用できる。⑥資料をまとめ、問題提起ができる。

## ◆ Academic Japanese B

槌田 和美

日本語を母語としない大学院生対象のライティング科目である。論文作成で必要となる論理的な文章表現や構成、アカデミック・ライティングのスキルを学び、修士論文の構成要素についても基本を理解する。自律的な書き手となるための実践を重視し、以下を到達目標とする。①分類・比較・因果関係等の文章表現を用いて論理的な文章が書ける。②論文執筆に必要な資料が探せる。③資料を解釈し、適切に引用できる。④論文にふさわしい語彙や形式を使い、調べたことが報告できる。⑤調べたことをもとに自分独自の視点から問題提起ができる。

## ◆ Academic Japanese C

藤田 裕子

日本語を母語としない大学院生を対象としたライティングの科目である。自らの文章をモニターし、自己修正ができるようになるための実践を重視する。書き言葉の基本や論理的な文章表現・構成を身につけ、修士論文の前段階である中間報告原稿相当の文章作成に取り組める段階の者を対象に、主に以下のことを目指して訓練をする。①専門分野の学術論文に用いられる語彙、表現、構成が分析できる。②学術論文にふさわしい言語形式が使用できる。③読み手にわかりやすい論の展開ができる。④引用、注、参考文献を適切に記すことができる。

## ◆ キャリアデザイン特講A

掛川 真市

大学院修了後の進路選択について、知っておくべき事項と就職活動全般の基礎知識を学び、各自の進路に関して今から行うべきこと・準備すべきことを学ぶ科目です。今日の就職環境は極めて厳しい状況にあります。この状況の中で内定を勝ち得るには、そのための知識とノウハウを身に付けておくことが必要です。キャリアデザインの授業は、就職活動で直接求められるノウハウやスキルを学びます。この授業は、社会で活躍することを前提にしていますので、社会人としてのマナーはもとより、遅刻・欠席のない受講姿勢を厳しく求めます。

## ◆ キャリアデザイン特講A (外国籍クラス)

掛川 真市

今日の日本の就職状況は極めて厳しい状況にあります。そうした中においても、多くの日本企業は優れた外国人留学生を求めています。外国人留学生が日本の企業で就職を勝ち得るためには、そのための知識とノウハウを身に付けておくことが必要です。この外国籍クラスでは、外国人留学生が日本の業界や企業の特質

特殊講義

を実践的に理解できるプログラムを組み込んでいます。企業研修やインターンシップを通して日本の組織や仕事を理解し、また直接日本企業で働く留学生OBやOGと面会しインタビューすることで、日本企業攻略の道を拓きます。

### ◆ キャリアデザイン特講B

掛川 真市

キャリアデザイン特講Aで学んだ進路選択方法の基礎知識をもとに、就職活動のプロセスを具体的に学び、スキルを身につける科目です。実際の就職活動のプロセスに合わせて、業界・企業研究、志望動機・エントリーシートの作成、グループディスカッションや面接場面の対応等をキャリア開発センターと連携して行っていきます。この授業は、社会で活躍することを前提にしていますので、社会人としてのマナーはもとより、遅刻・欠席のない受講姿勢を厳しく求めます。

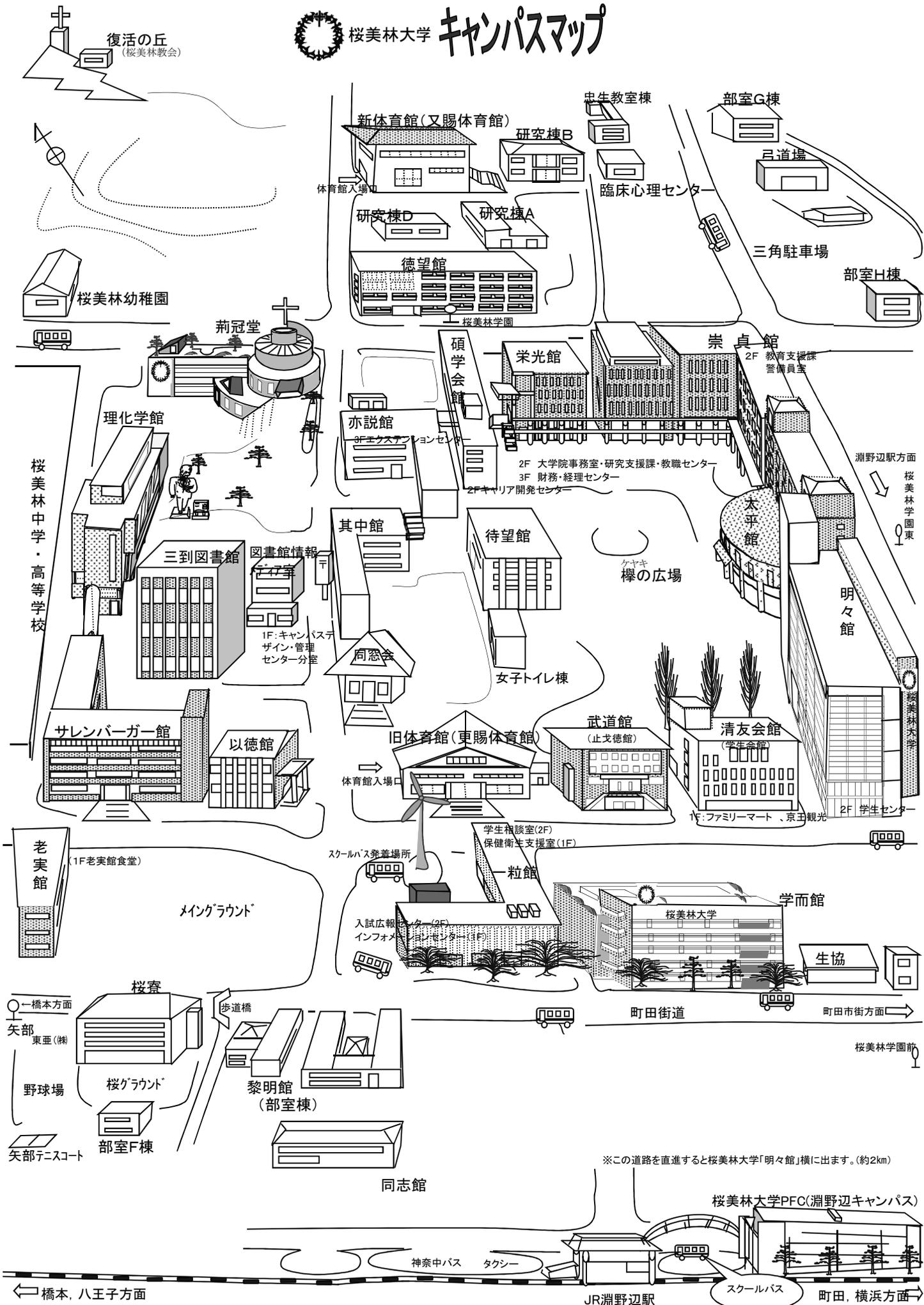
### ◆ キャリアデザイン特講B（外国籍クラス）

掛川 真市

キャリアデザイン特講Aで学んだことをもとに、具体的な就職活動のプロセスを学び、スキルを身につける科目です。実際の就職活動のプロセスに合わせて、業界・企業研究、志望動機・エントリーシートの作成、グループディスカッションや面接場面の対応等をキャリア開発センターと連携して行っていきます。この授業は、日本の企業で活躍することを前提にしていますので、日本の企業で働くに必要な社会的マナーはもとより、遅刻・欠席のない受講姿勢を厳しく求めます。またインターンシップ、企業取材研修への参加が履修の条件になります。



# 桜美林大学 キャンパスマップ



復活の丘  
(桜美林教会)

桜美林大学

# キャンパスマップ

新体育館(又賜体育館)

研究棟B

忠生教室棟

部室G棟

体育館入り口

臨床心理センター

弓道場

三角駐車場

部室H棟

桜美林幼稚園

荊冠堂

研究棟D

研究棟A

徳望館

桜美林学園

栄光館

崇貞館

2F 教育支援課  
警備員室

理化学館

亦説館

3F エクスプレッションセンター

2F 大学院事務室・研究支援課・教職センター

3F 財務・経理センター

2F キャリア開発センター

太平館

淵野辺駅方面

桜美林学園東

桜美林中・高等学校

三到図書館

図書館情報  
センター

1F: キャンパス  
デザイン・管理  
センター分室

其中館

待望館

ケヤキ  
櫻の広場

明々館

桜美林大学

女子トイレ棟

同窓会

サレンバーガー館

以徳館

旧体育館(東賜体育館)

武道館  
(止戈徳館)

清友会館  
(学生会館)

1F: ファミリーマート、京王観光

2F 学生センター

老实館

(1F 老实館食堂)

体育館入り口

学生相談室(2F)  
保健衛生支援室(1F)

スクールバス  
発着場所

一粒館

入試広報センター(2F)  
インフォメーションセンター(1F)

学術館

桜美林大学

生協

メイグラウンド

桜寮

歩道橋

矢部  
東亜(株)

桜グラウンド

黎明館  
(部室棟)

町田街道

町田市街方面

桜美林学園前

橋本方面

矢部

野球場

矢部テニスコート

部室F棟

同志館

※この道路を直進すると桜美林大学「明々館」横に出ます。(約2km)

桜美林大学PFC(淵野辺キャンパス)

神奈中バス

タクシー

スクールバス

橋本, 八王子方面

JR淵野辺駅

町田, 横浜方面



2012年度に日本高等教育評価機構から  
「大学評価基準に適合している」と認定されました